

令和 4 年度 神戸市子ども・子育て支援事業計画  
及び神戸市次世代育成支援対策推進行動計画  
「神戸っ子すこやかプラン 2024」の検証について

神戸市

## もくじ

ページ

1	検証の概要	
(1)	神戸っ子すこやかプラン 2024 の概要	1
(2)	検証の方法	1
2	計画の検証	
(1)	教育・保育施設の利用状況（令和5年度）	2
(2)	保育所・認定こども園・小規模保育等定員数・待機児童数の推移	3
(3)	市民（保護者）調査結果	4
(4)	施設利用者調査結果	13
(5)	「子育てしやすく働きやすい職場環境づくり」の状況	52
3	地域子ども・子育て支援事業の量の見込みと確保方策について	56
4	令和4年度 主な事業進捗状況	58

# 1 検証の概要

## (1) 神戸っ子すこやかプラン 2024 の概要

平成 15 年 7 月に制定された次世代育成支援対策推進法及び平成 24 年 8 月に制定された子ども・子育て支援法に基づき、令和 2 年 3 月に子ども・子育てに関する総合計画として「神戸っ子すこやかプラン 2024」を策定し、子育て支援を総合的に進めている。

## (2) 検証の方法

本計画は、国の次世代育成支援対策推進法に基づく「行動計画策定指針」及び「教育・保育及び地域子ども・子育て支援事業の提供体制の整備並びに子ども・子育て支援給付及び地域子ども・子育て支援事業の円滑な実施を確保するための基本的な指針」に示されているとおり、各個別事業の進捗状況に加え、個別事業を束ねた施策や計画全体の成果について利用者側の視点に立った点検・評価を行うため、市民（保護者）調査、施設利用者調査を実施し、PDCA サイクルに基づいて、毎年度「神戸市子ども・子育て会議」において検証する。

### 〈検証資料〉

#### ①教育・保育施設の利用状況

「住民基本台帳に基づく人口(町丁目別・年齢別)」（令和 5 年 4 月 1 日現在）の 0～5 歳の人口に占める、保育所、認定こども園、幼稚園、小規模保育、事業所内保育、家庭的保育を利用する児童数の割合を調査することで各種施設等の利用状況を把握するとともに、待機児童と上記施設等の定員の状況を確認する。

#### ②「神戸っ子すこやかプラン 2024」検証アンケート

##### ・市民（保護者）調査

3 歳児健診を受診する児童の保護者を対象に、個別事業・施策の「認知度、利用度、満足度」を調査

##### ・施設利用者調査

施設利用者を対象に、各施設・施策の「満足度」を調査

〔実施施設〕

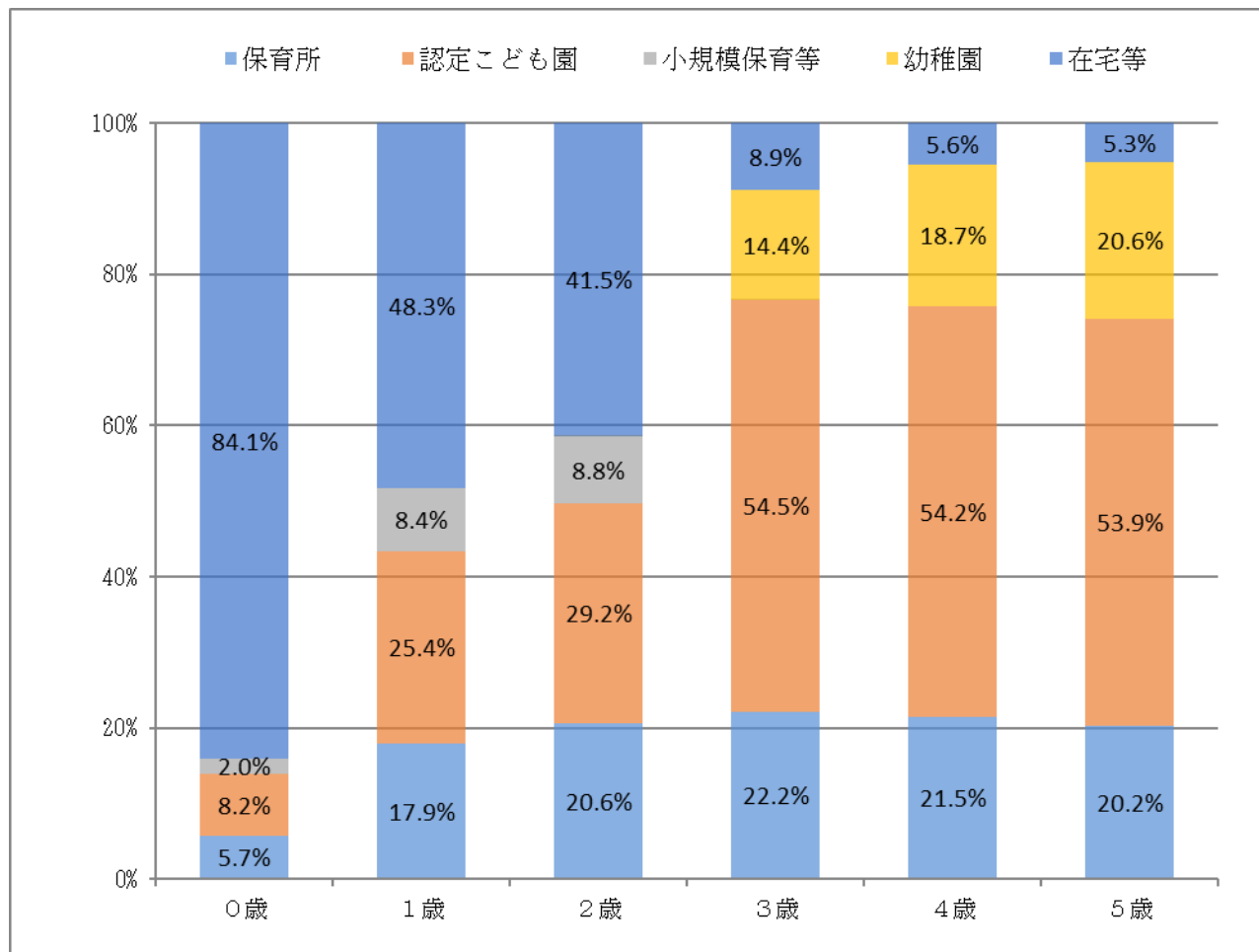
保育所、認定こども園、幼稚園、児童館、大学と連携した子育てひろば、学童保育、一時保育、子育てリフレッシュステイ、病児保育、ファミリー・サポート・センター、小規模保育、事業所内保育、家庭的保育、おやこふらっとひろば

#### ③「子育てしやすく働きやすい職場環境づくり」の状況

関係機関が行う取組をまとめ、市内企業の利用状況等を確認する。

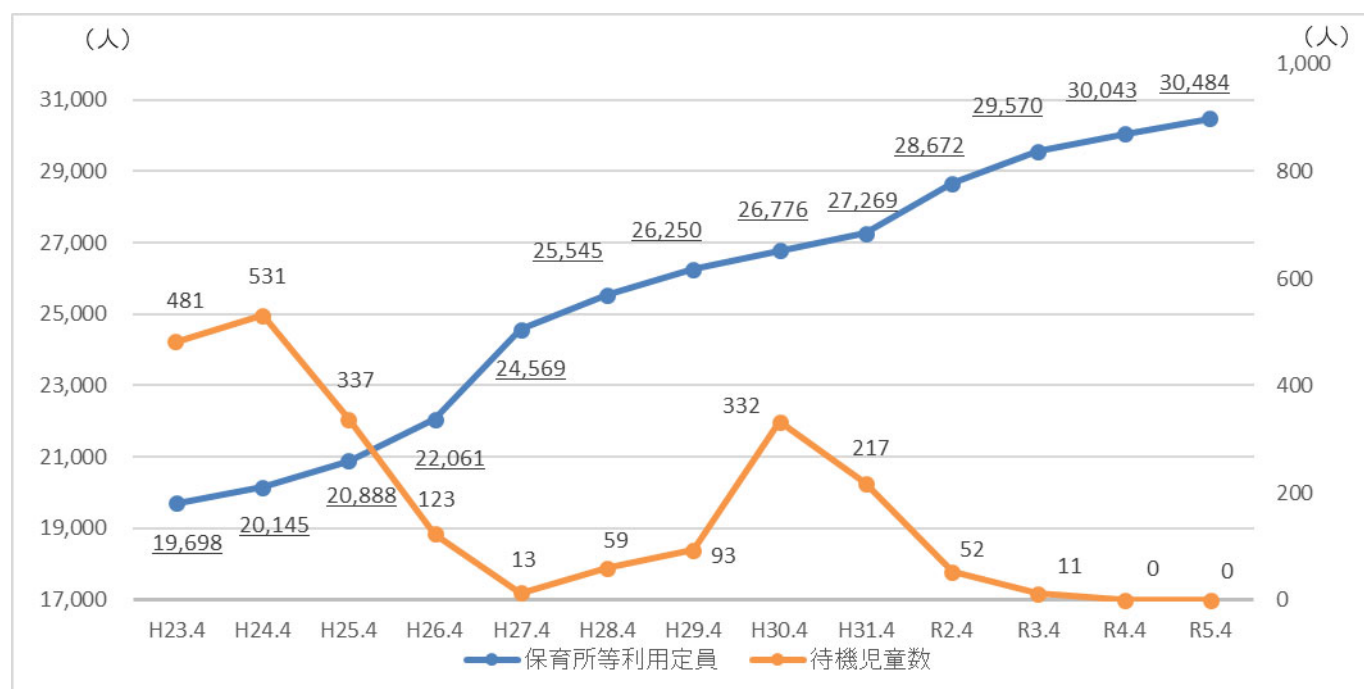
## 2 計画の検証

### (1) 教育・保育施設の利用状況（令和5年度）



就学前児童（0～5歳児）の教育・保育施設の利用状況を見てみると、0歳児は84.1%、1～2歳児では約40%～50%と在宅での育児比率が高い。3歳児では91.1%が、5歳児になると94.7%が幼稚園・認定こども園・保育所等へ入所している状況である。

## (2) 保育所・認定こども園・小規模保育等定員数・待機児童数の推移



保育所・認定こども園・小規模保育等定員数と待機児童数の推移をみると、平成26年度の約2,500人分の保育枠の拡大に伴い、平成27年4月の待機児童数は13人と前年に比べ大幅に減少したものの、女性の就労機会の増加などを背景に保育所等の利用希望者数が増加し、平成30年4月は332人、平成31年4月の待機児童は217人という結果となっていた。これまで、毎年度、保育所等利用定員の拡大を図ってきたが、令和元年度にはさらに約1,400人、令和2年度には約900人、令和3年度には約600人分を拡大したことにより、令和4年4月には待機児童数ゼロを達成した。令和4年度は、約560人分の保育定員を拡大し、令和5年4月には2年連続で待機児童ゼロを達成した。

引き続き、地域毎の保育ニーズをきめ細かく把握し、保育ニーズが今後も増加することが見込まれる地域については、既存施設の活用を基本とした局地的な整備を行うなど、保育の受け入れ枠の確保を図っていく。

### (3) 市民（保護者）調査結果

#### 1 調査概要

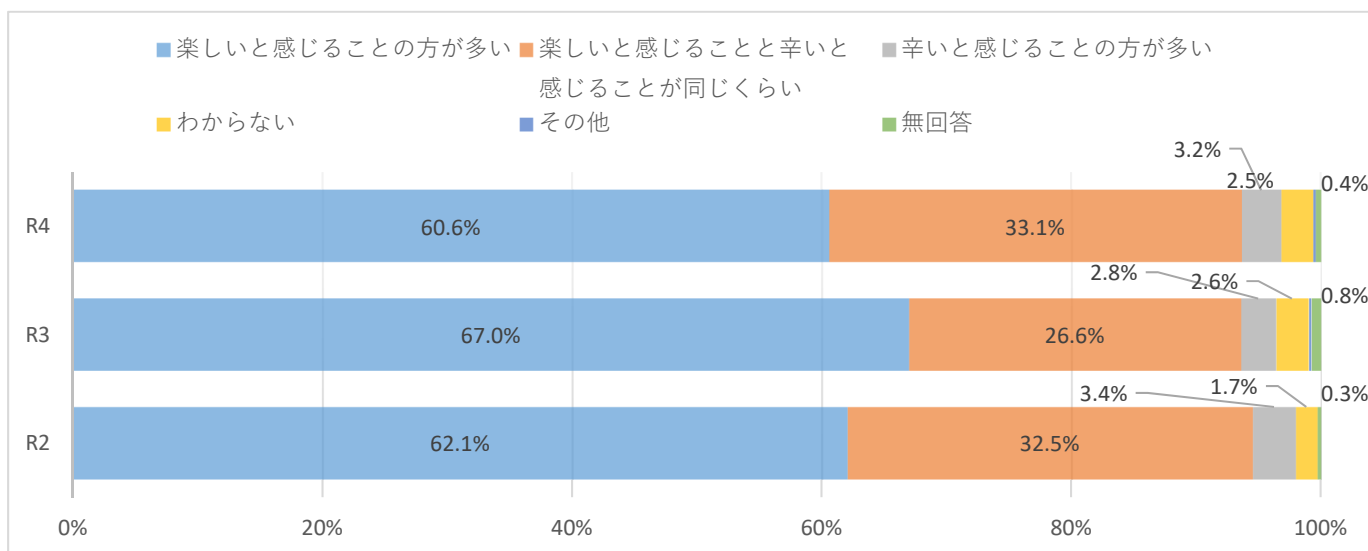
- ・令和5年8月に3歳児健診を受診する児童の保護者に対し、問診票に調査票を同送し、健診の場で回収
- ・回収数 472／配布数 946（回収率 49.9%）

#### 2 回答者の基本情報

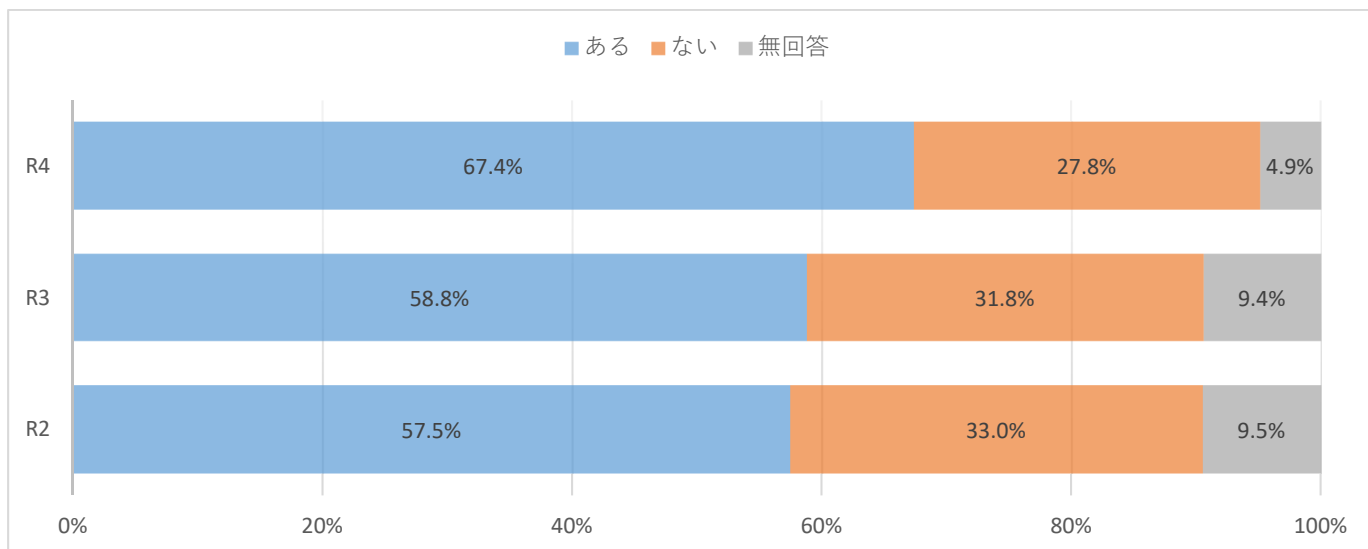
- ・母親の回答が大半であり、回答者全体の年代は30代が6割強、40代が2割強、20代が1割強となっている。
- ・お子さんの数は、2人が5割強、1人が3割弱、3人以上が2割弱となっている。
- ・近居親族がいる方が6割、近居親族がいない方が3割強となっている。
- ・3歳児健診を受診した子どものうち、6割強が保育所や幼稚園などのいずれかの施設に入所（園）しており、4割弱が在宅育児をされている。

#### 3 調査結果

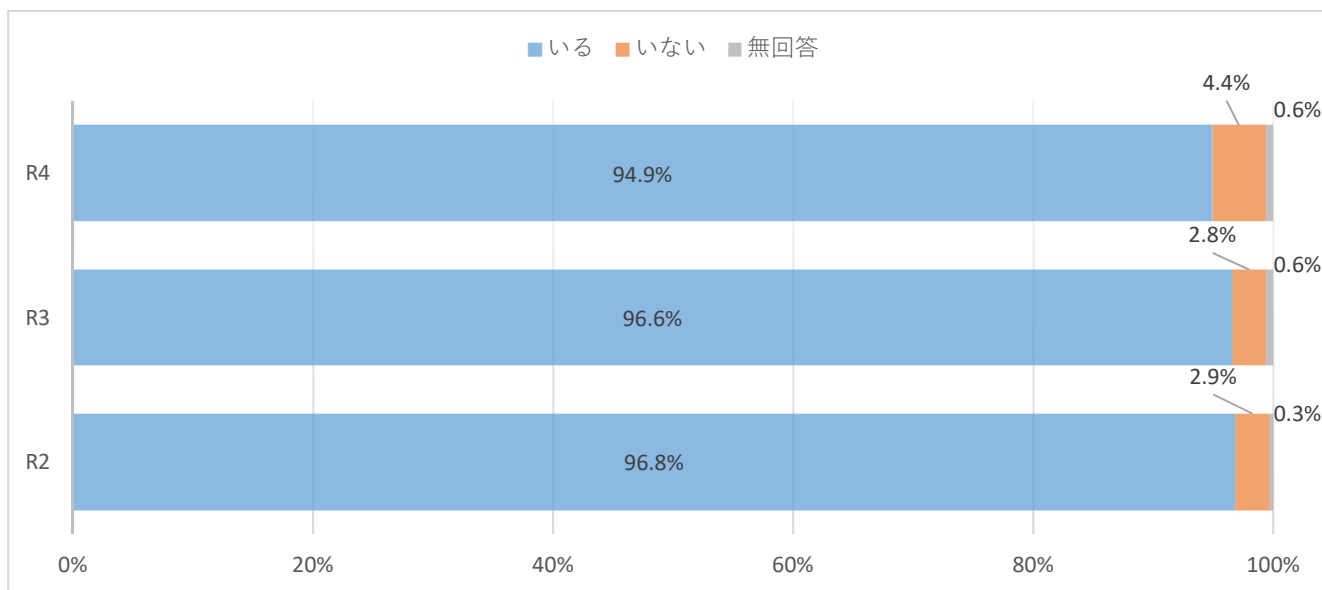
##### (1) 子育てを楽しんでいると感じることが多いかどうか



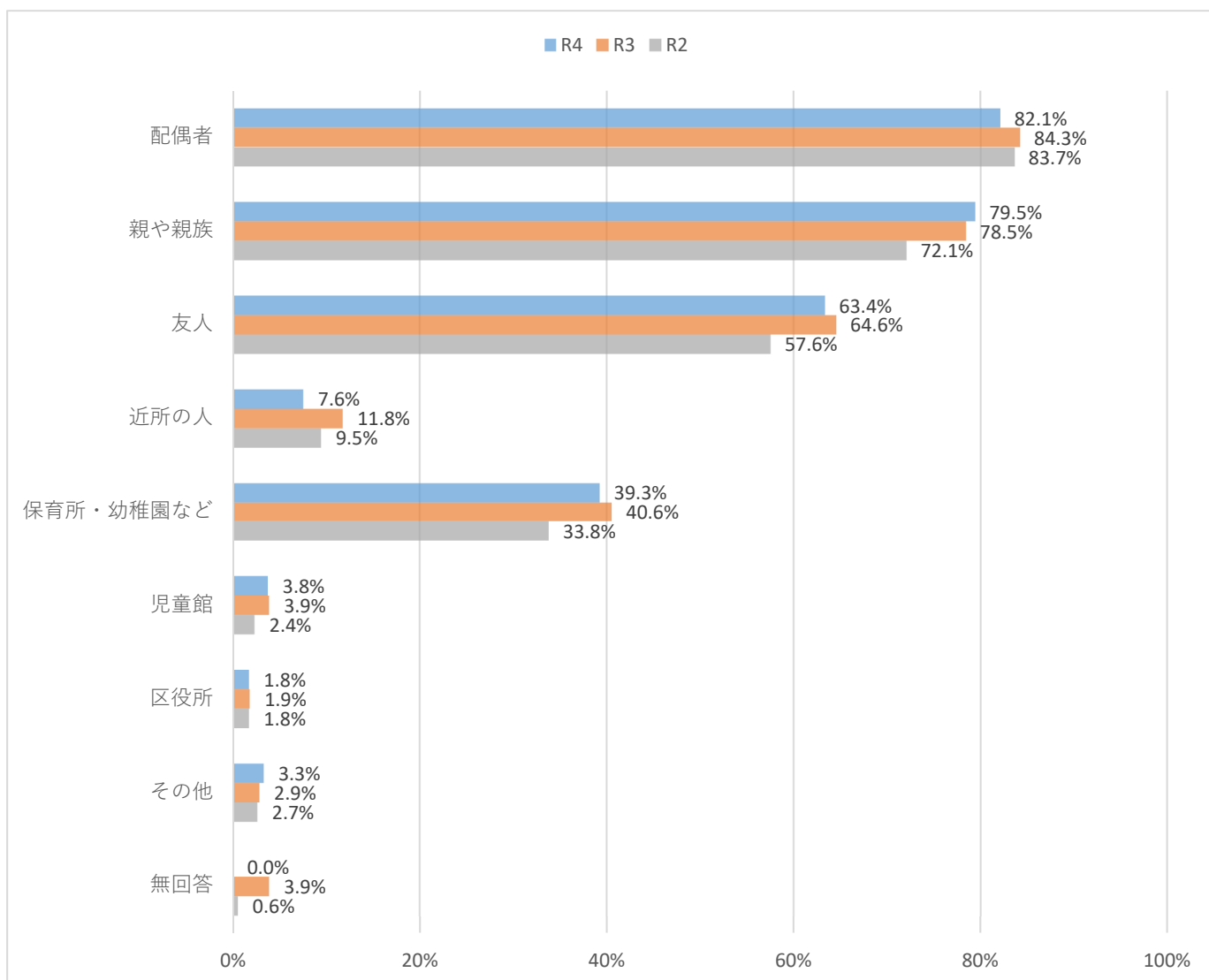
##### (2) 子どもとの外出時に困ること・困ったことがあるか



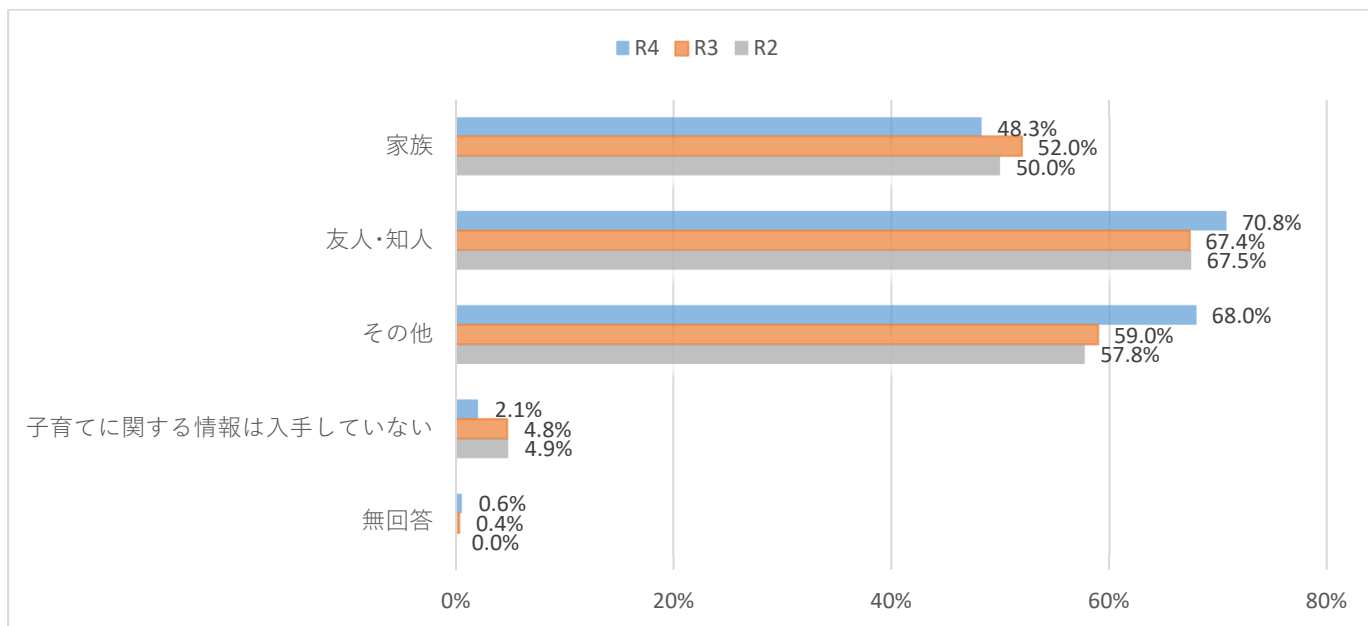
### (3) 子育てについて気軽に相談できる人がいるか



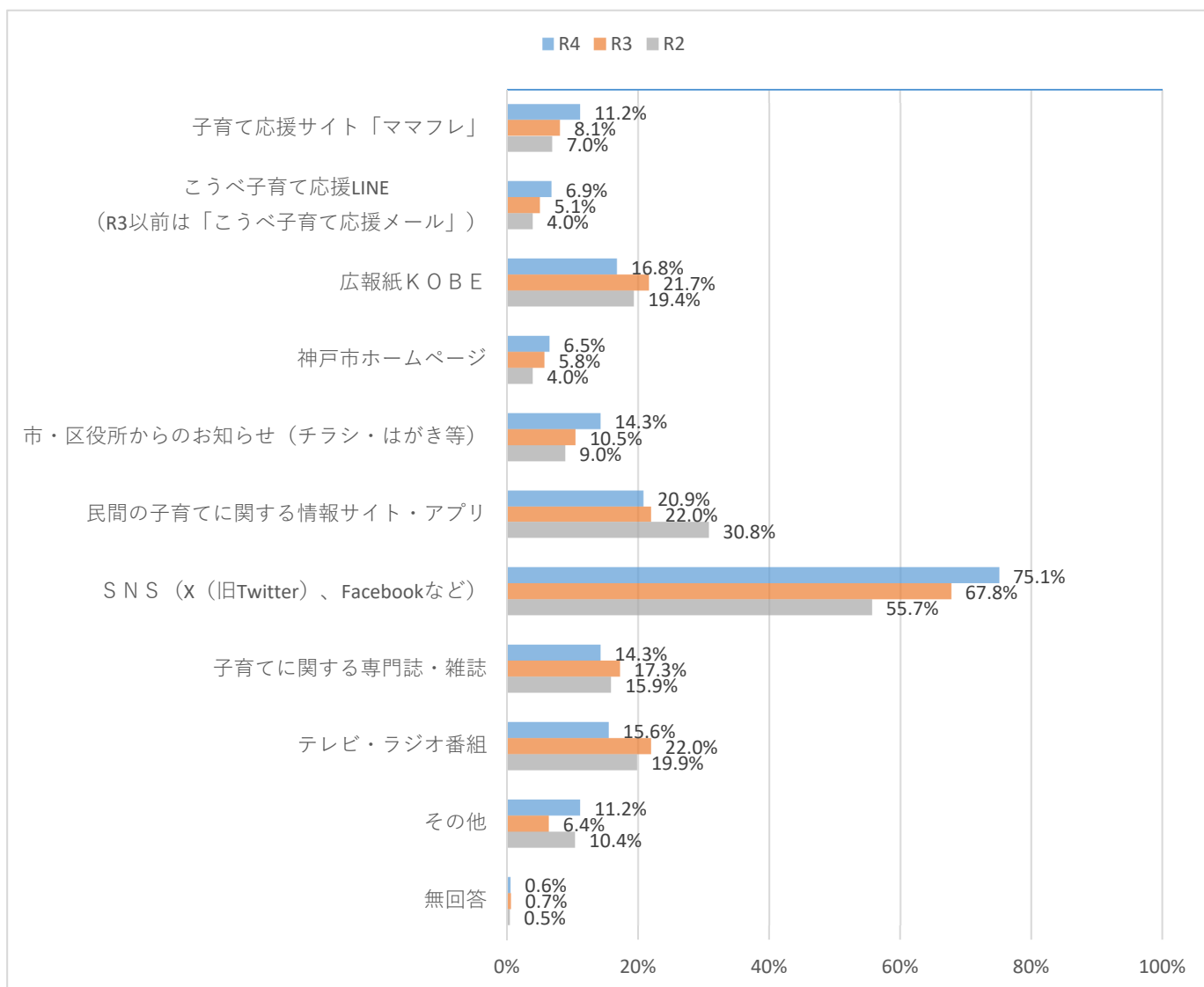
#### (3-2) 「いる」と答えた方の相談者の割合 (複数回答)



(4) 育児に関する情報についてどこから入手しているか (複数回答)

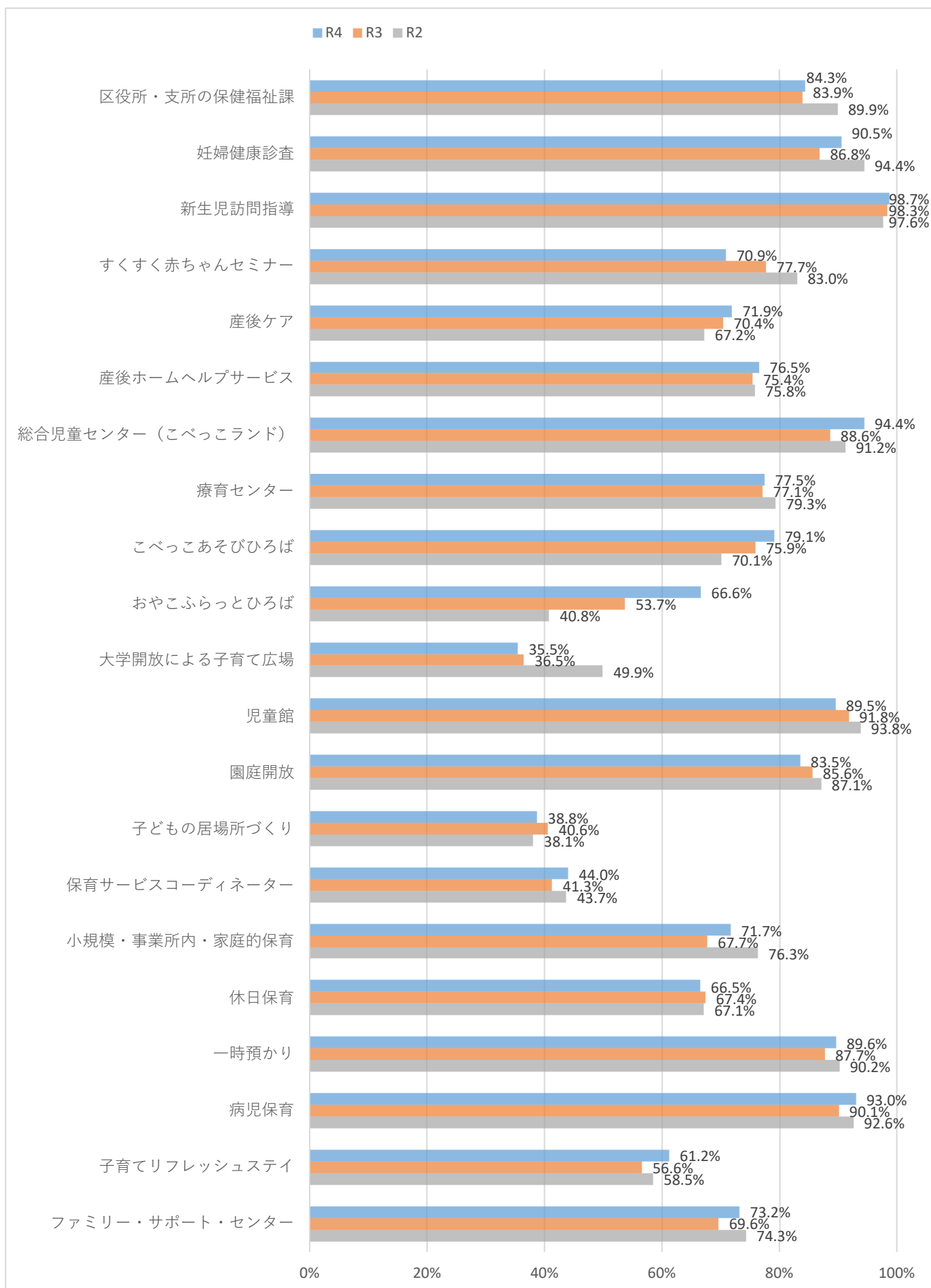


(4-2) 「その他」と回答した人のうち、育児に関する情報の主な入手先 (複数回答)

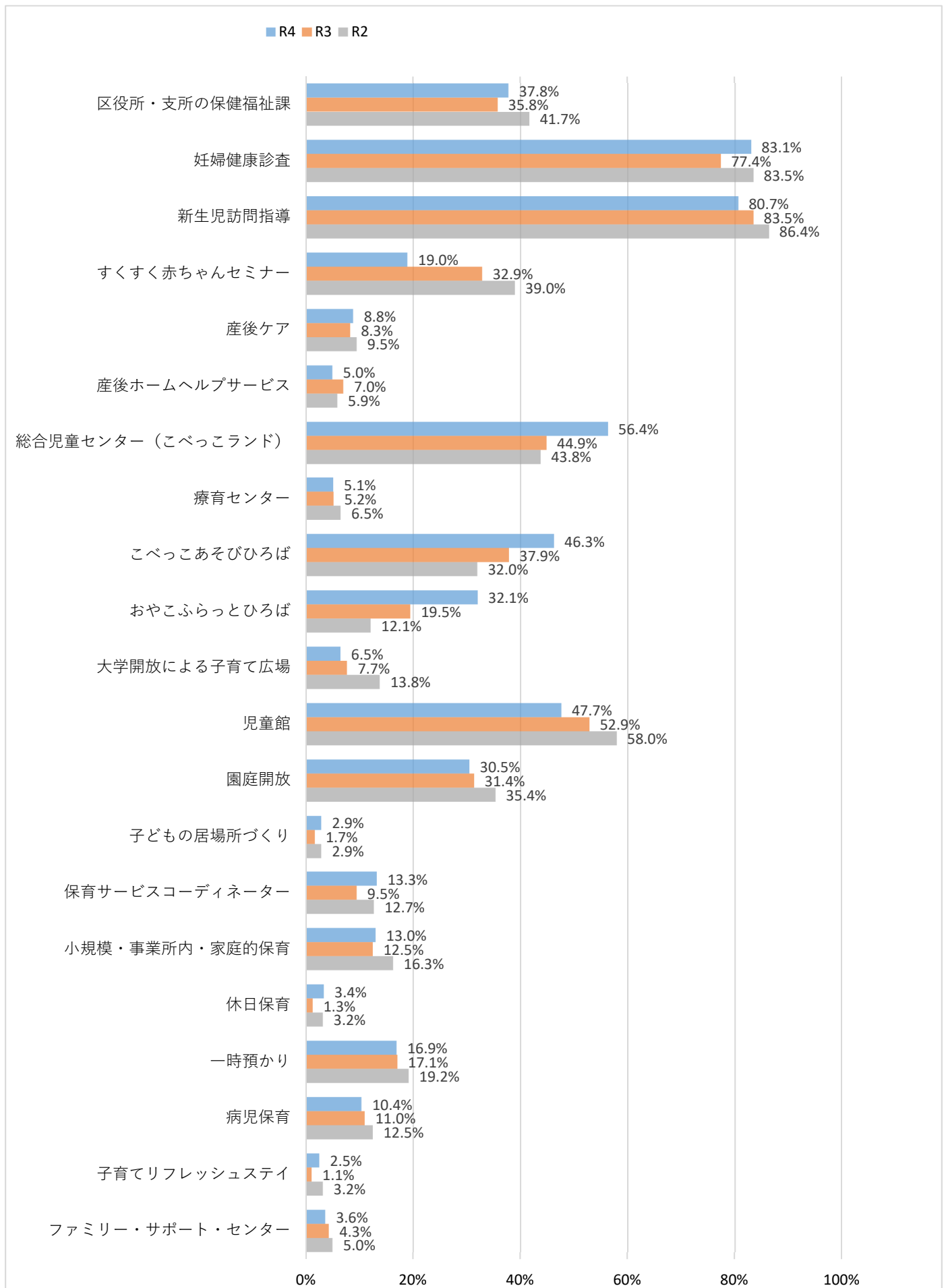




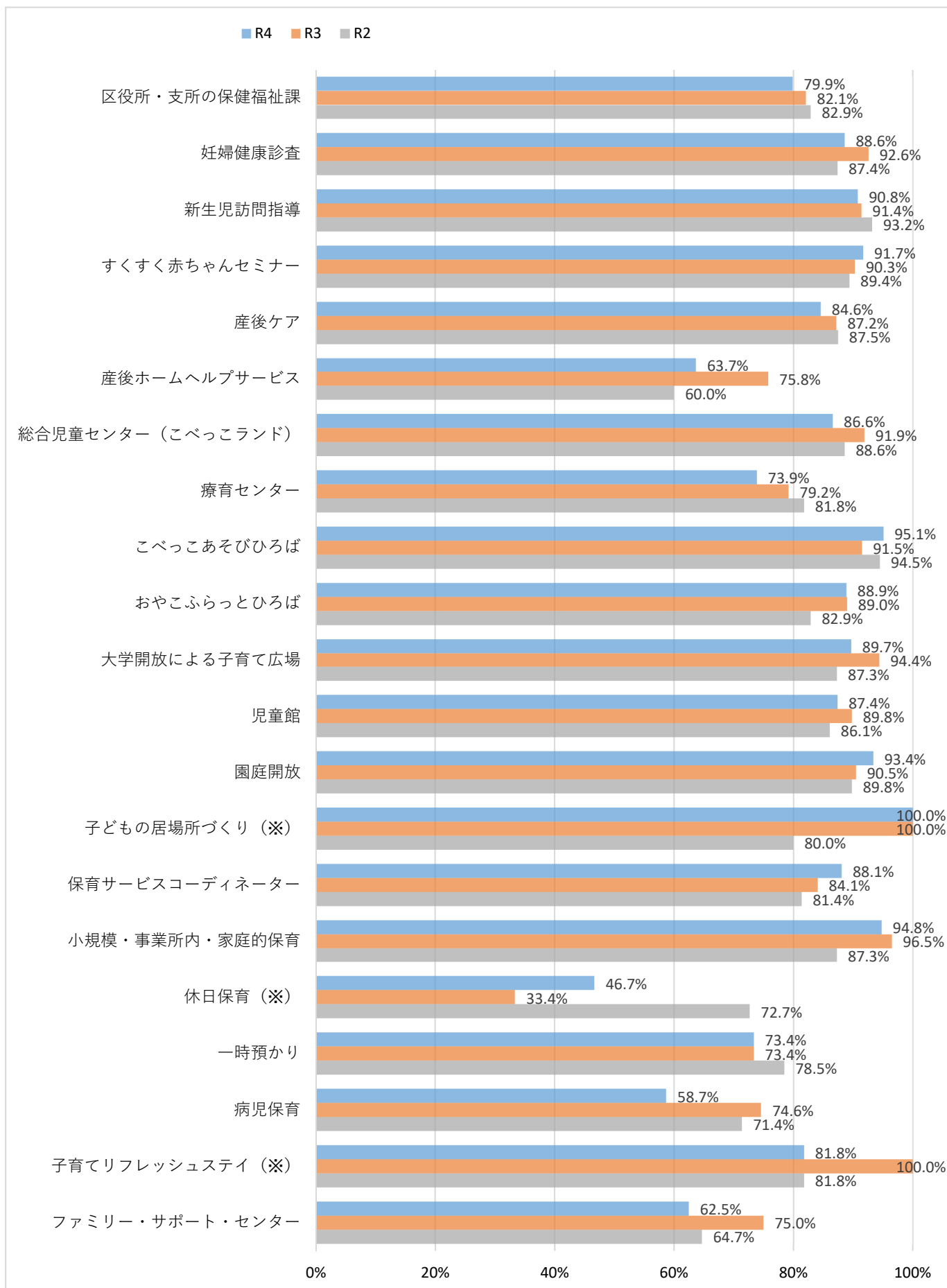
(5) 各事業における認知度



(6) 各事業における利用率

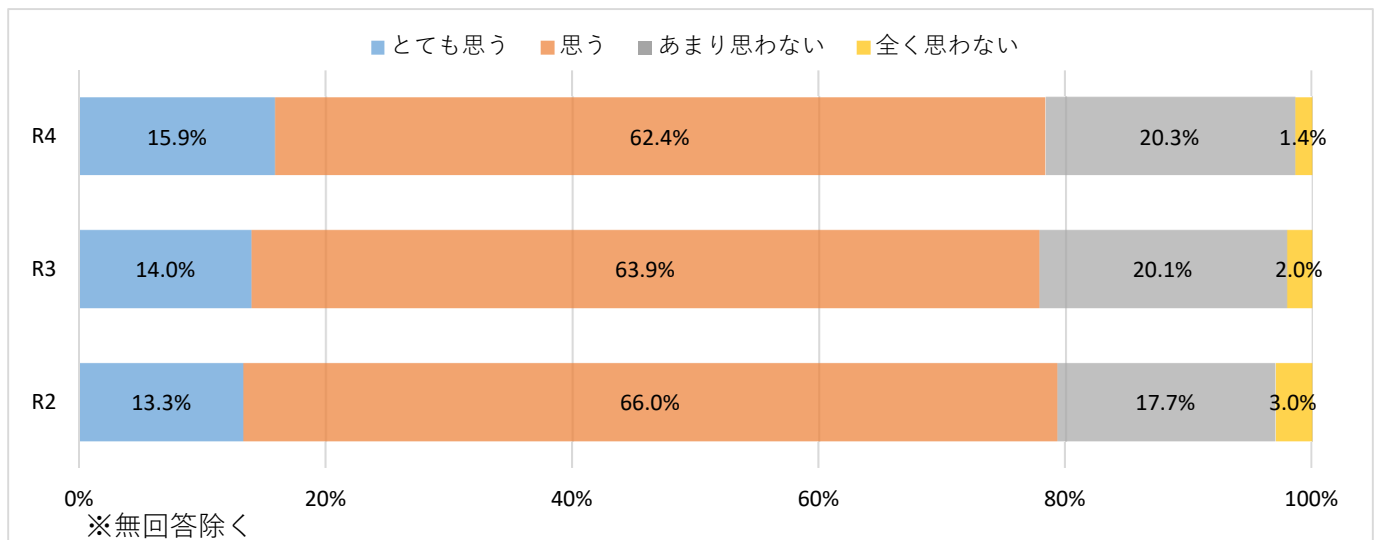


(7) 各事業における満足度



(※) 回答数 10 程度のため、調査結果の取り扱いに留意が必要

(8) 神戸で子育てして良かったと思いますか。



(8-2) 「とても思う」「思う」とお答えの方は、具体的にどのようなところが良かったと思いますか  
(以下 29 項目のうち 3 つまで回答)

【生活環境】

- (1) 海や山などの自然の豊かさ (2) 動物園や水族園など家族で遊びに行ける施設
- (3) 子ども連れで外出しやすいまち (駅舎や歩道橋へのエレベーターの設置、歩道の段差解消等)
- (4) 交通の利便性の充実 (通勤・通学に便利)
- (5) 子育てに適した広さや間取りの住宅供給及び家賃の軽減制度など住宅に関する子育て支援
- (6) 労働時間の短縮やフレックス制の推進など、就労環境

【結婚・妊娠・出産・子育て期にあたたかい街こうべの実現】

- (7) 子育てに関する講座の開催 (8) 子育てに関する冊子の配布やインターネット等による情報提供
- (9) 子育てについて気軽に相談できる窓口 (10) 健診や新生児訪問等の母子保健事業
- (11) HAT 神戸をはじめとする小児救急体制

【経済的支援の推進】

- (12) 多子世帯・ひとり親世帯等の保育料 (13) 子どもに関する医療費

【地域における子育て支援の充実と青少年の健全育成の推進】

- (14) 保育園・認定こども園や幼稚園の園庭開放 (15) 子育てサークルや、保護者同士の交流の場
- (16) 児童館など親子で気軽に集える場
- (17) 地域子育て支援センター (応援プラザ) などでの子育て支援ネットワーク

【仕事と子育ての両立支援】

- (18) 保育園・認定こども園・学童保育所などの整備
- (19) 保育園・認定こども園の保育時間の延長や保育内容
- (20) 幼稚園の預かり保育、長時間・長期休暇中預かり保育
- (21) 子育てリフレッシュステイなど、一時的に子どもを預けられる保育サービス
- (22) 病児の児童を一時的に保育する病児保育

【教育環境の充実】

- (23) 防災教育や英語教育など特色ある神戸の教育内容

【特に支援が必要な子ども・家庭への対応】

- (24) 児童虐待防止対策 (25) 障がい児施策 (26) 貧困の連鎖防止に向けた施策
- (27) ひとり親家庭等への支援 (28) 里親委託などの社会的養育体制の充実

【その他】

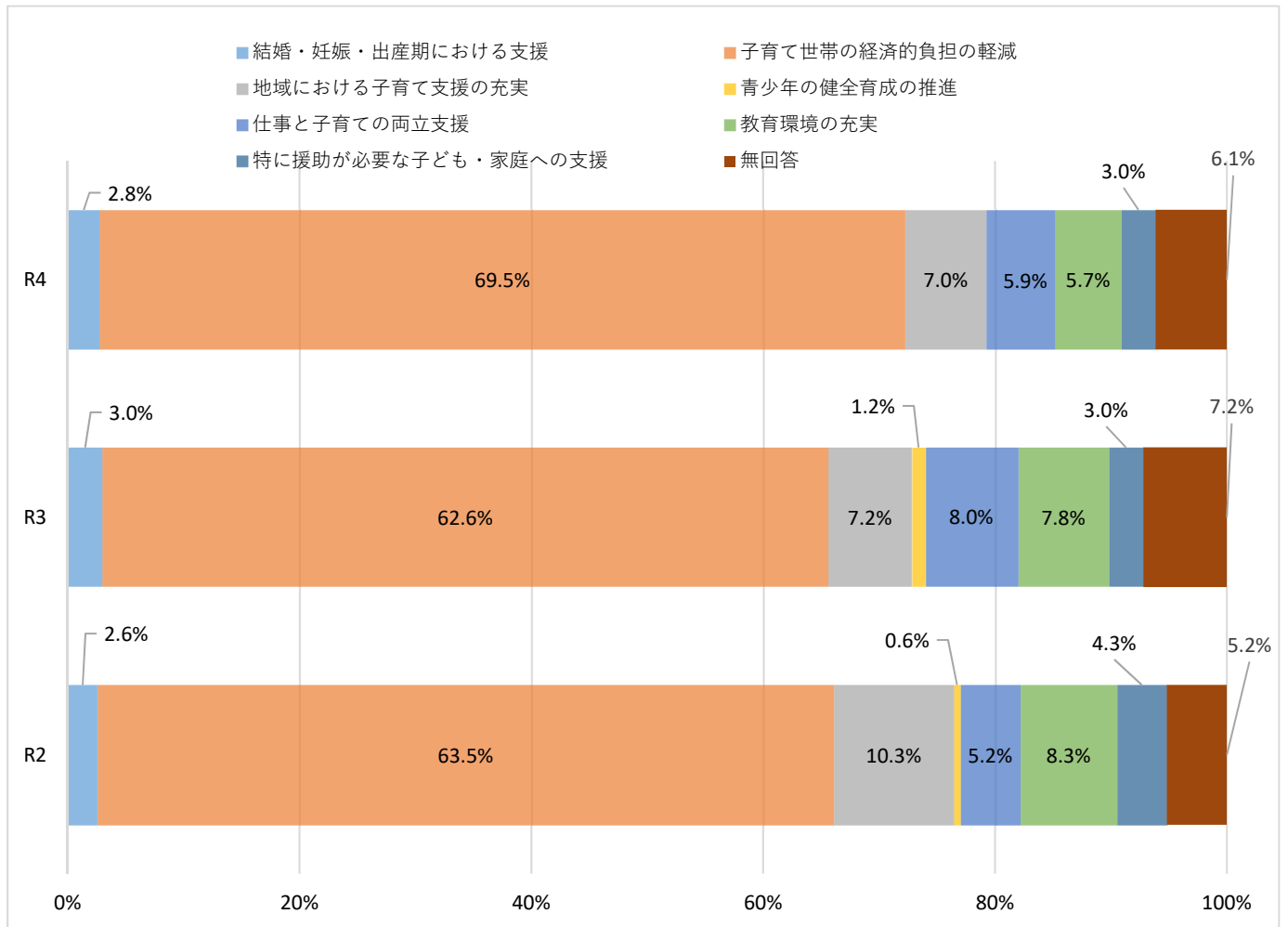
- (29) その他

順位	R4	R3	R2
1	動物園や水族園など家族で遊びに行ける施設	動物園や水族園など家族で遊びに行ける施設	海や山などの自然の豊かさ
	50.9%	54.5%	50.0%
2	海や山などの自然の豊かさ	海や山などの自然の豊かさ	動物園や水族園など家族で遊びに行ける施設
	42.4%	48.0%	47.6%
3	交通の利便性の充実（通勤・通学に便利）	交通の利便性の充実（通勤・通学に便利）	交通の利便性の充実（通勤・通学に便利）
	27.3%	28.1%	22.0%
4	HAT神戸をはじめとする小児救急体制	HAT神戸をはじめとする小児救急体制	HAT神戸をはじめとする小児救急体制
	21.2%	16.9%	15.7%
5	子ども連れで外出しやすいまち（駅舎や歩道橋へのエレベーターの設置、歩道の段差解消等）	子ども連れで外出しやすいまち（駅舎や歩道橋へのエレベーターの設置、歩道の段差解消等）	子どもに関する医療費 保育園・認定こども園や幼稚園の園庭開放
	17.0%	14.2%	14.3%

（8-3）「あまり思わない」「全く思わない」とお答えの方は、具体的にどのようなところがよくないと思いますか（3つまで回答 ※選択肢は（8-2）と同じ）

順位	R4	R3	R2
1	子どもに関する医療費	子どもに関する医療費	子どもに関する医療費
	44.5%	46.5%	36.4%
2	子ども連れで外出しやすいまち（駅舎や歩道橋へのエレベーターの設置、歩道の段差解消等）	子ども連れで外出しやすいまち（駅舎や歩道橋へのエレベーターの設置、歩道の段差解消等）	子ども連れで外出しやすいまち（駅舎や歩道橋へのエレベーターの設置、歩道の段差解消等）
	多子世帯・ひとり親世帯の保育料		
3	子育てに適した広さや間取りの住宅供給及び家賃の軽減制度など住宅に関する子育て支援	多子世帯・ひとり親世帯の保育料	多子世帯・ひとり親世帯の保育料
	17.2%	11.6%	10.9%
4	保育園・認定こども園・学童保育所などの整備	保育園・認定こども園・学童保育所などの整備	子育てに適した広さや間取りの住宅供給及び家賃の軽減制度など住宅に関する子育て支援
	9.4%	10.3%	9.1%
5	病児の児童を一時的に保育する病児保育	子育てに適した広さや間取りの住宅供給及び家賃の軽減制度など住宅に関する子育て支援	交通の利便性の充実（通勤・通学に便利）
	8.6%	9.0%	8.2%

(9) 子育て支援策について、今後神戸市に期待すること



#### (4) 施設利用者調査結果

	ページ
①保育所	14
②認定こども園	16
③幼稚園	18
④児童館	21
⑤大学と連携した子育てひろば (※)	24
⑥学童保育	27
⑦一時預かり (一時保育含む)	32
⑧子育てリフレッシュステイ (※)	35
⑨病児保育 (※)	38
⑩ファミリー・サポート・センター (※)	40
⑪小規模保育	43
⑫事業所内保育 (※)	45
⑬家庭的保育 (※)	47
⑭おやこふらっとひろば (※)	49

(※)回収数が少ないため、調査結果の取り扱いに留意が必要

## ①保育所

### 1 調査概要

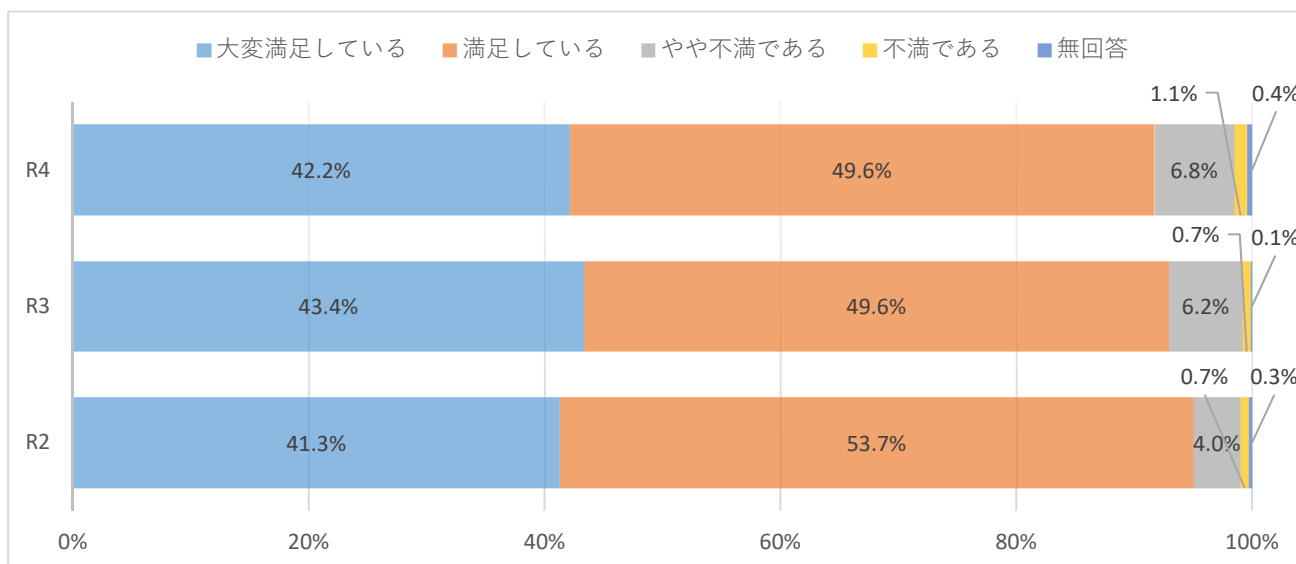
- ・令和5年7月、公立保育所56箇所及び私立保育園72箇所計128箇所を通じて、保育所ごとに各年齢2名ずつ無作為抽出した子どもの保護者を対象に実施
- ・施設を通じて二次元コードを記載したアンケート依頼文を配布し、WEBサイトから回答を収集
- ・回収数 930／配布数 1,456（回収率 63.9%）

### 2 回答者の基本情報

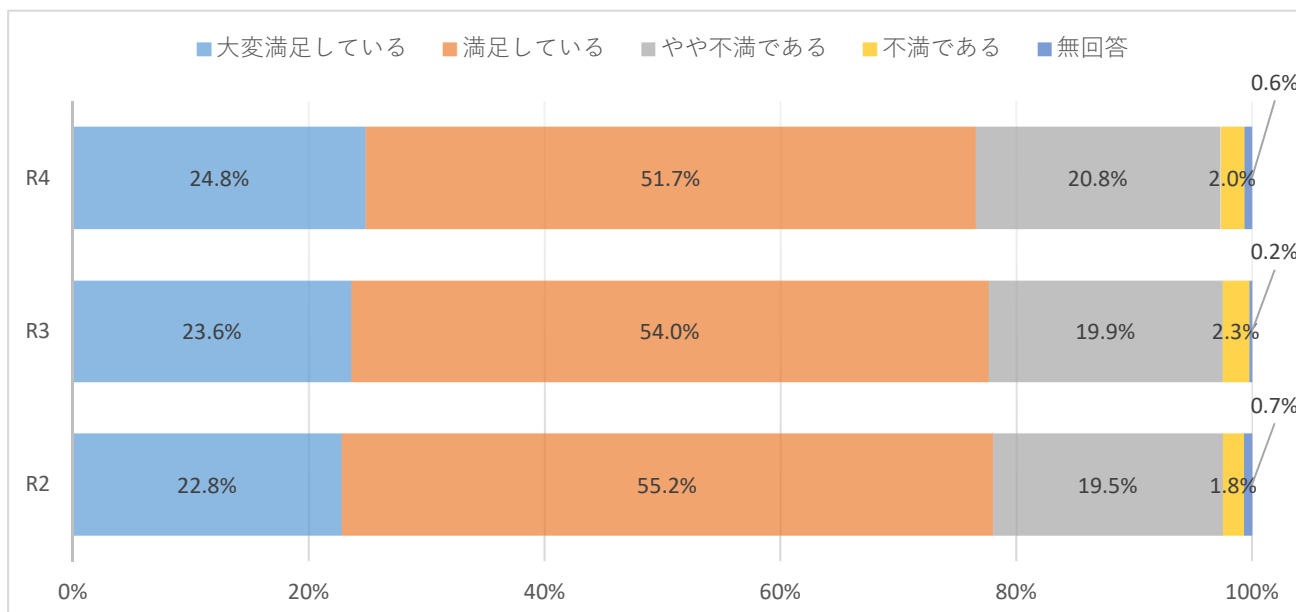
- ・就労状況について、父親は「フルタイム」が大半を占め、母親は「フルタイム」が6割強、「パート」が3割強となっている。

### 3 調査結果

#### （1）保育内容全般

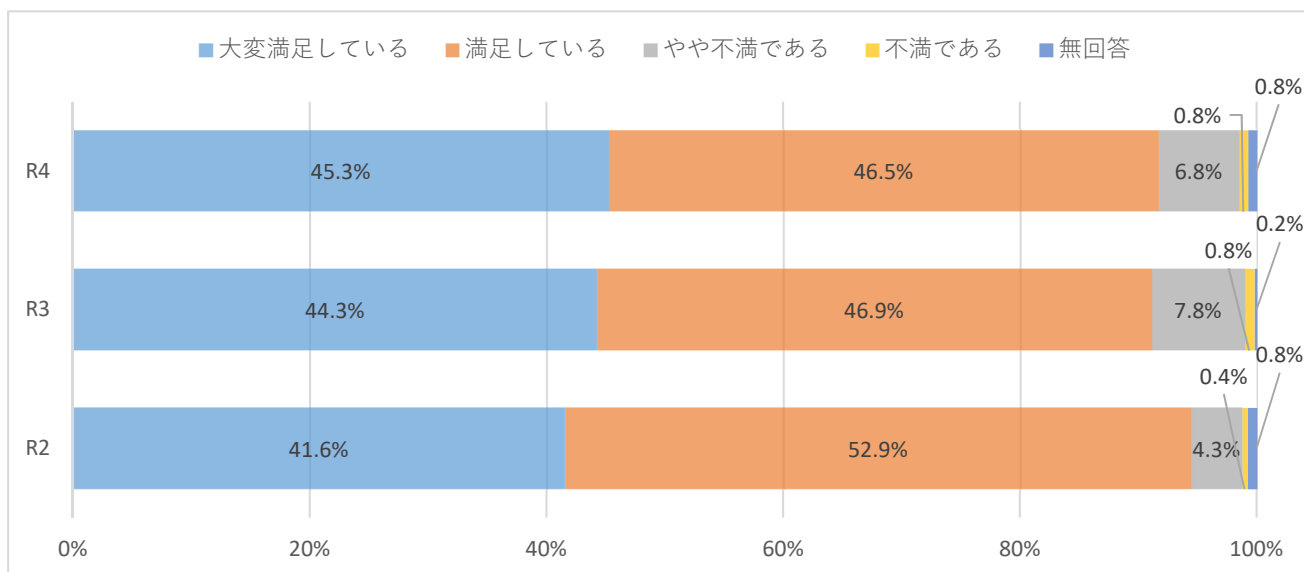


#### （2）建物や園庭などの施設

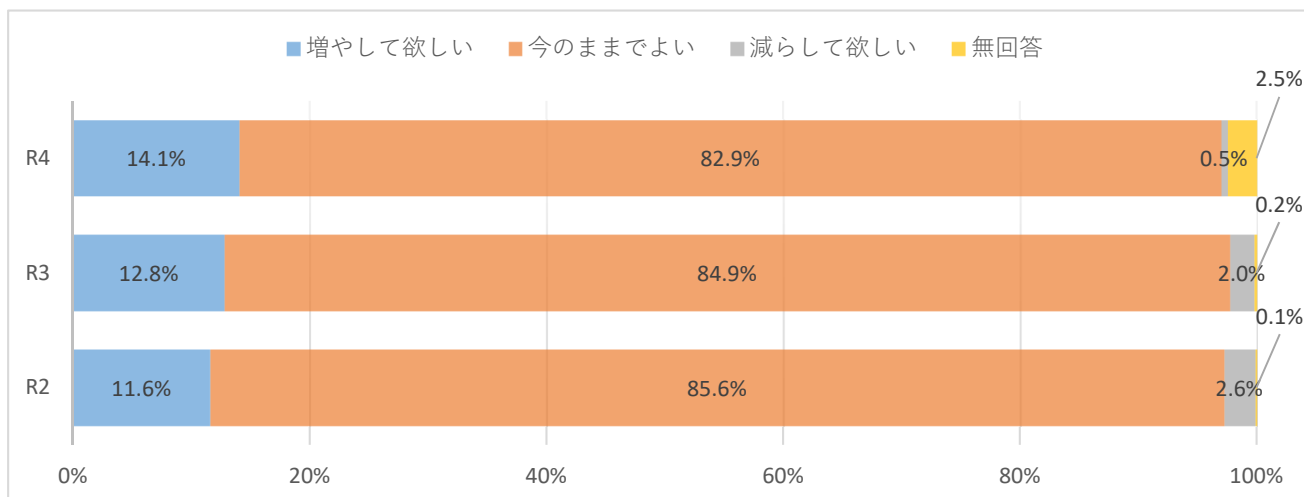




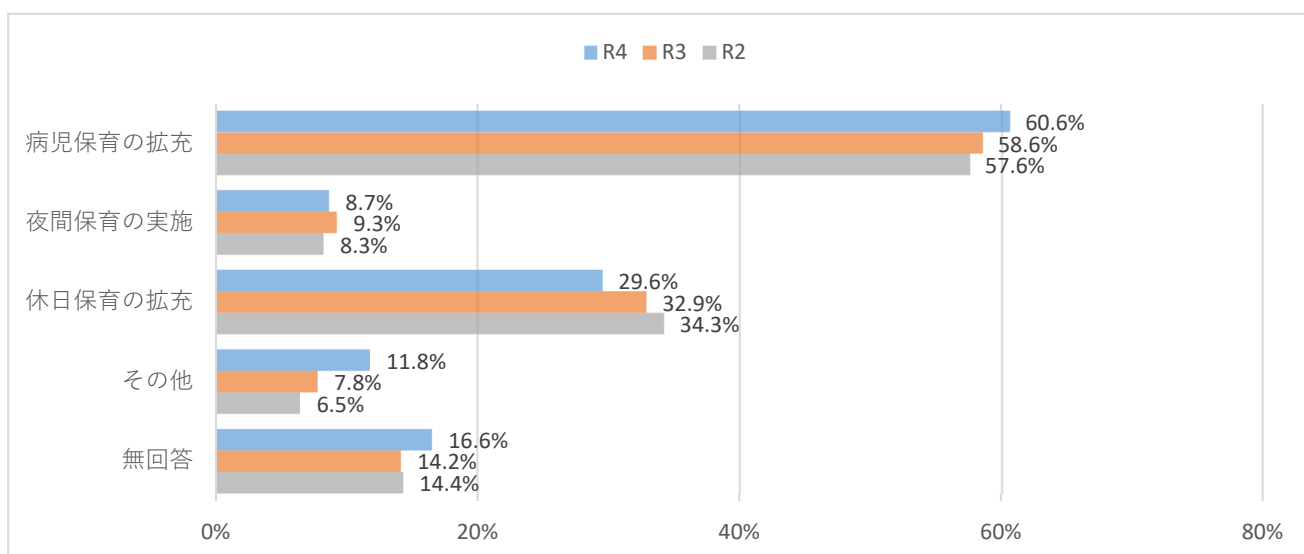
### (3) 職員の対応



### (4) 地域の親子との交流（園庭開放など）



### (5) 特に充実してほしい支援策（複数回答）



## ②認定こども園

### 1 調査方法

- ・令和5年7月、幼保連携型認定こども園164箇所及び幼稚園型認定こども園20箇所計184箇所に通う子どもの中から、認定こども園ごとに各年齢2名ずつ無作為抽出し、子どもの保護者を対象に実施
- ・施設を通じて二次元コードを記載したアンケート依頼文を配布し、WEBサイトから回答を収集
- ・回収数1,288／配布数2,059（回収率62.6%）

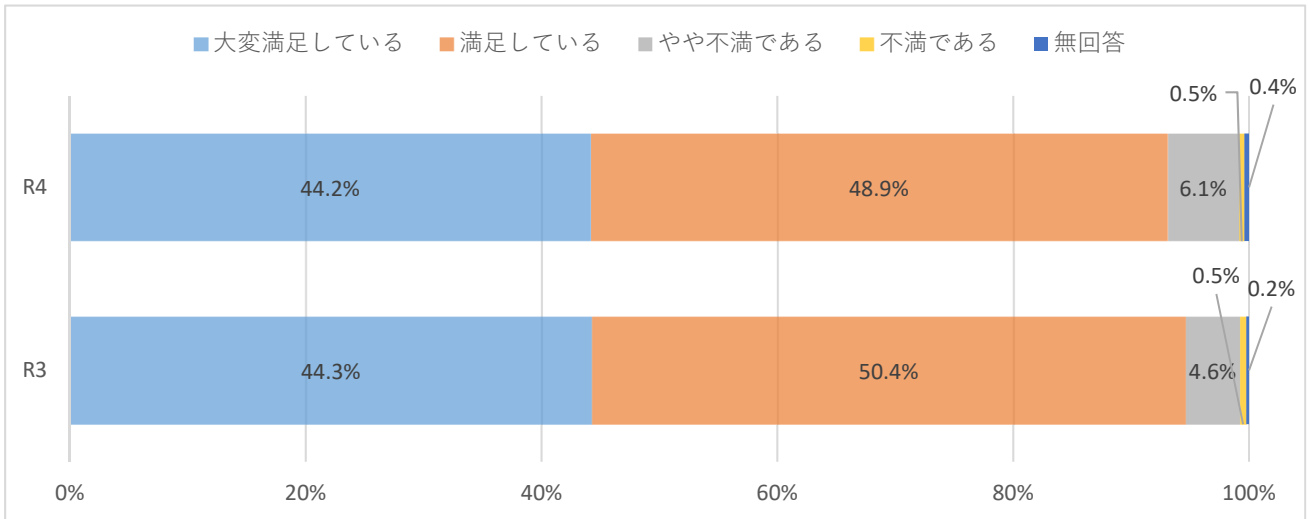
### 2 回答者の基本情報

- ・就労状況について、父親は「フルタイム」が大半を占め、母親は「フルタイム」が6割弱、「パート」が3割弱となっている。

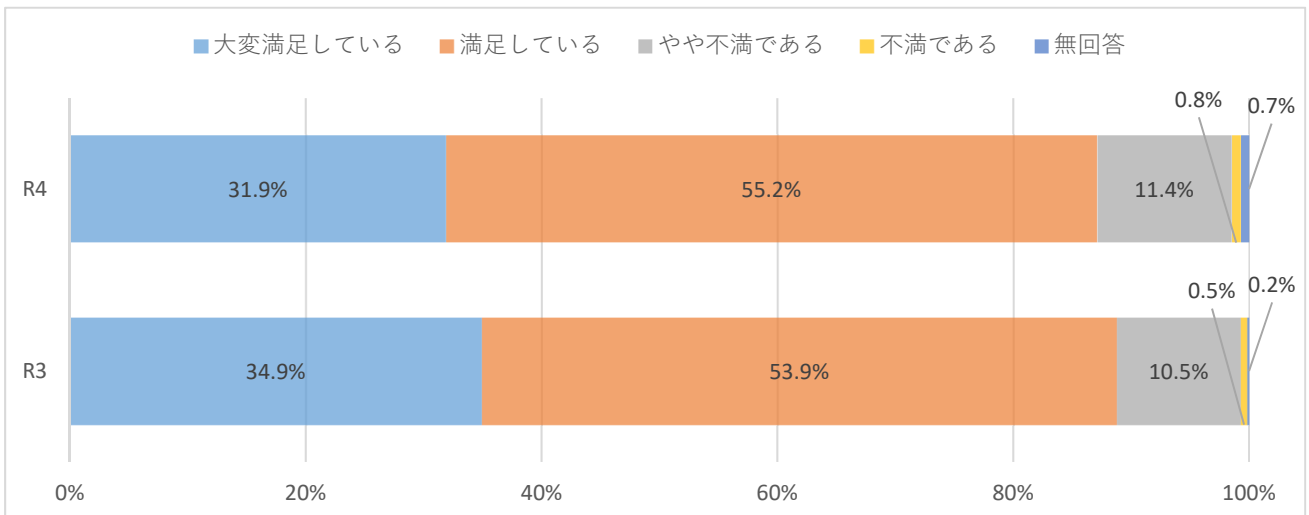
### 3 調査結果

※令和2年度は調査票配布の準備作業に錯誤があり、得られた回答について適切な分析ができなかったため、結果は未掲載

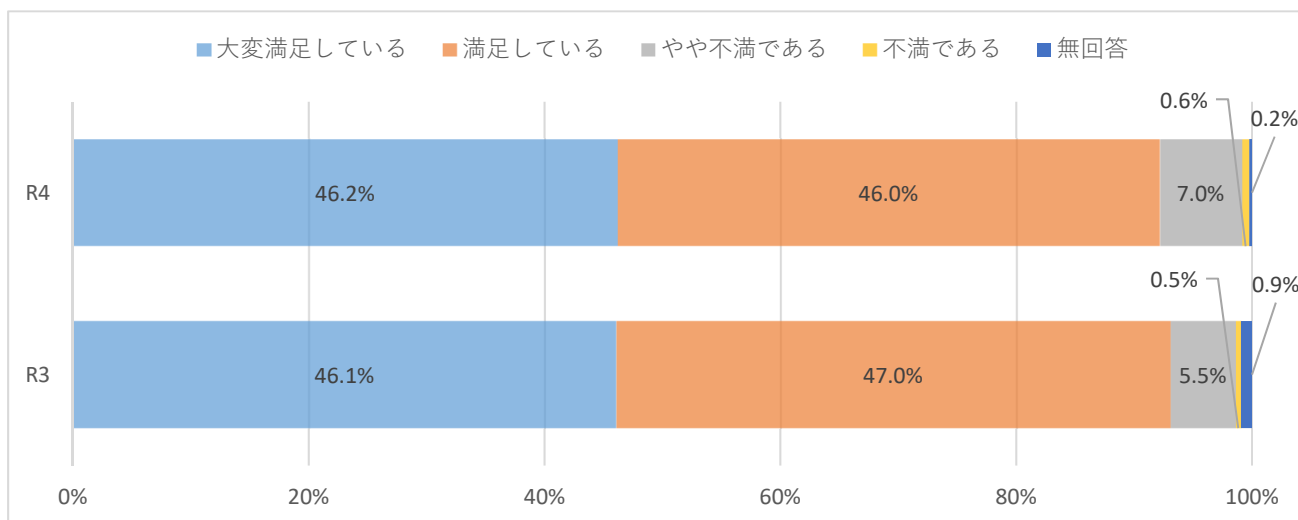
#### (1) 保育内容全般



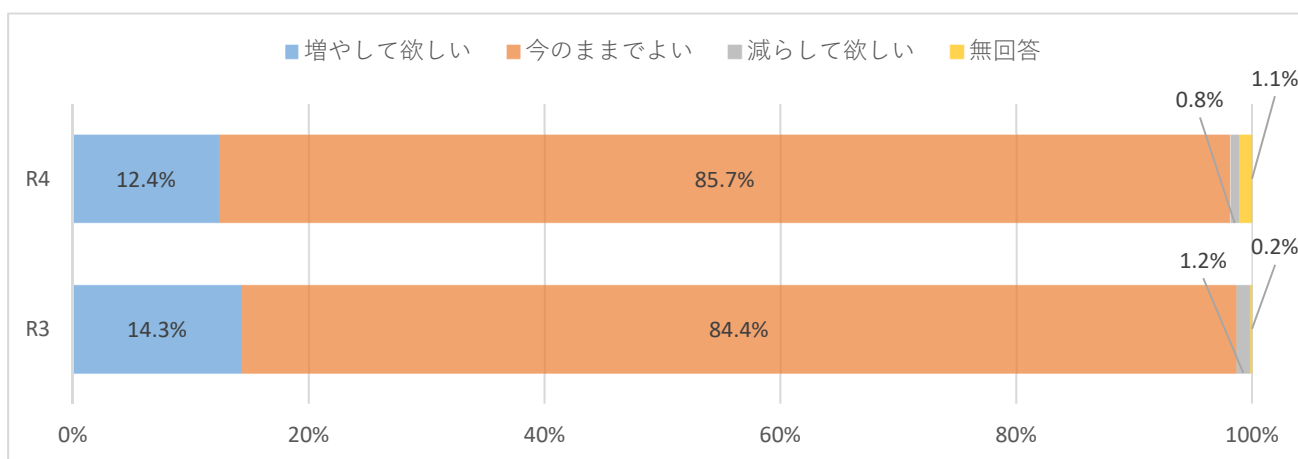
#### (2) 建物や園庭などの施設



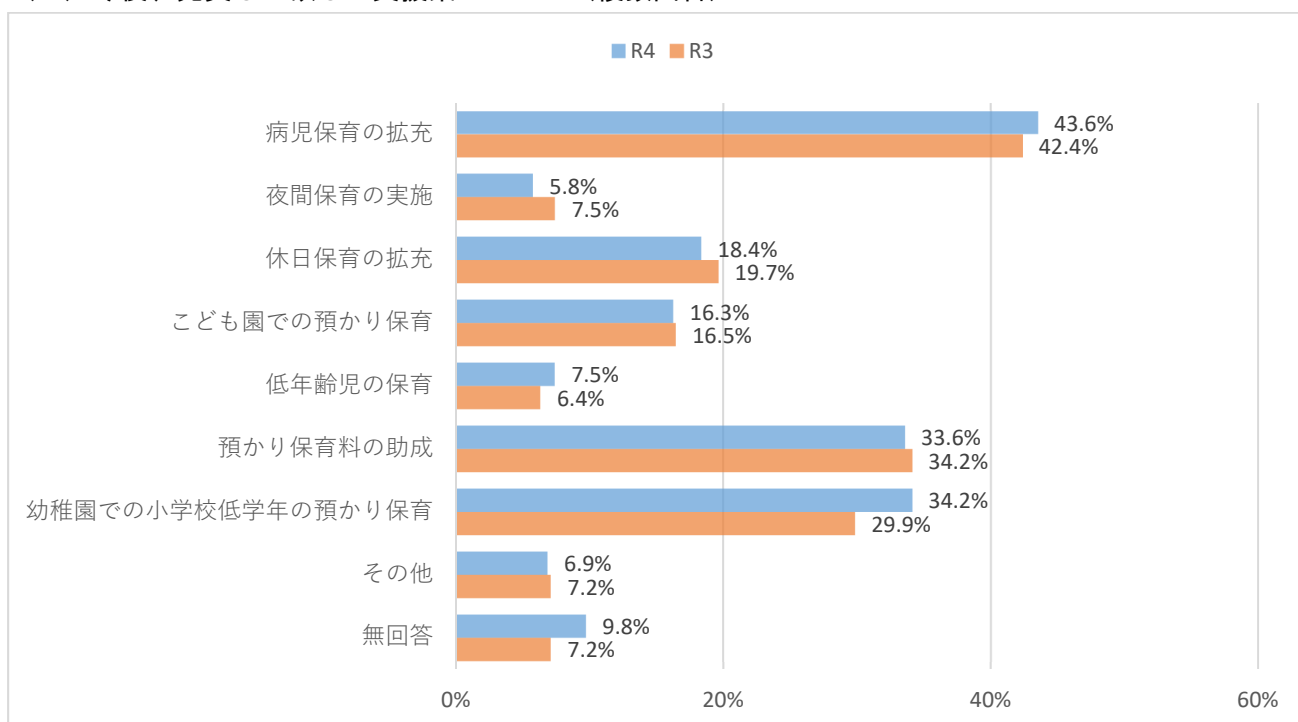
### (3) 職員の対応



### (4) 地域の親子との交流（園庭開放など）



### (5) 今後、充実して欲しい支援策について（複数回答）



### ③幼稚園

#### 1 調査方法

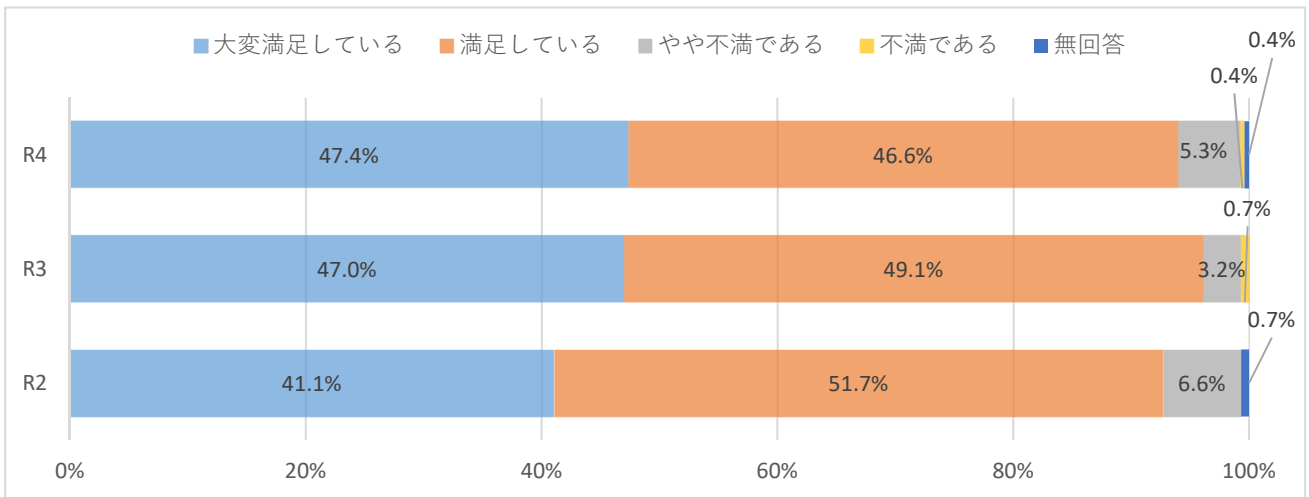
- 令和5年7月、公立幼稚園29箇所及び私立幼稚園46箇所計75箇所を通じて、幼稚園ごとに、各年齢2名ずつ無作為抽出された子どもの保護者を対象に実施
- 施設を通じて二次元コードを記載したアンケート依頼文を配布し、WEBサイトから回答を収集
- 回収数266／配布数383（回収率69.5%）

#### 2 回答者の基本情報

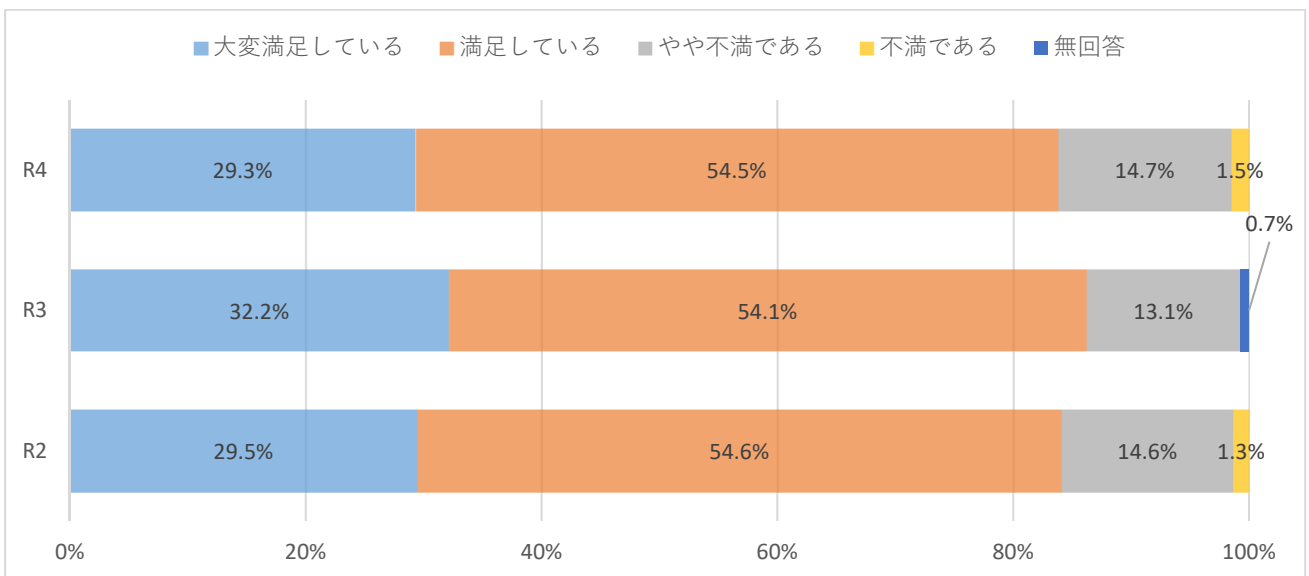
- 就労状況について、父親は「フルタイム」が大半を占め、母親は「働いていない」が6割強、「パート」が3割弱となっている。

#### 3 調査結果

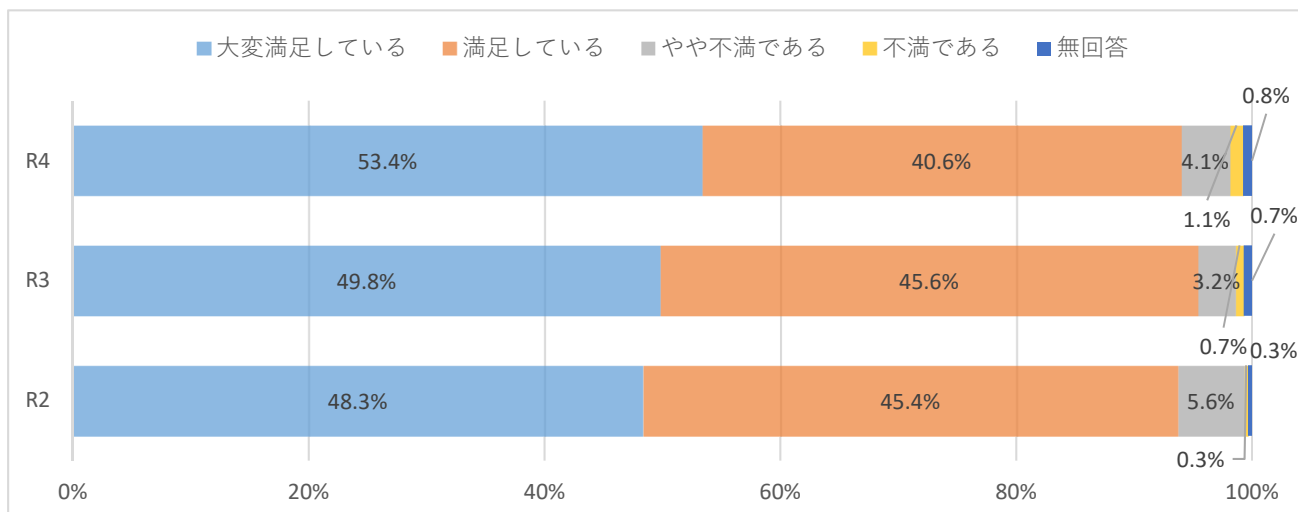
##### (1) 保育内容全般



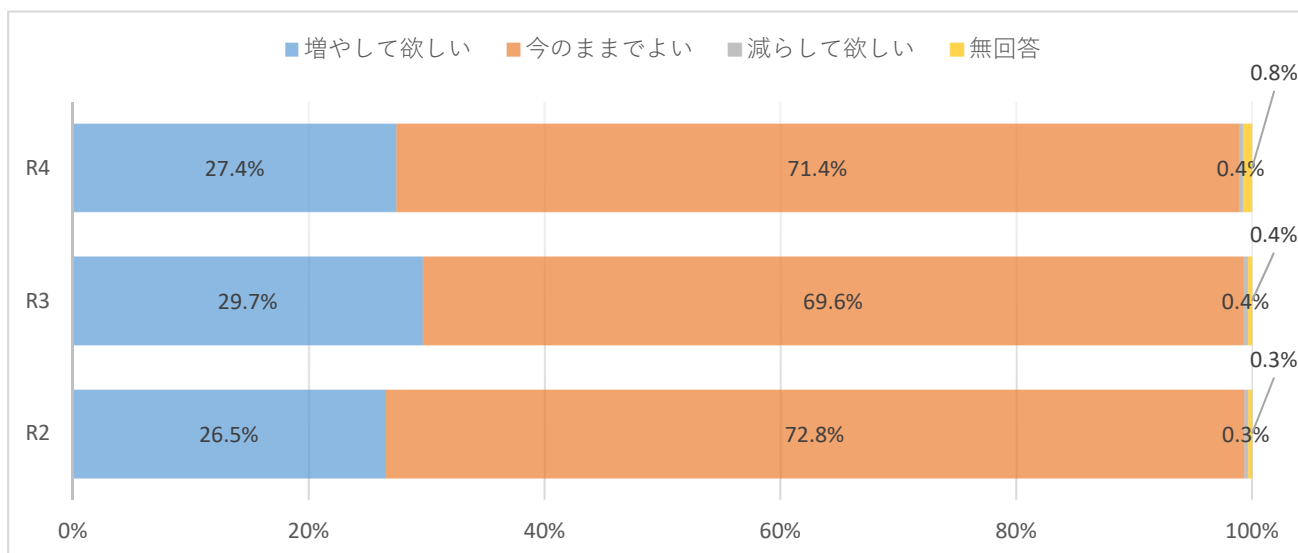
##### (2) 建物や園庭などの施設



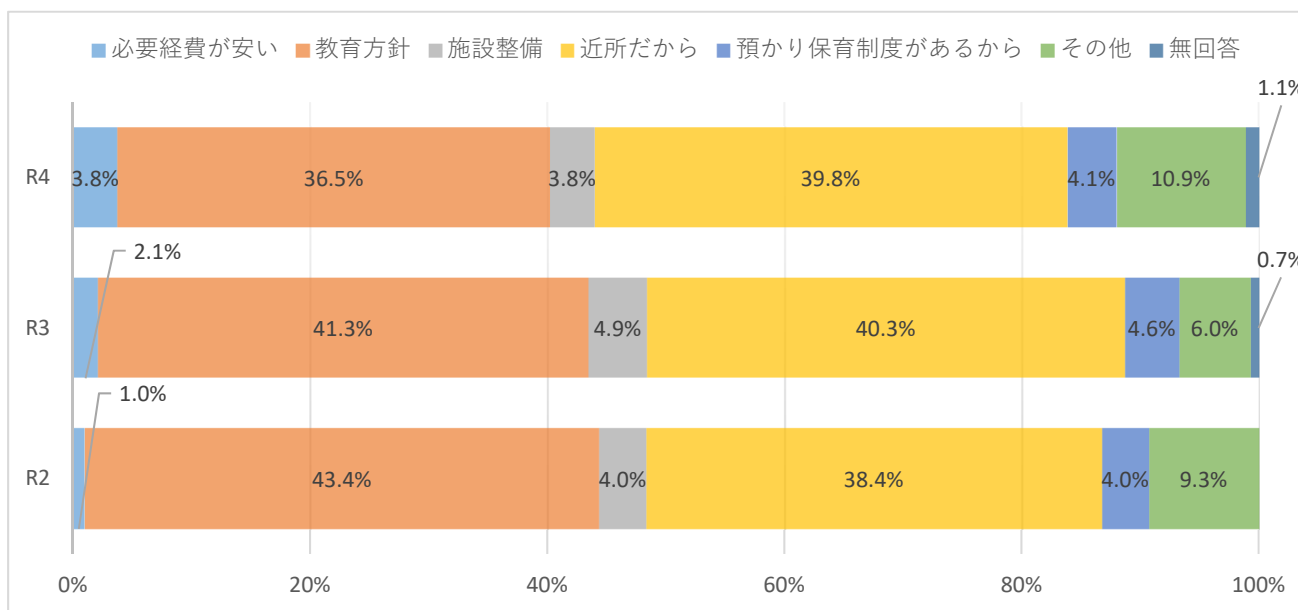
### (3) 職員の対応



### (4) 未就園児保育や園庭開放

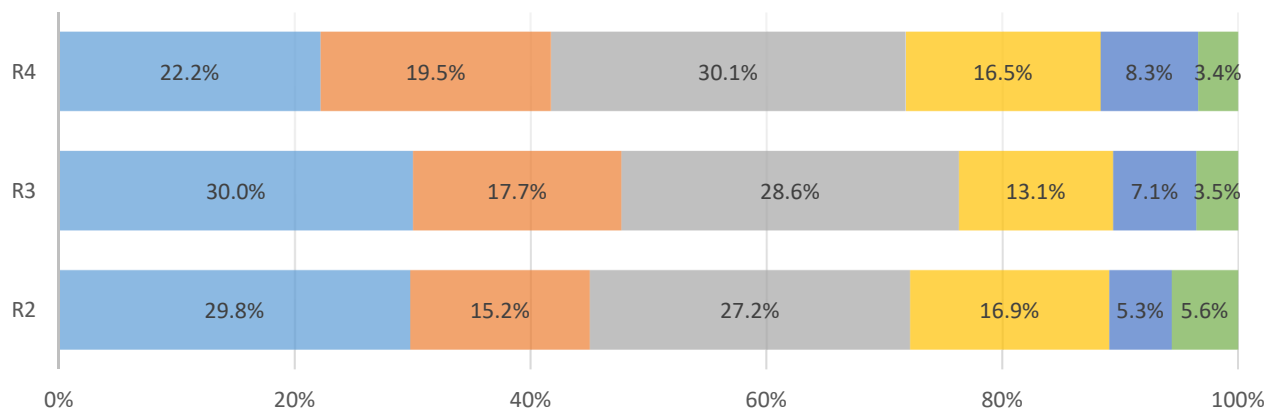


### (5) 現在通う園を選択した理由



### (6) どのような子育て支援が必要か

- 幼稚園での預かり保育（在園児、又は在園児の兄弟）
- 低年齢児の保育
- 預かり保育料の助成
- 幼稚園での小学校低学年の預かり保育
- その他
- 無回答



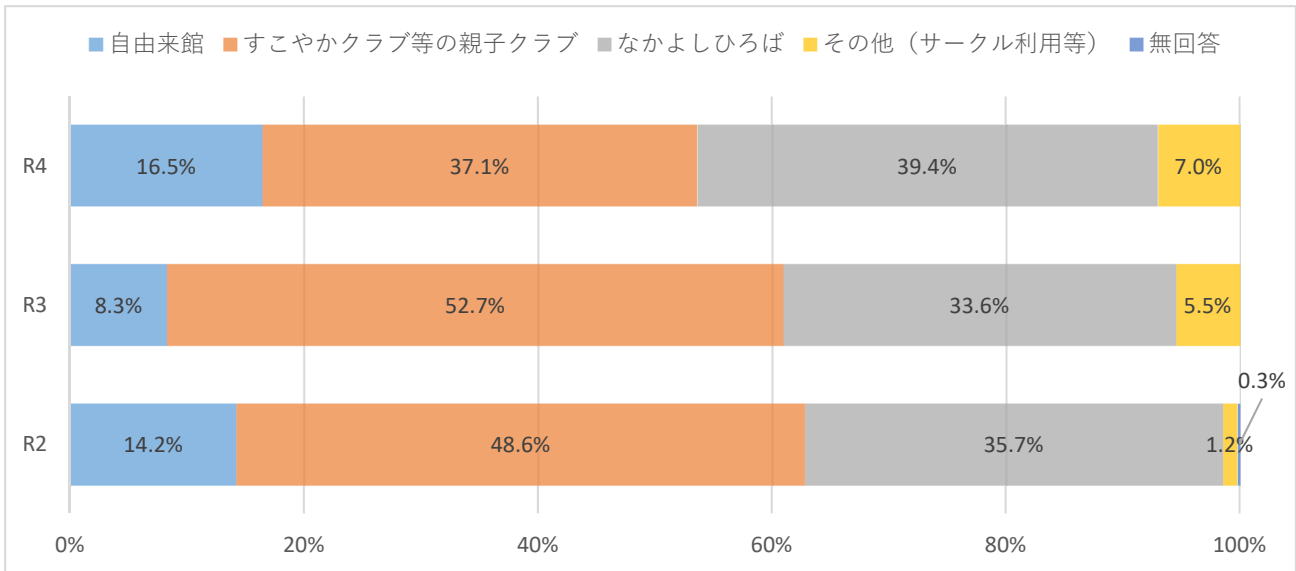
#### ④児童館(午前中)

	【公立児童館 117 ヲ所】	【民設児童館 4 ヲ所】
1 調査方法	児童館を通じて、利用者に二次元コードを記載した調査票を配布、もしくは利用者にメール等で WEB サイトを案内し、WEB サイトから回答を収集	児童館を通じて、期間中に利用のあった 10 組の親子を対象に二次元コードを記載したアンケート依頼文を配布し、WEB サイトから回答を収集
2 調査期間	令和 5 年 3 月	令和 5 年 7 月
3 回収率	回収数 658 / 配布数- (回収率-)	回収数 10 / 配布数 30 (回収率 33.3%)

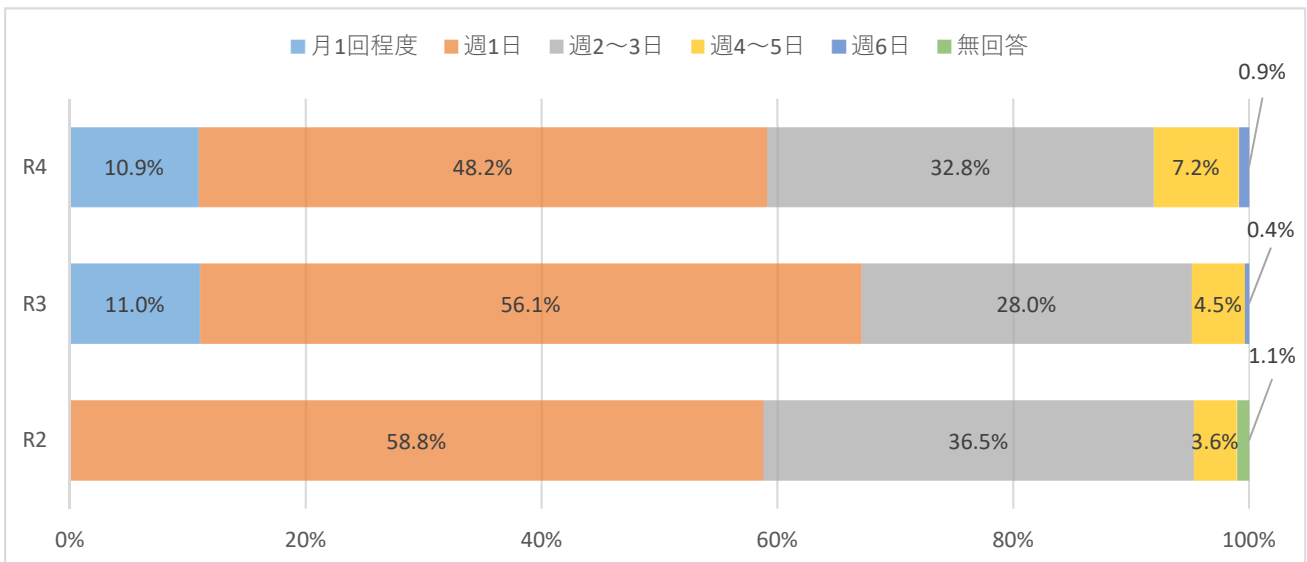
※公立児童館については、「児童館の指定管理者による管理運営状況の評価に関するアンケート」を活用

#### 4 調査結果

##### (1) 何を利用したか

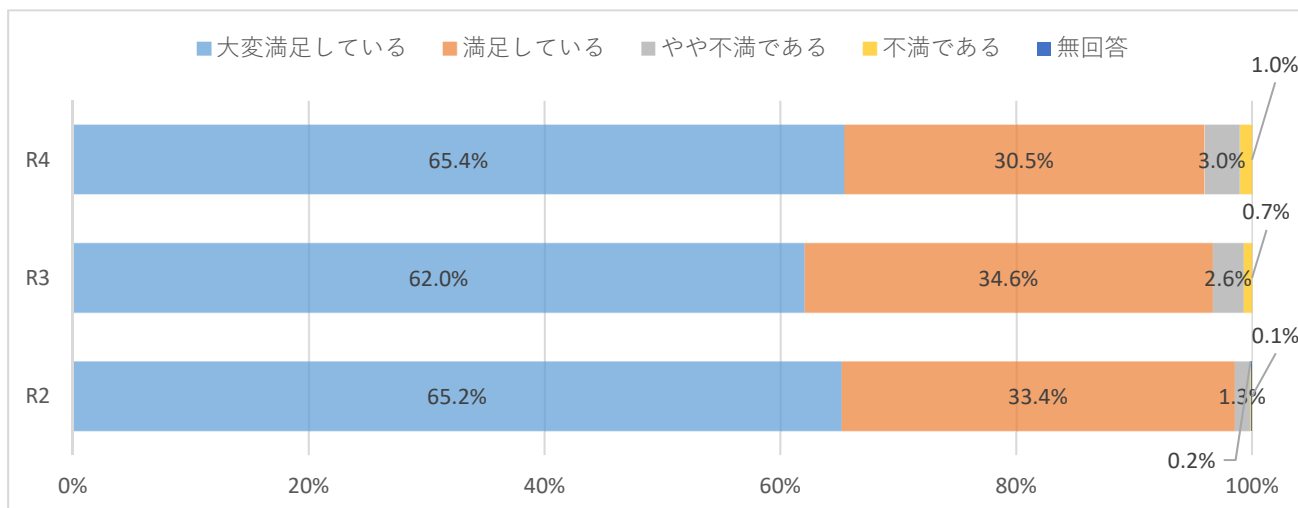


##### (2) 利用の頻度

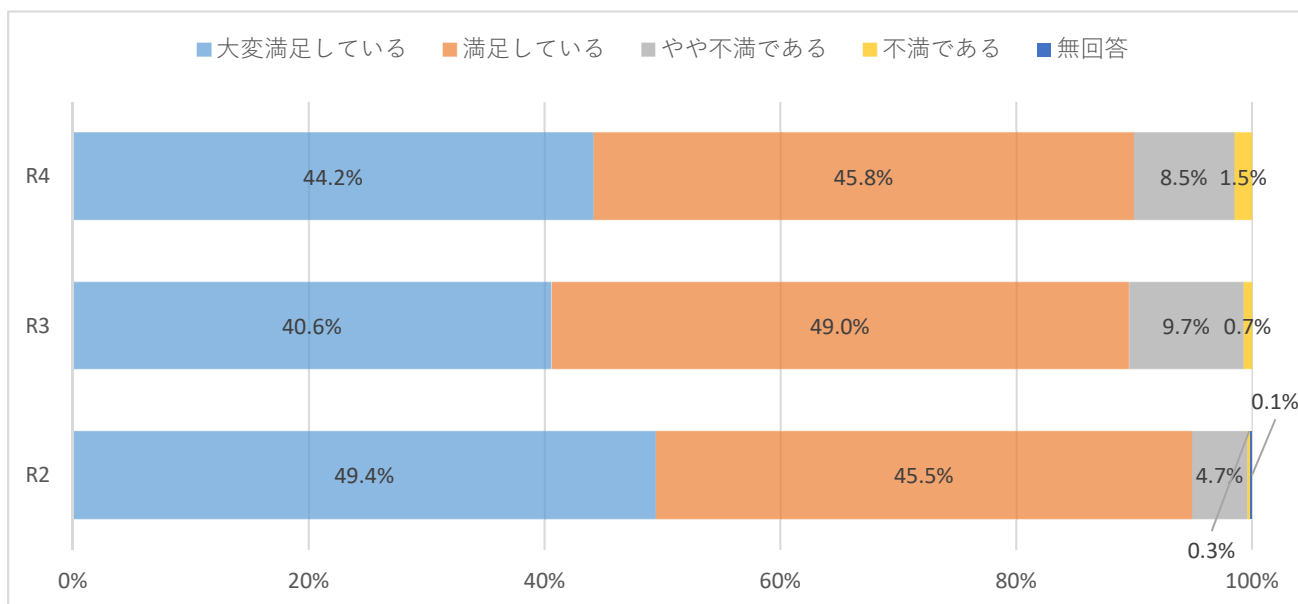


※「月1回程度」の選択肢は、令和3年度より追加。

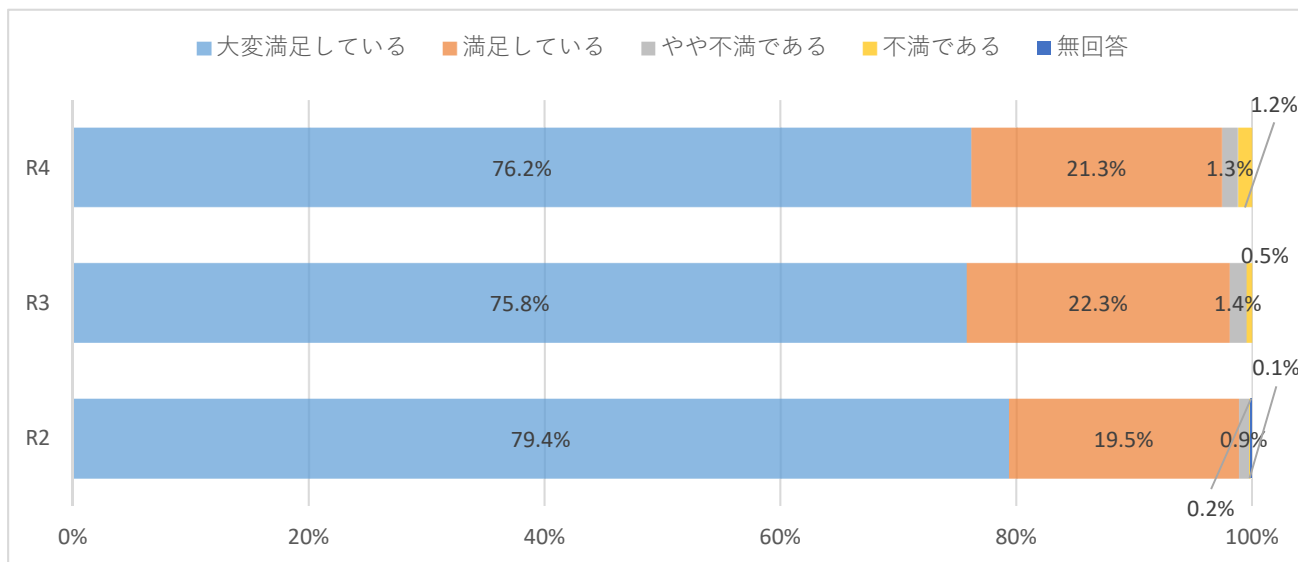
### (3) サービス内容



### (4) 施設

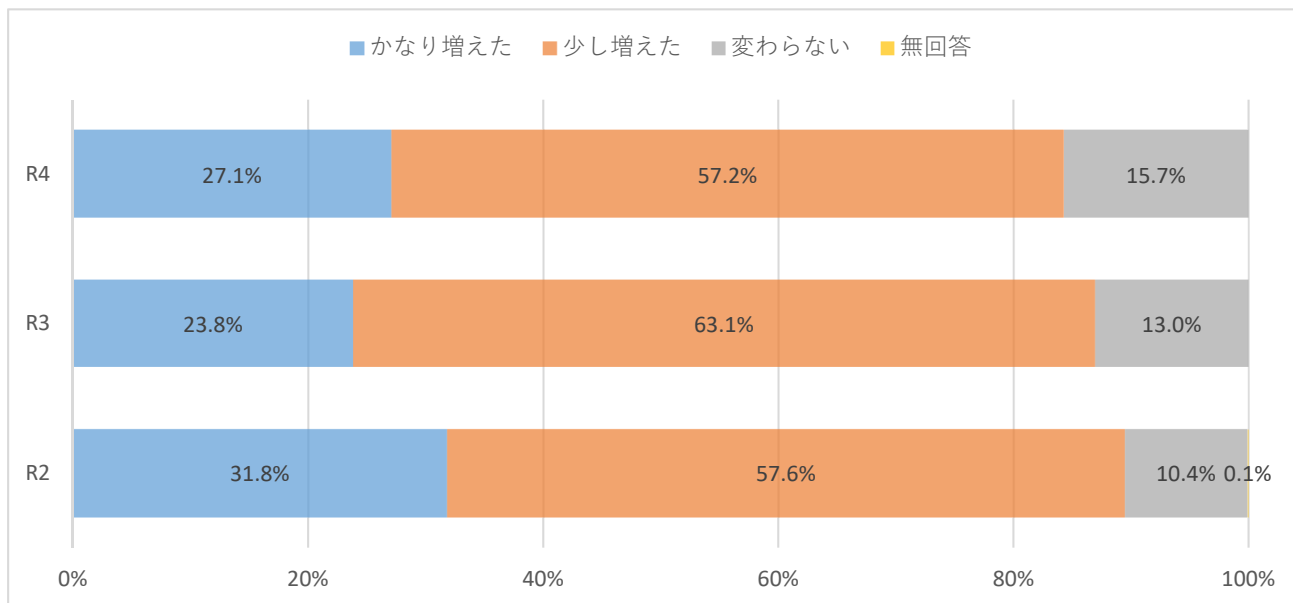


### (5) 職員の対応

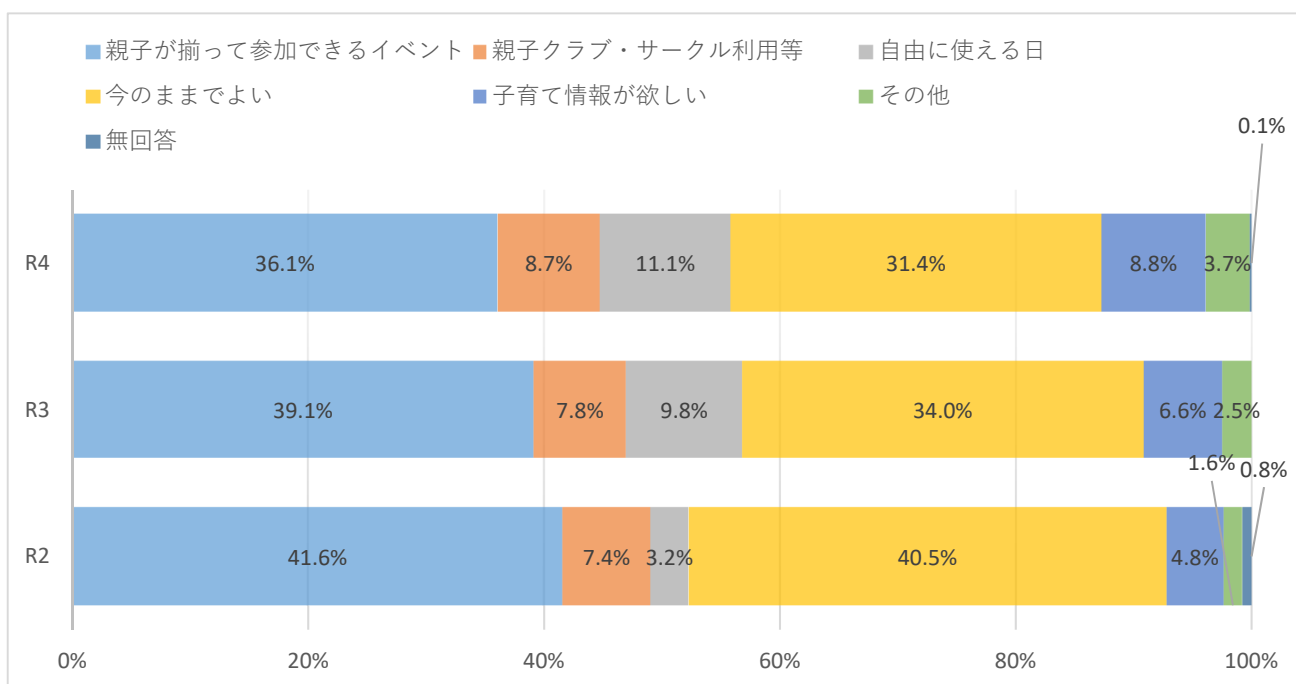




(6) 利用により新しい知人が増えたか



(7) 児童館で増やしてほしいサービス



## ⑤大学連携（大学と連携した子育て支援事業）

### 1 調査概要

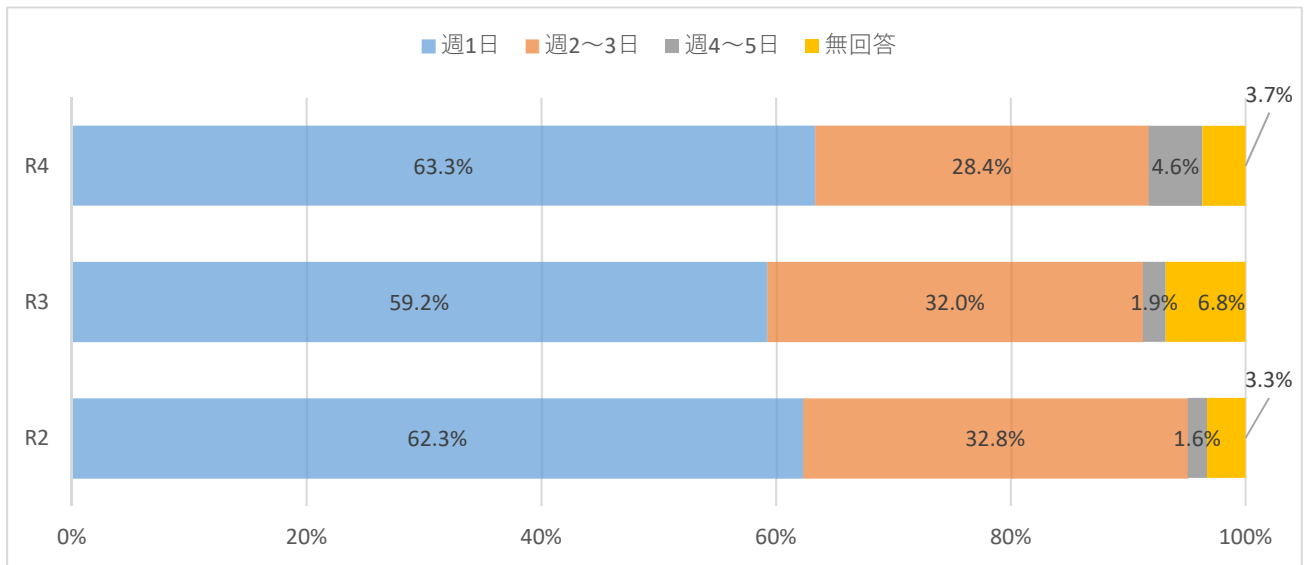
- ・令和5年7月、大学と連携した子育て支援事業を実施している施設（8大学10か所）の利用者を対象に実施
- ・施設を通じて二次元コードを記載したアンケート依頼文を配布し、WEBサイトから回答を収集
- ・回収数109/配布数195（回収率55.9%）

### 2 回答者の基本情報

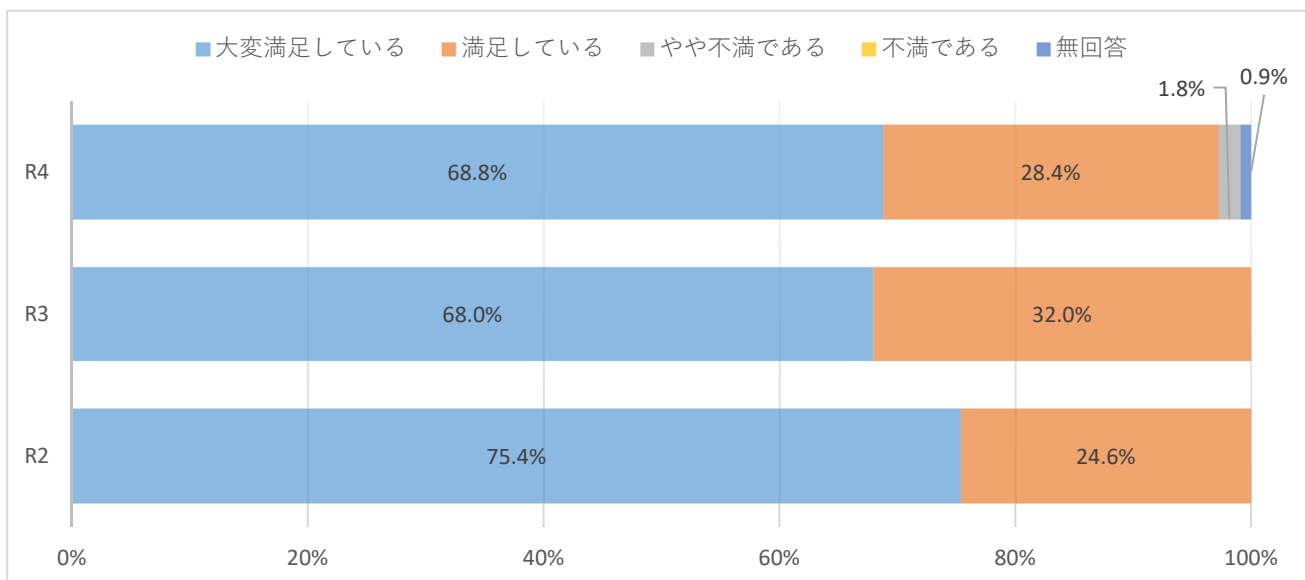
- ・就労状況について、父親は「フルタイム」が大半を占め、母親は「働いていない」が7割弱、「フルタイム」が2割強となっている。

### 3 調査結果

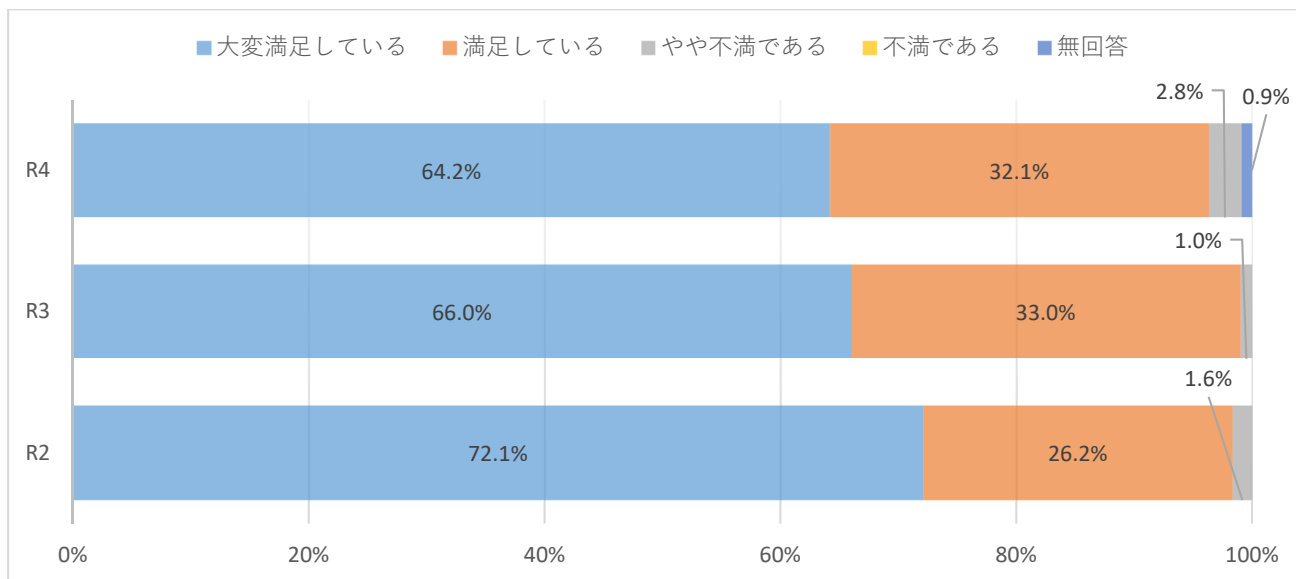
#### （1）利用の頻度



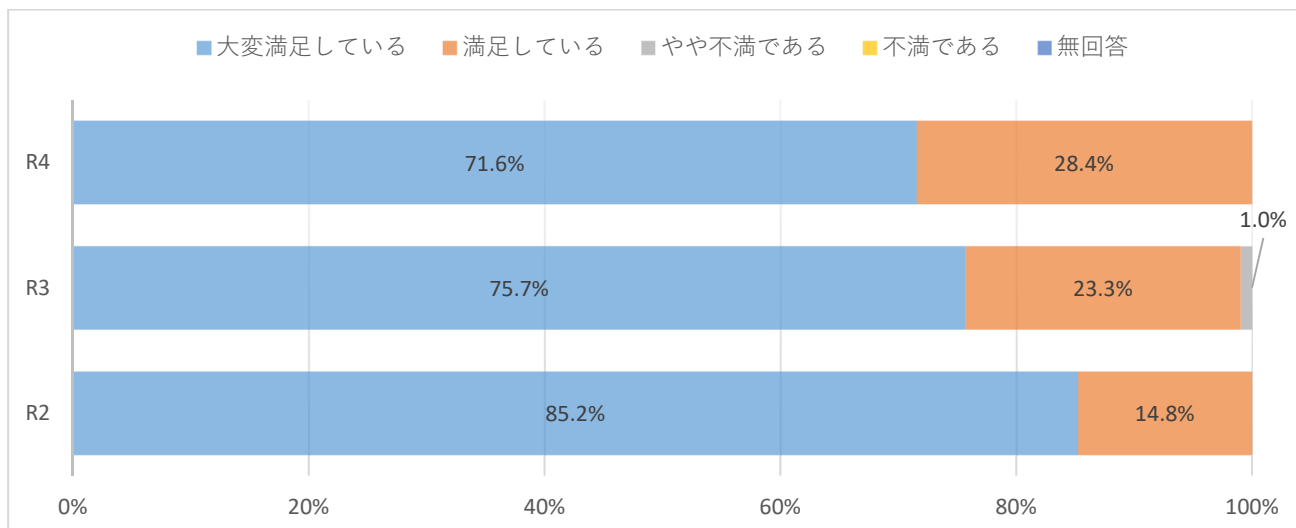
#### （2）サービス内容



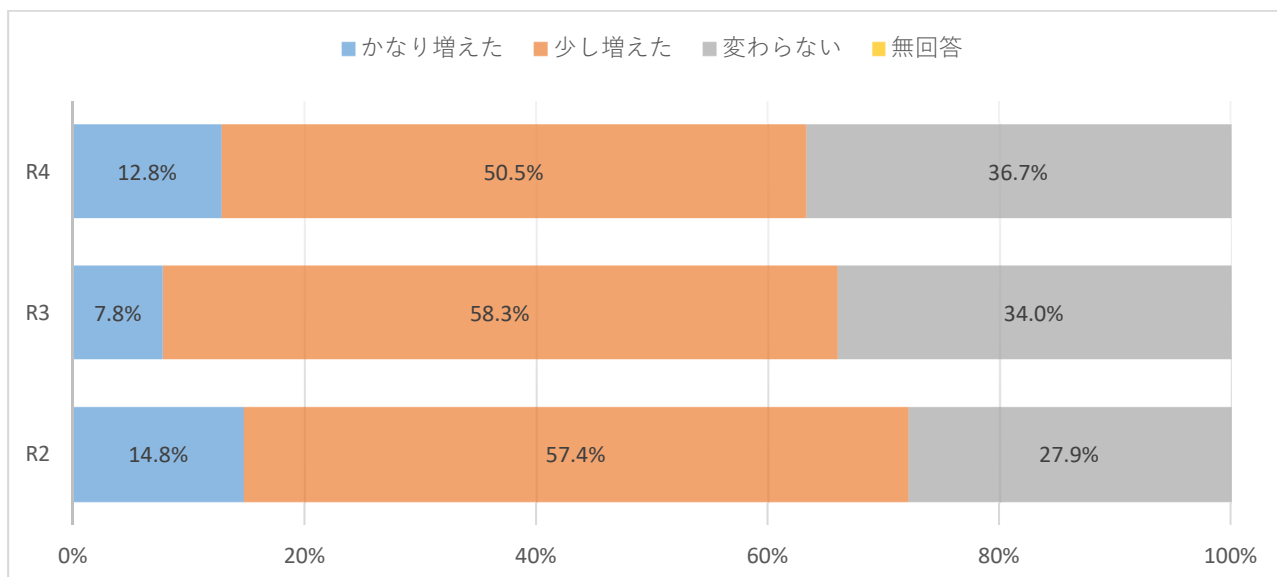
### (3) 施設



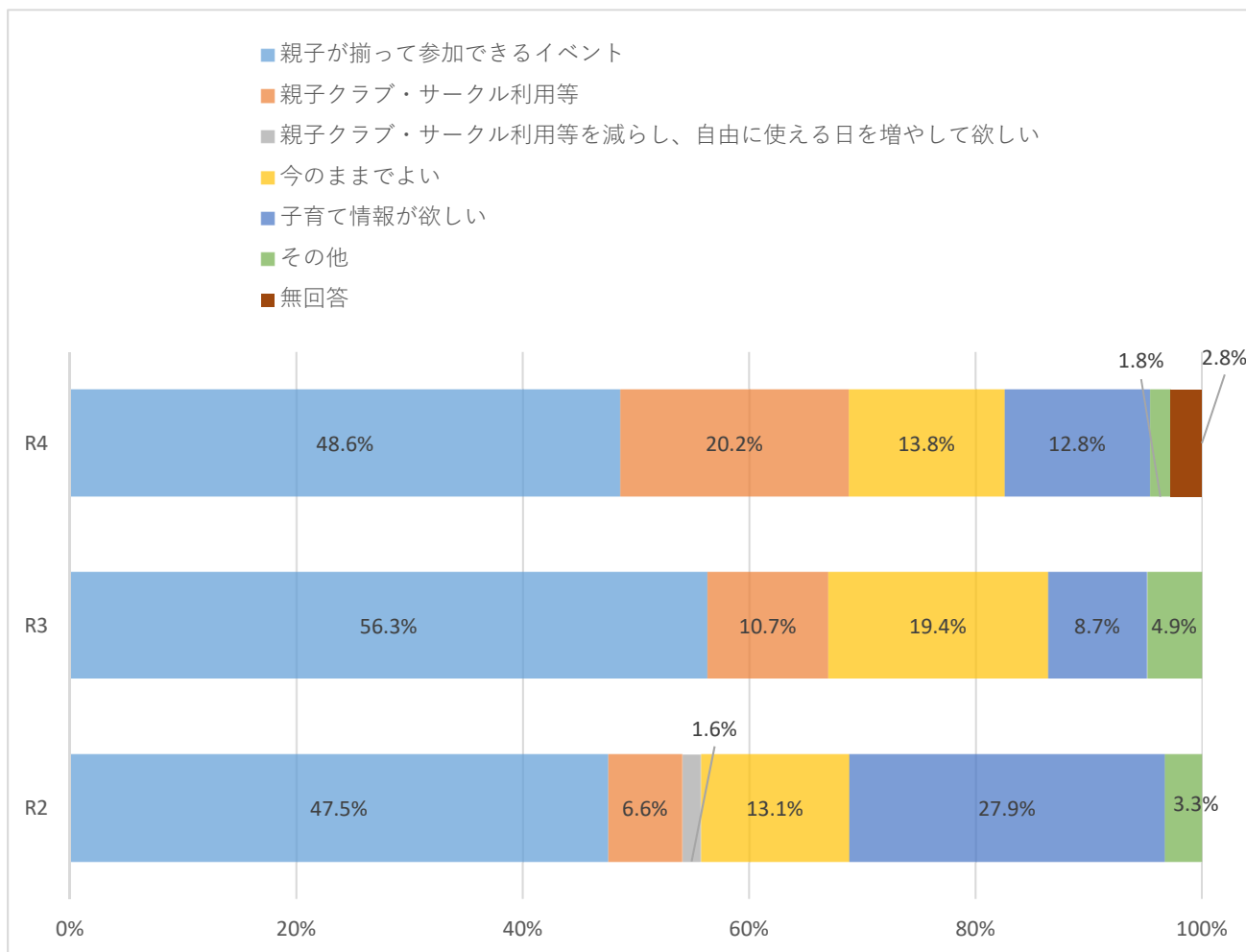
### (4) 支援員の対応



### (5) 利用により新しい知人が増えたか



(6) 増やしてほしいサービス



※「親子クラブ・サークル利用等を減らし、自由に使える日を増やして欲しい」の選択肢は、令和3年度より削除。

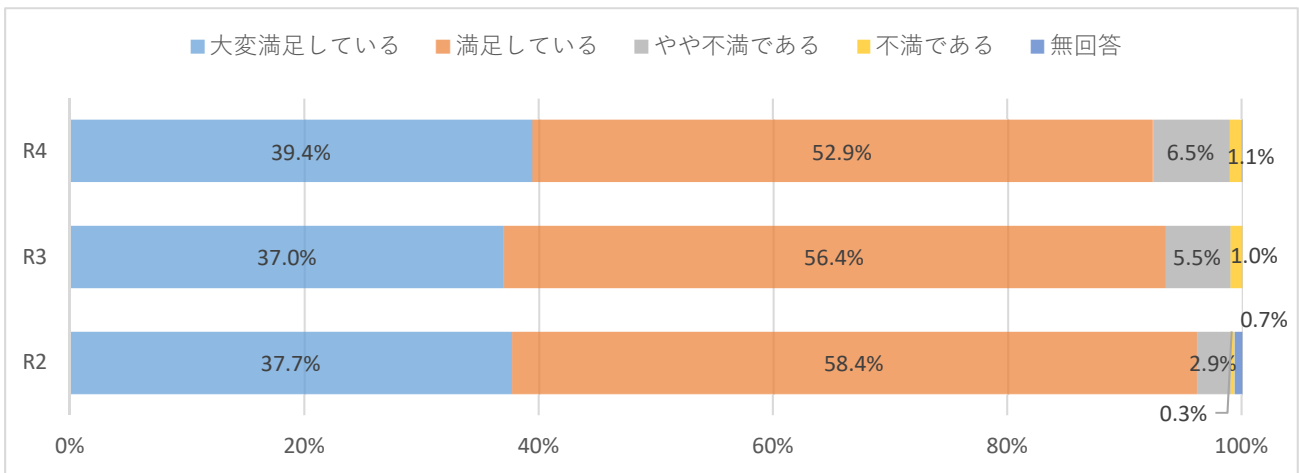
## ⑥学童保育

	【公設学童保育所 206 箇所】	【民設学童保育所 38 箇所】
<b>1 調査方法</b>	学童保育所を通じて、二次元コードを記載した子ども用と保護者用の調査票を配布、もしくは利用者の保護者にメール等でWEBサイトを案内し、WEBサイトから回答を収集	学童保育所を通じて、期間中に利用のあった5組の親子を対象に二次元コードを記載したアンケート依頼文を配布し、WEBサイトから回答を収集。
<b>2 調査期間</b>	令和5年3月	令和5年7月
<b>3 回収率</b>	(1) 保護者 回収数 2,474 / 配布数— (回収率—)  (2) こども 回収数 2,474 / 配布数— (回収率—)	(1) 保護者 回収数 97 / 配布数 163 (回収率 59.5%)  (2) こども 回収数 59 / 配布数 163 (回収率 36.2%)

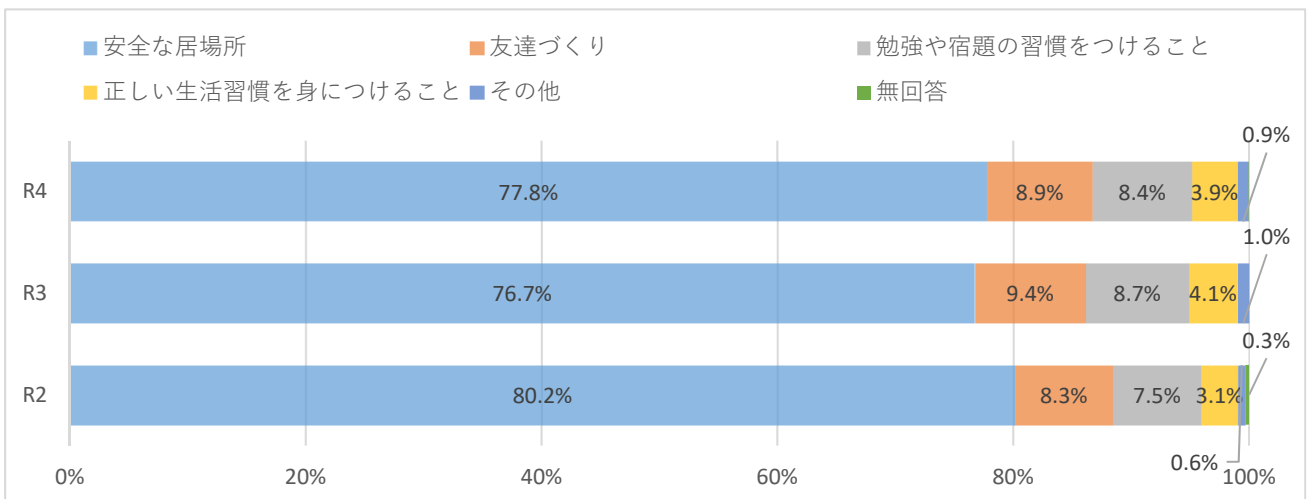
※公設学童保育所については「児童館の指定管理者による管理運営状況の評価に関するアンケート」を活用

### 4 調査結果（保護者用）

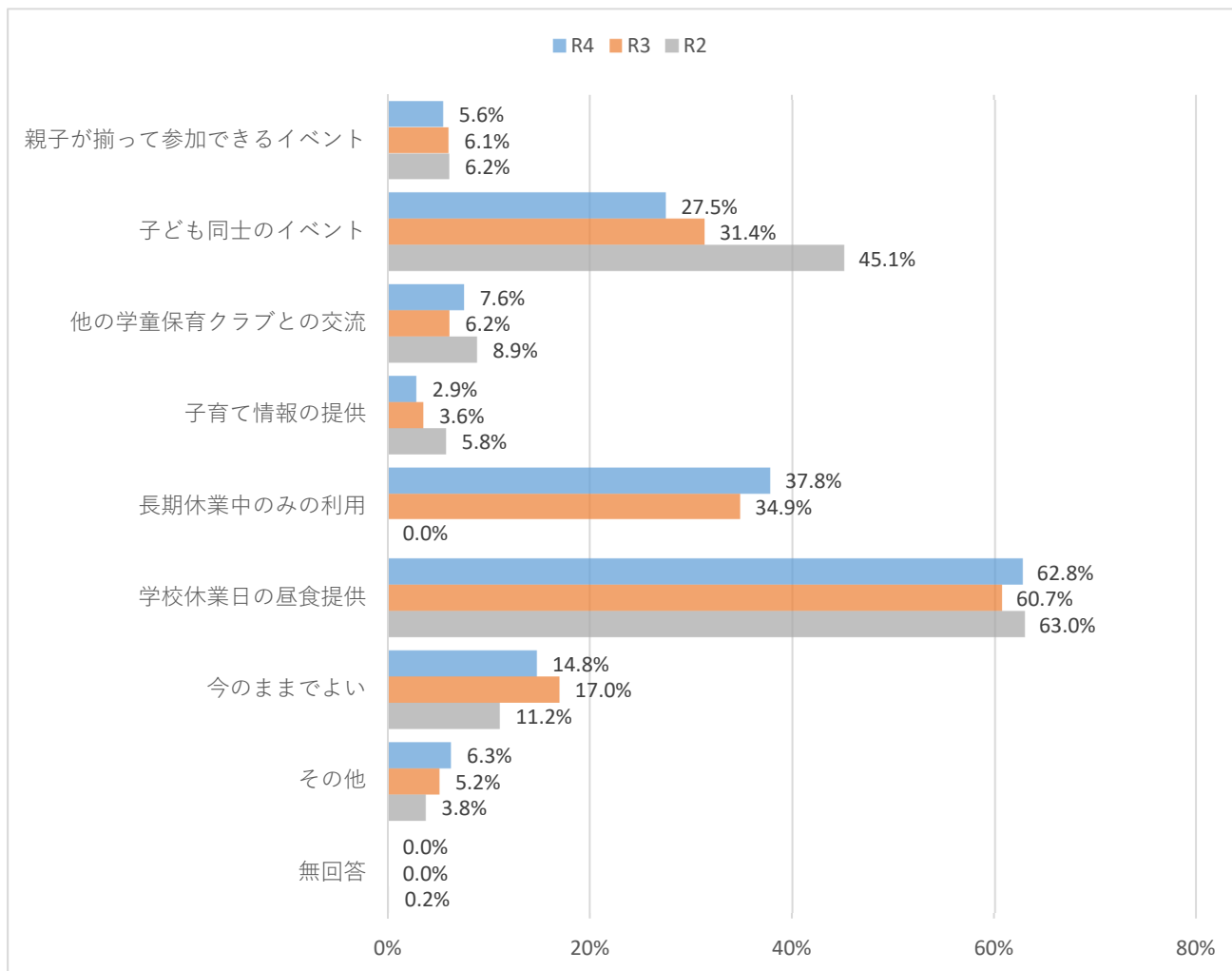
#### (1) サービス内容



#### (2) 学童保育に期待していること

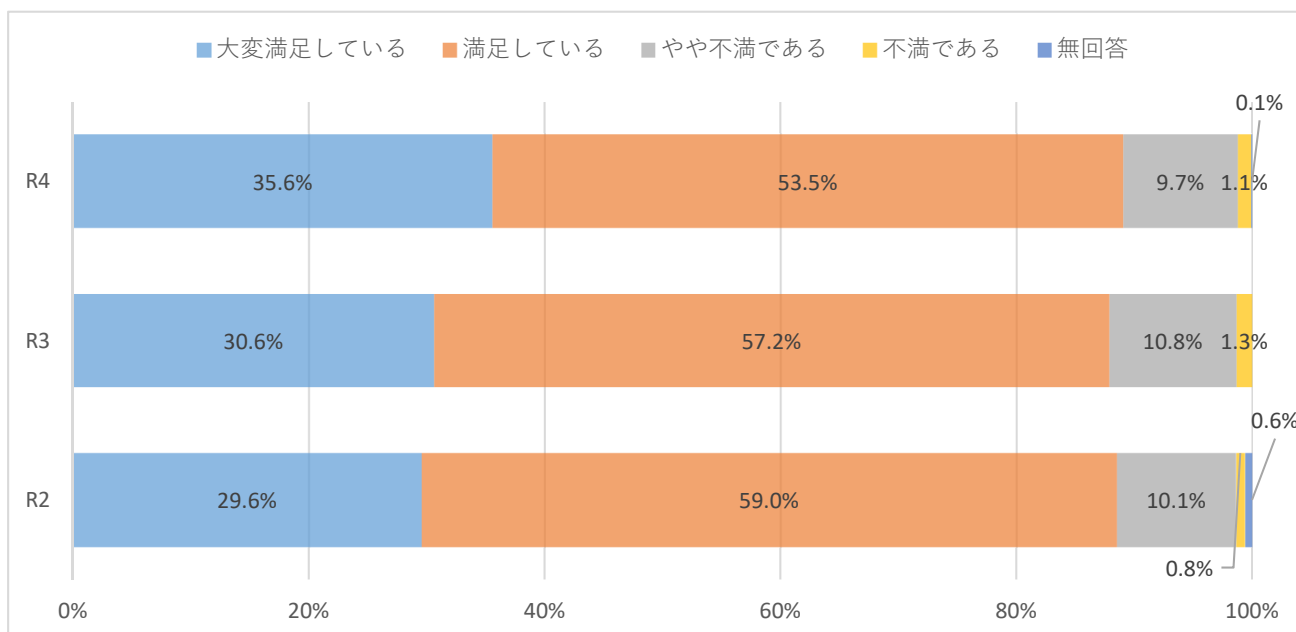


### (3) 増やしてほしいサービス

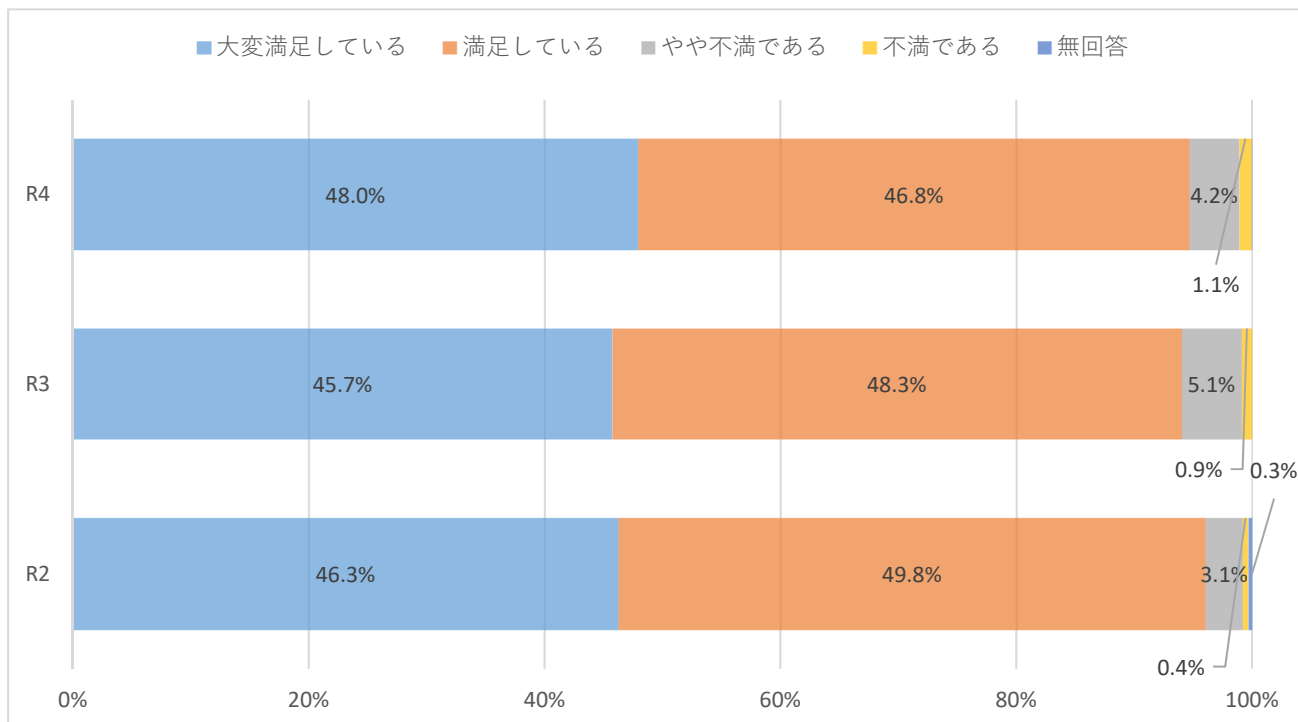


※「長期休業中のみの利用」の項目は、令和3年度より追加。

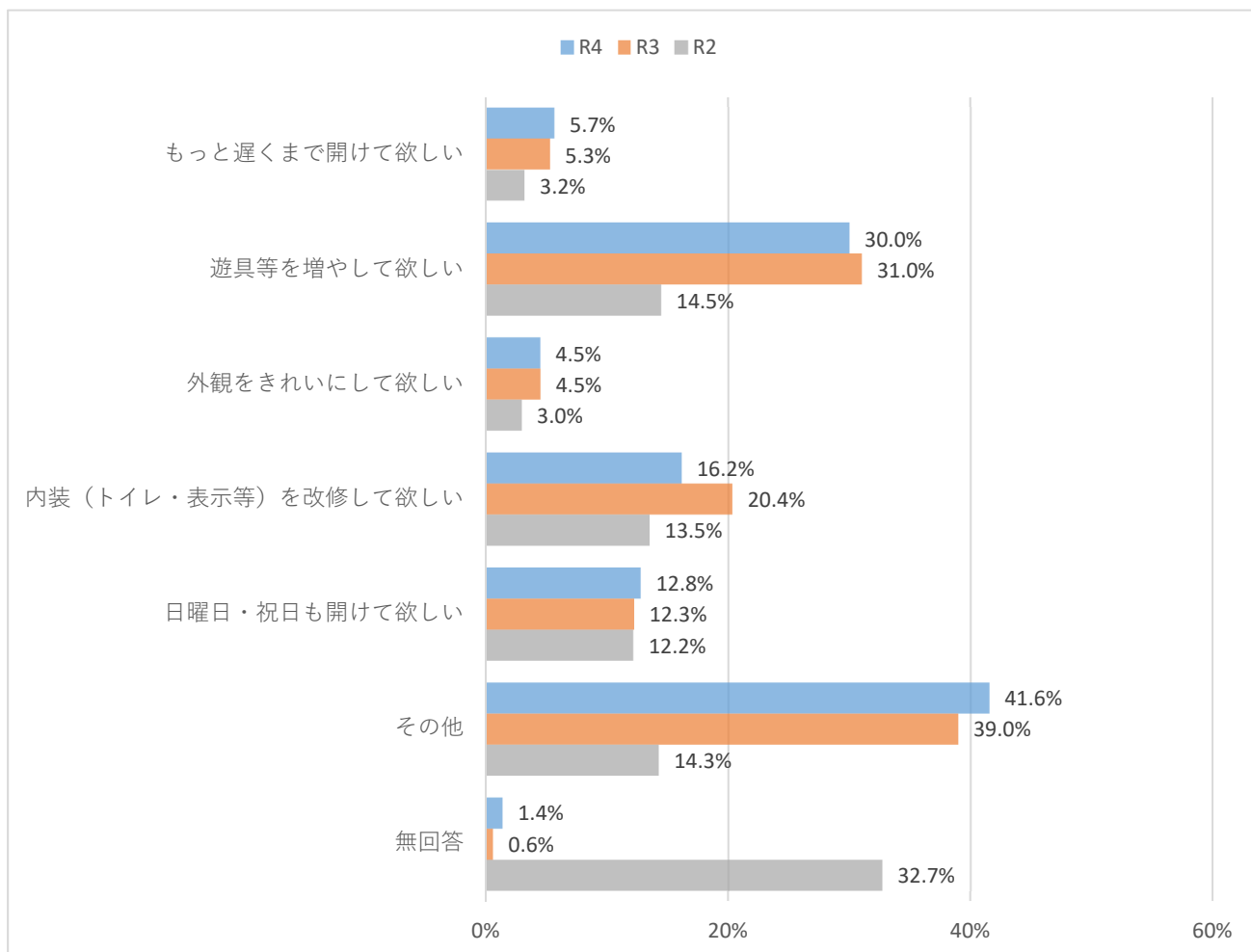
### (4) 施設



### (5) 職員の対応

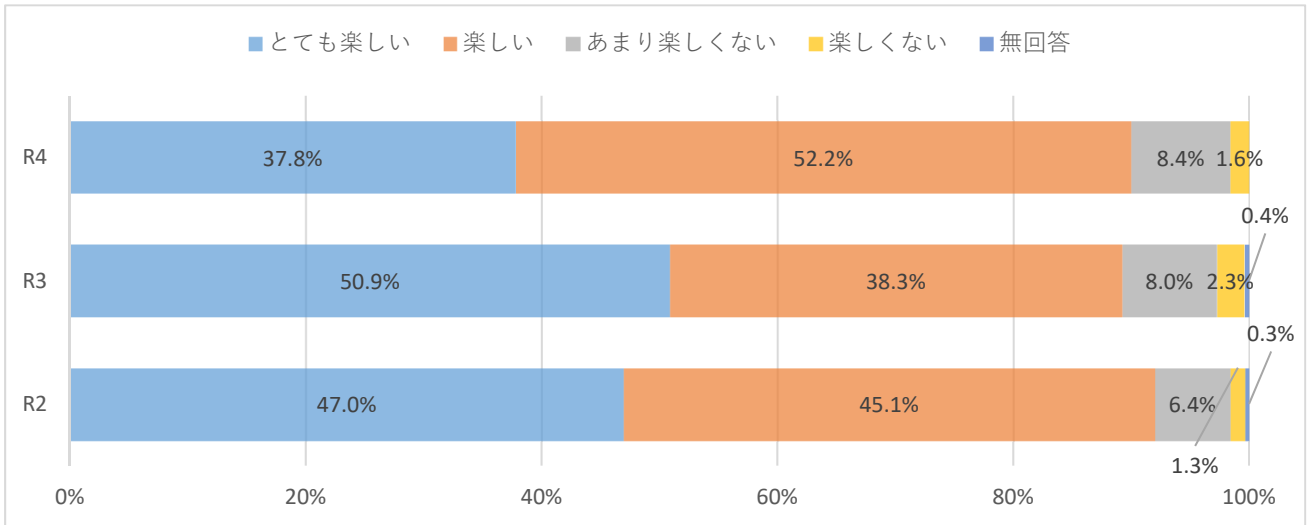


### (6) 利用に関する要望 (複数回答)

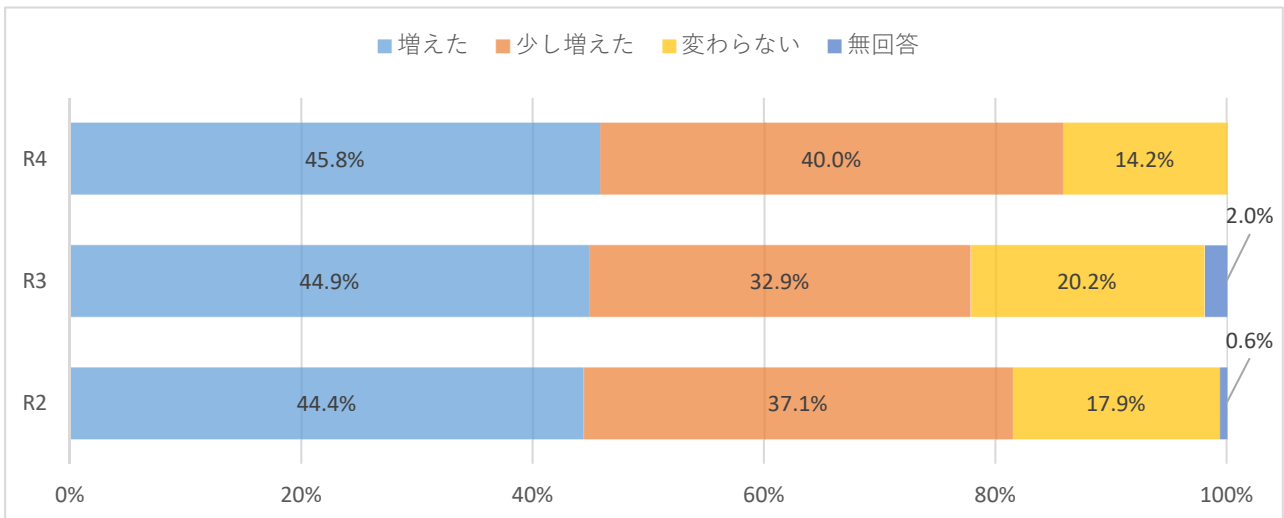


## 5 調査結果（こども用）

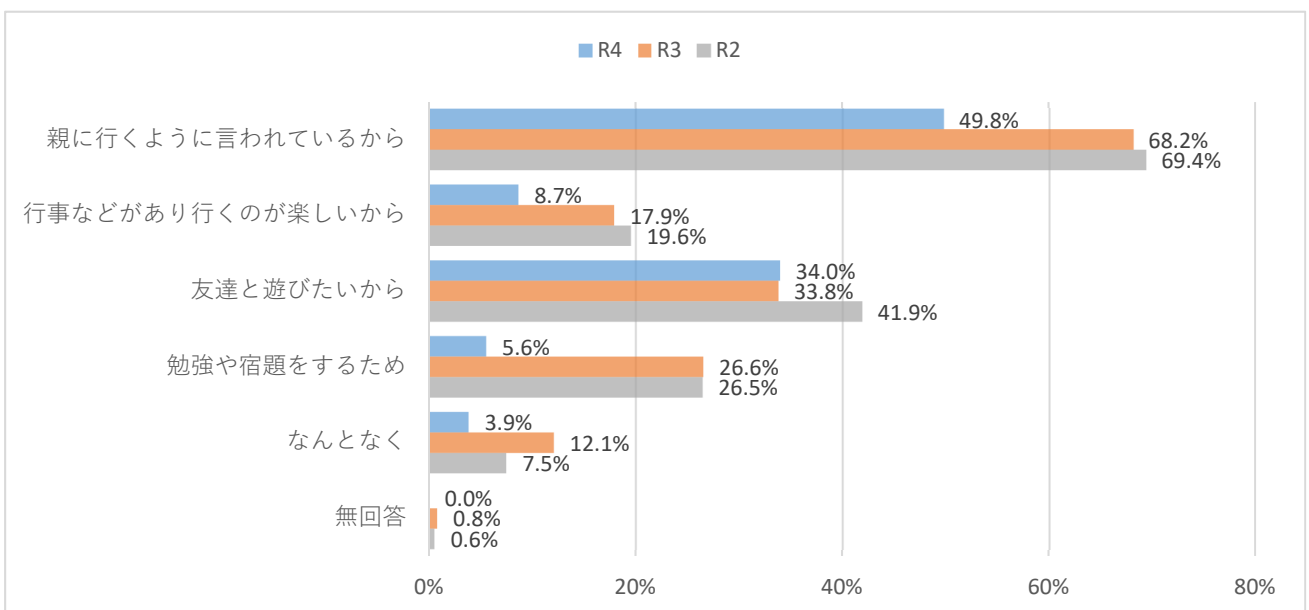
### （1）学童に来るのは楽しいか



### （2）学童で新しい友達は増えたか

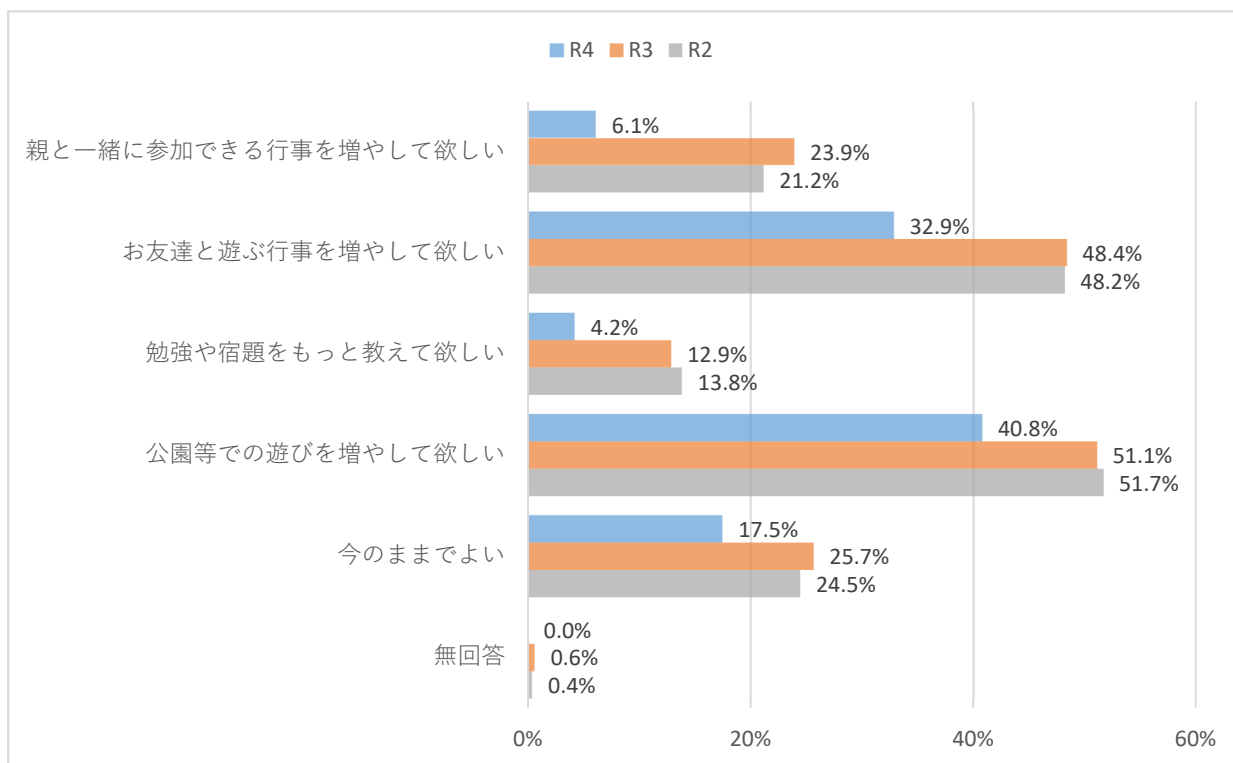


### （3）学童に来る理由

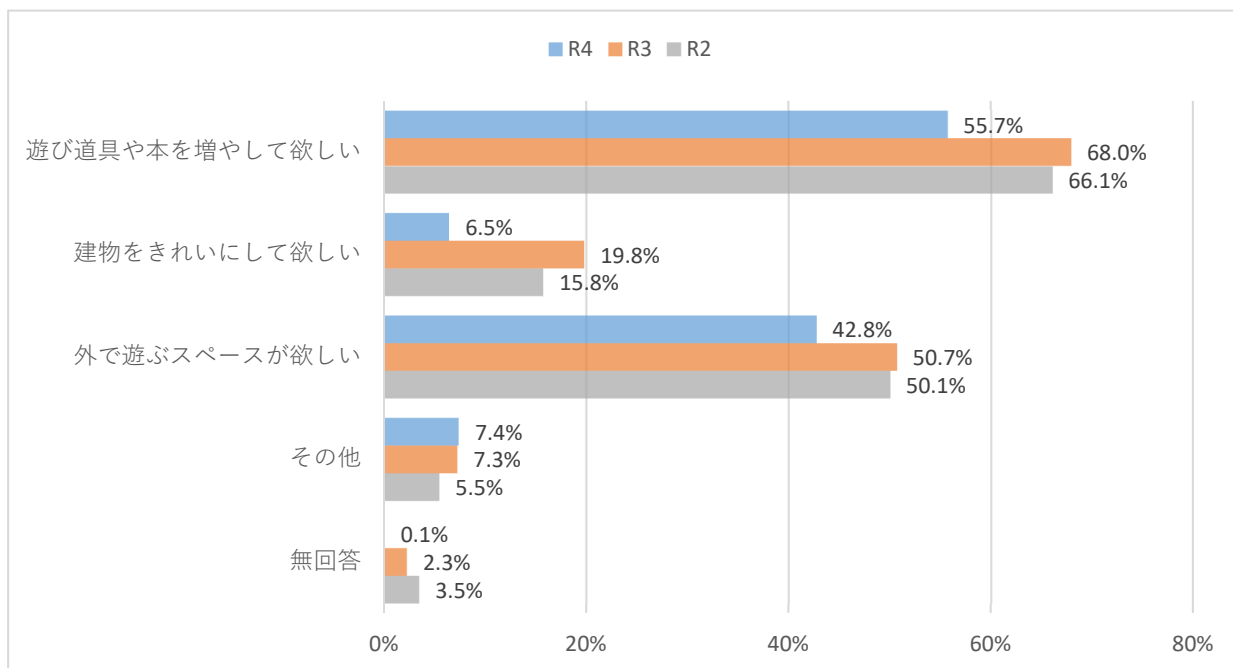




#### (4) 学童にどんなことがあれば楽しいか



#### (5) 何をしてほしいか



#### ※補足

- ・(3) (4) について

令和2年度～3年度は複数回答にて調査。

令和4年度は、民設学童保育利用者に対しては複数回答、公設学童保育所利用者に対しては単数回答で調査。

- ・(5) について

令和2年度～4年度すべての年において複数回答で調査しているが、令和4年度の公設学童保育所利用者に対する調査票上に複数回答である旨を記載していなかったため、単数のみ回答している方が9割程度を占めている。

## ⑦一時預かり（一時保育含む）

### 1 調査方法

- ・令和5年7月、一時預かり（一時保育含む）実施園（保育所（園）、認定こども園、小規模保育、事業所内保育）363園で、調査期間中の利用者を対象に実施
- ・施設を通じて二次元コードを記載したアンケート依頼文を配布し、WEBサイトから回答を収集
- ・回収数 329／配布数 443（回収率 74.3%）

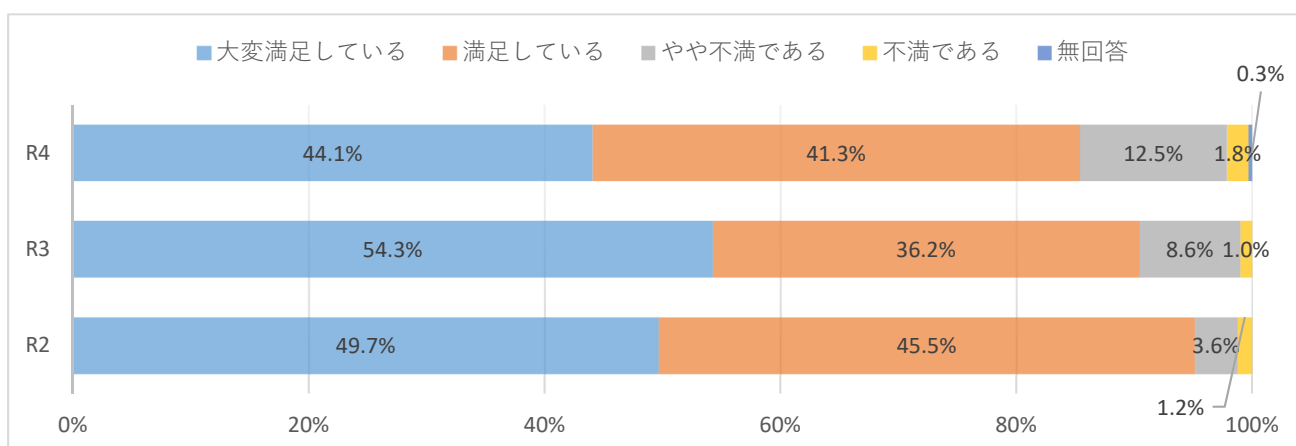
### 2 回答者の基本情報

- ・利用者の就業状況について、父親は「フルタイム」が大半を占め、母親は「パート」が約4割、「働いていない」が5割弱、「フルタイム」が2割弱となっている。

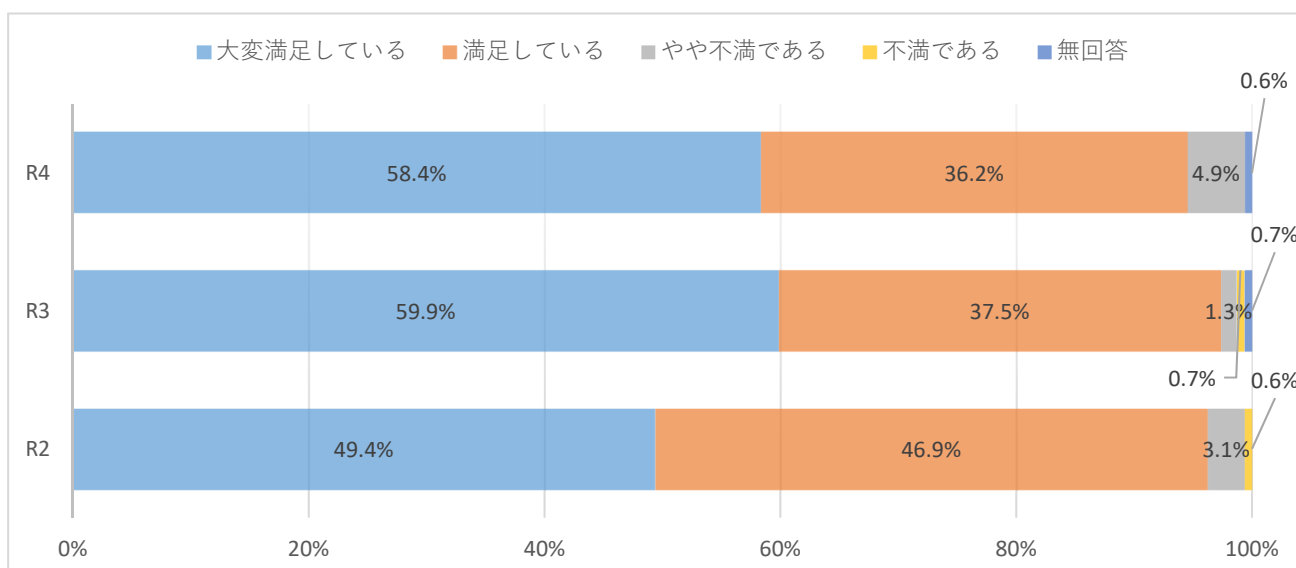
### 3 調査結果

※令和2年度は「認定こども園」の利用者に対する調査票配布の準備作業に錯誤があり、得られた回答について適切な分析ができなかったため、「認定こども園」の結果は含まれていない

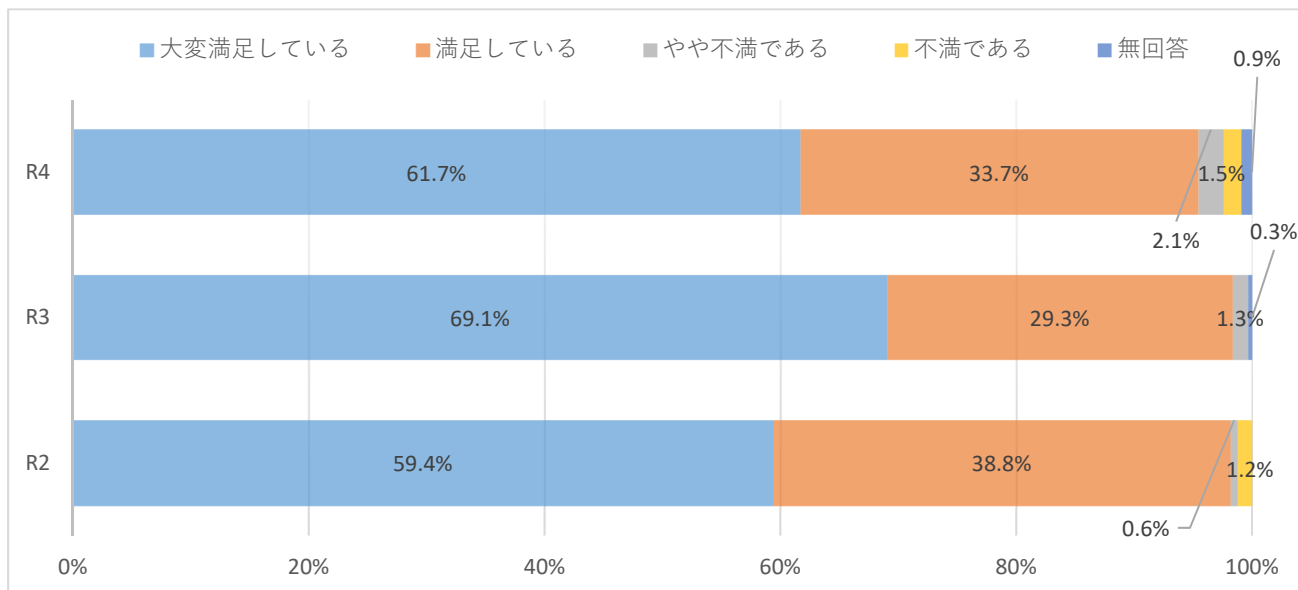
#### （1）サービス内容



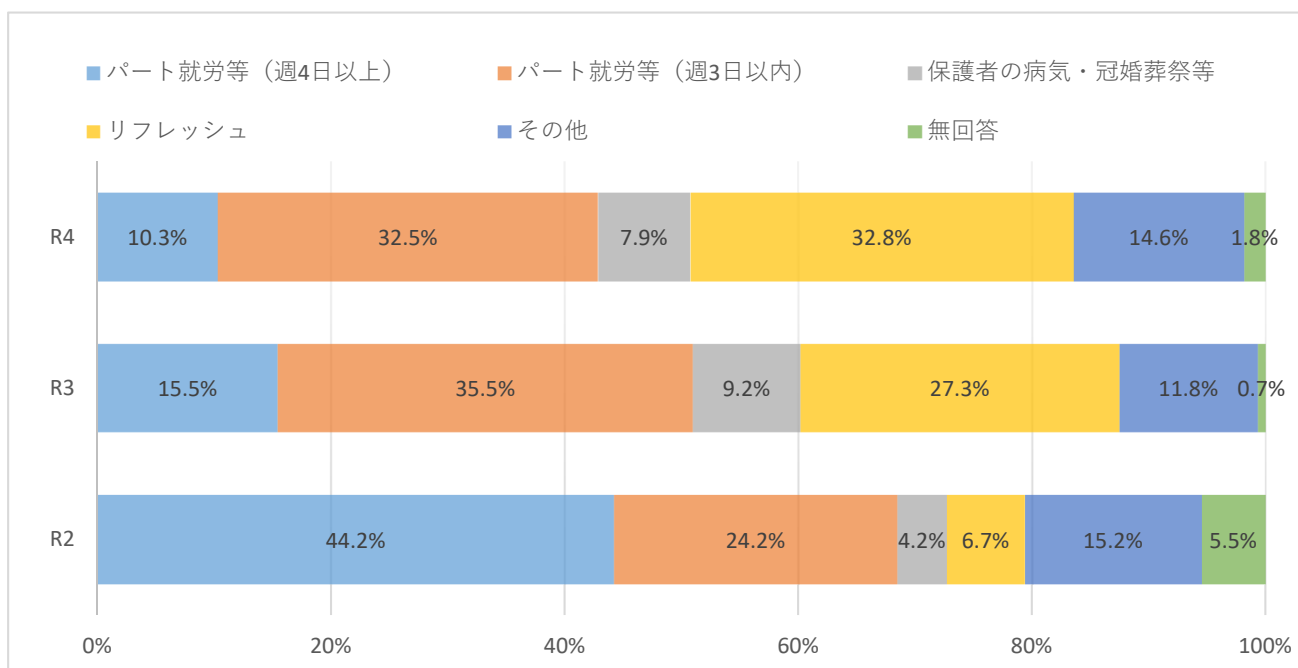
#### （2）施設



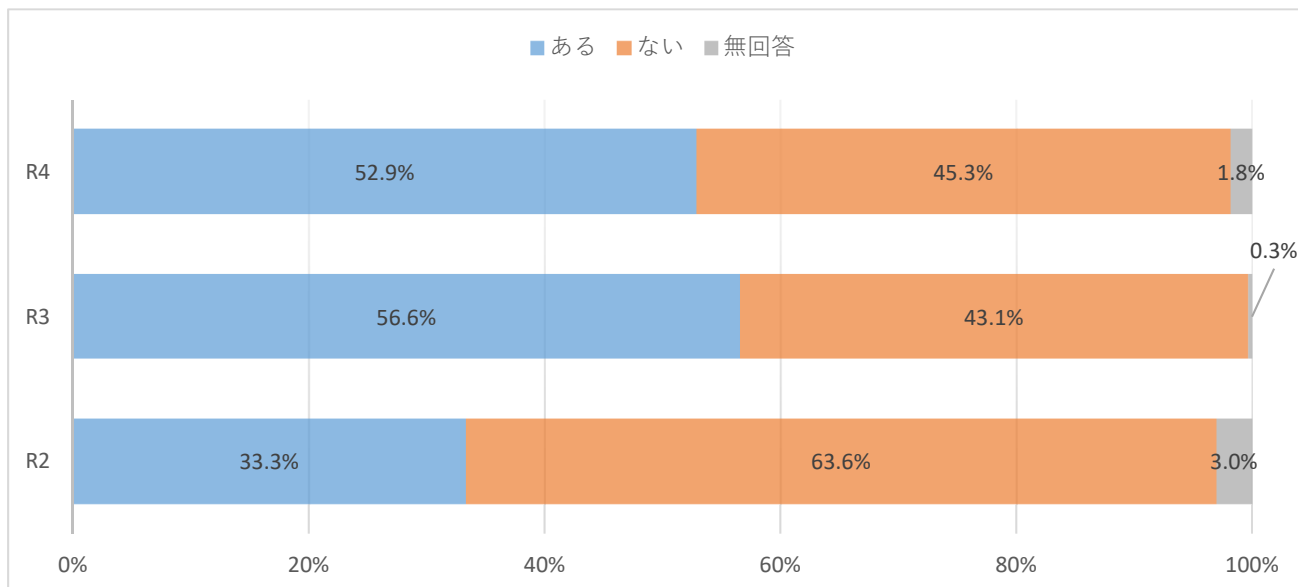
### (3) 職員の対応



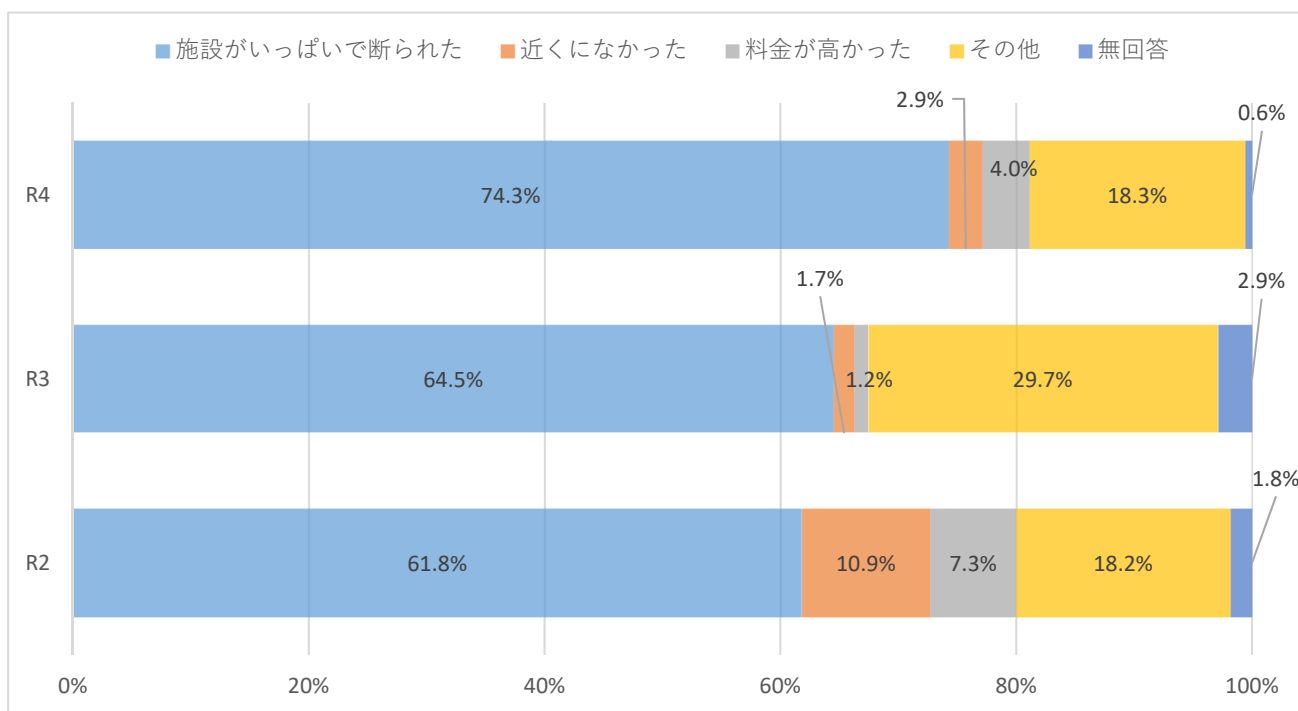
### (4) 一時保育を利用した理由



(5) 一時保育を利用できず困ったこと



(5-2) 「ある」と回答した人のうち、利用できなくて困った理由



## ⑧子育てリフレッシュステイ

### 1 調査方法

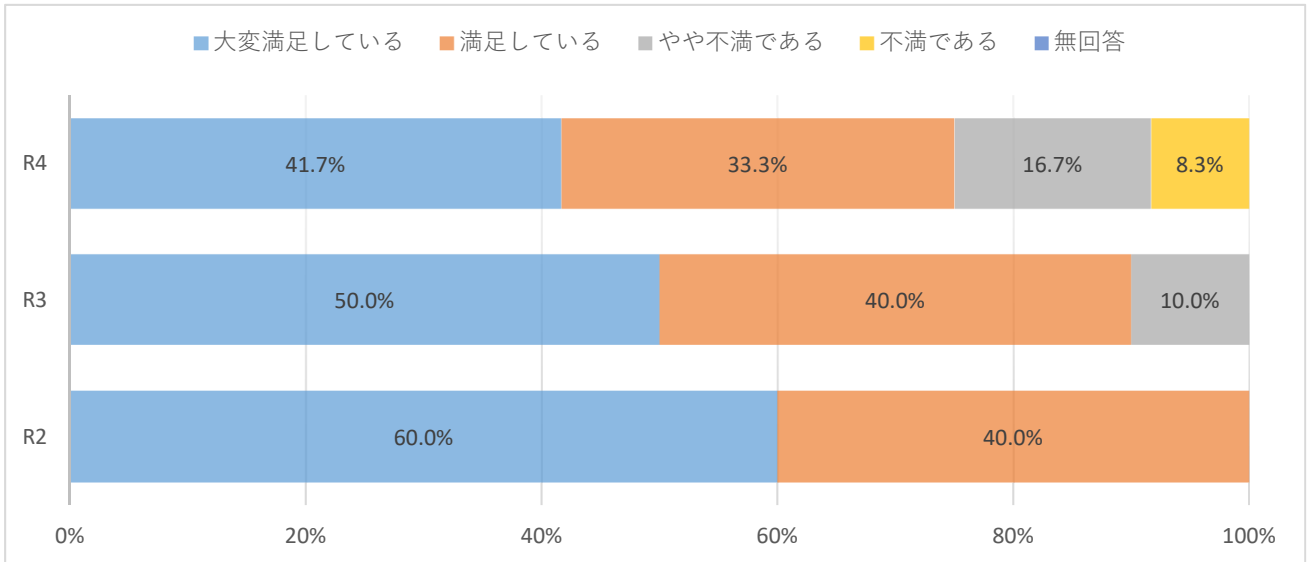
- ・令和5年7月、子育てリフレッシュステイを実施している施設（児童養護施設、乳児院、母子生活支援施設）23箇所、調査期間中の利用者を対象に実施
- ・施設を通じて二次元コードを記載したアンケート依頼文を配布し、WEBサイトから回答を収集
- ・回収数12／配布数27（回収率44.4%）

### 2 回答者の基本情報

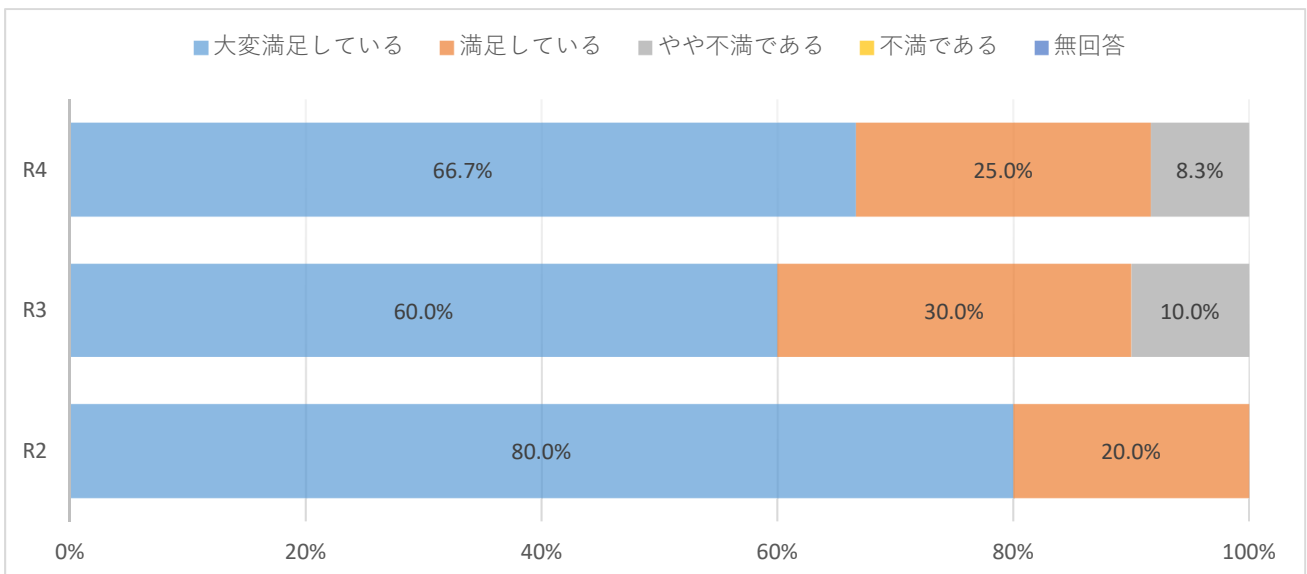
- ・利用者の就業状況について、父親は「フルタイム」が6割弱、「いない」が4割強であり、母親は「フルタイム」が3割弱、「働いていない」が4割強、「パート」が3割強となっている。

### 3 調査結果

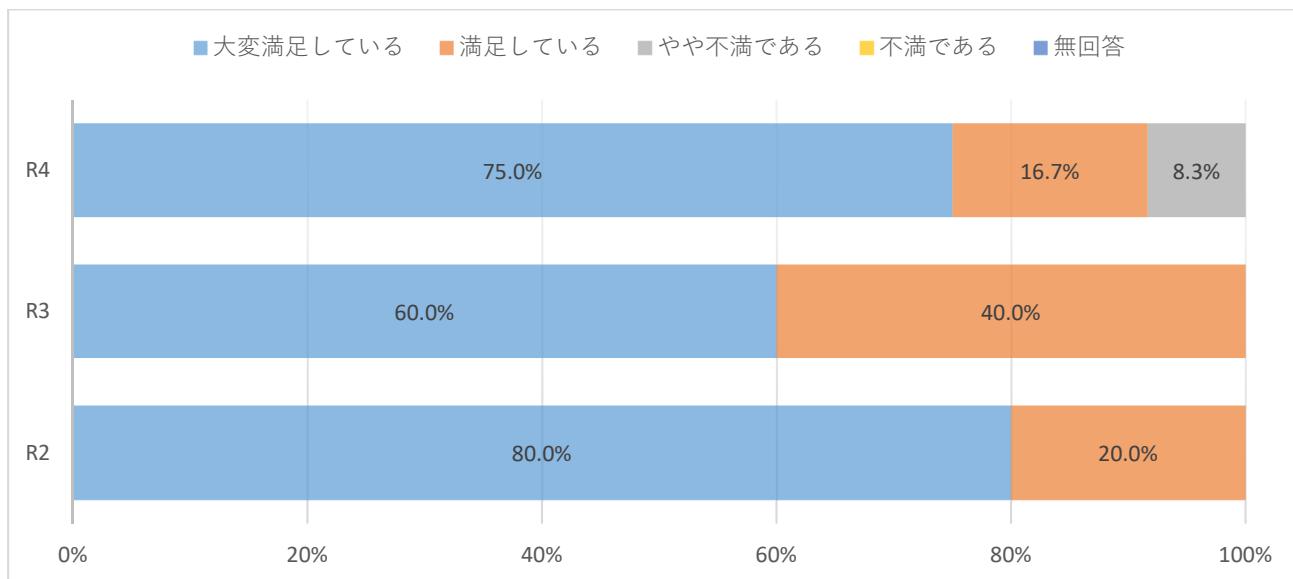
#### （1）サービス内容



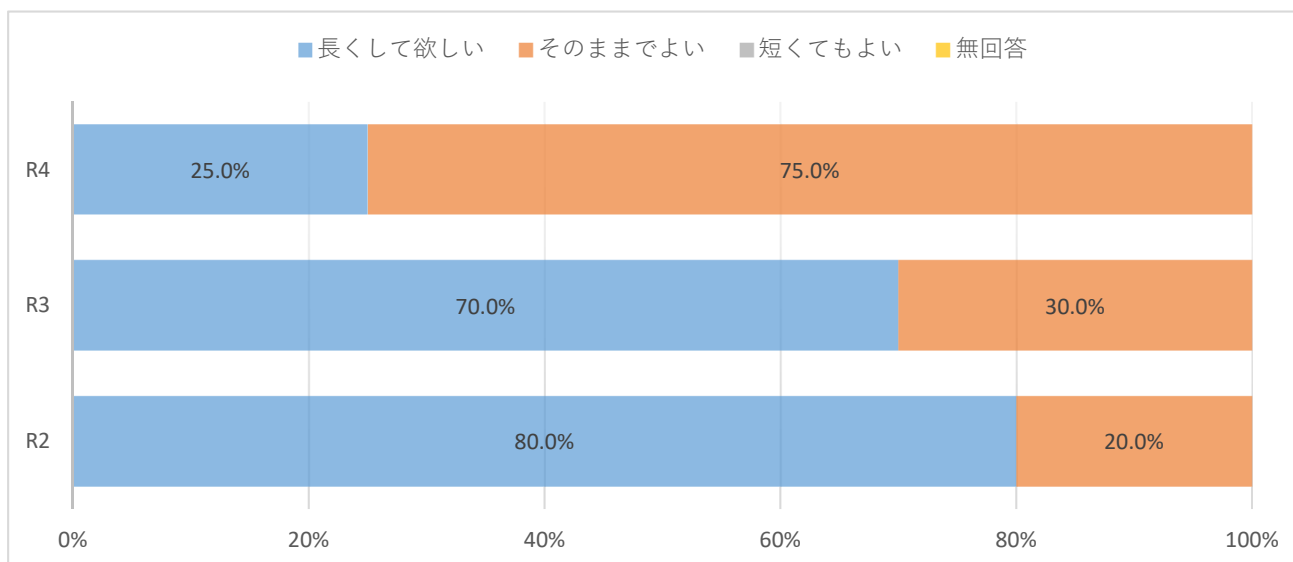
#### （2）施設



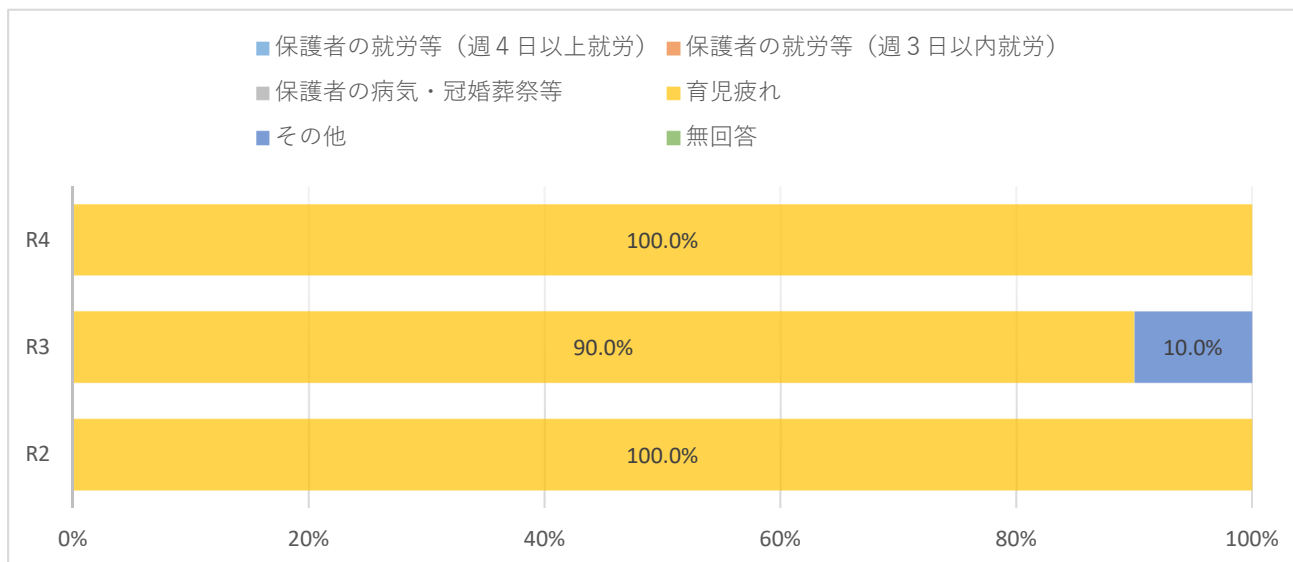
### (3) 職員の対応



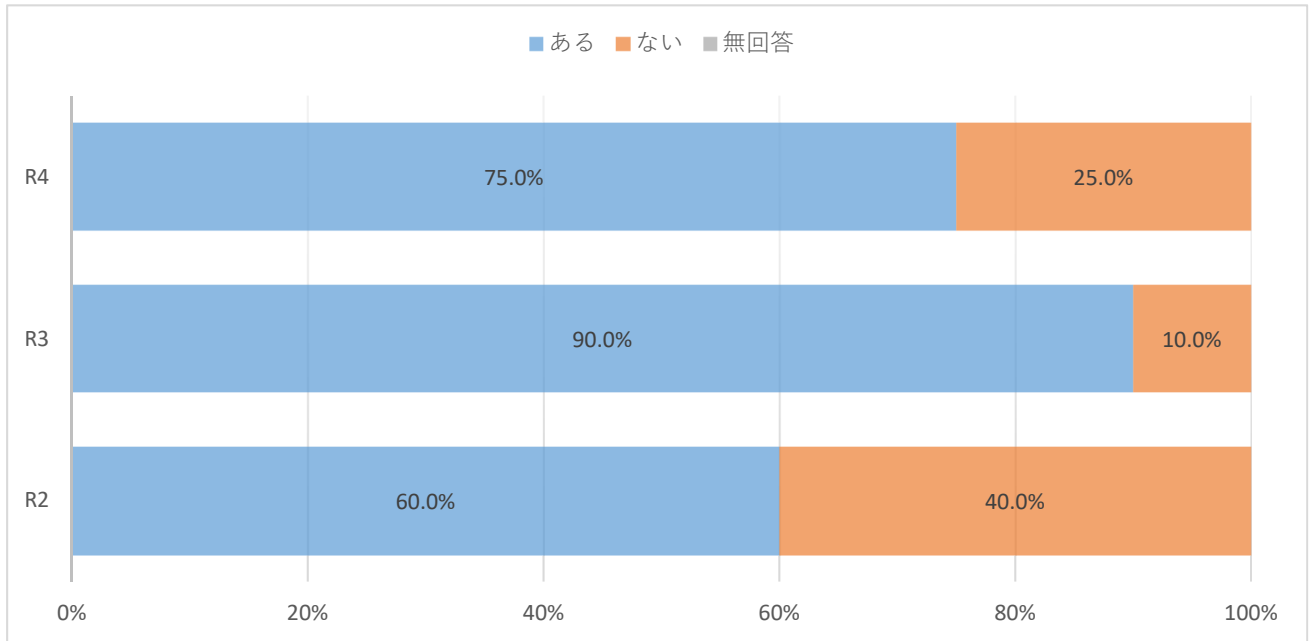
### (4) 月10日間の利用上限



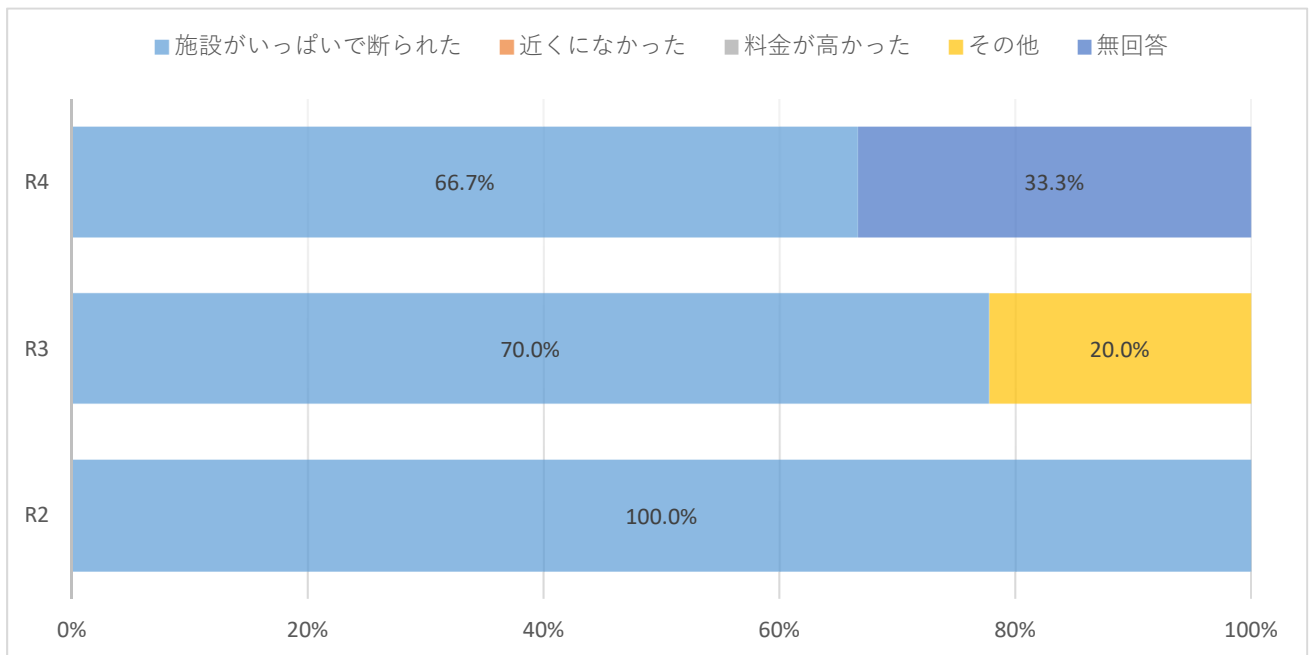
### (5) 子育てリフレッシュステイを利用した理由



### (6) 利用できなくて困ったこと



### (6-2) 「ある」と回答した人のうち、利用できなくて困った理由



## ⑨病児保育

### 1 調査方法

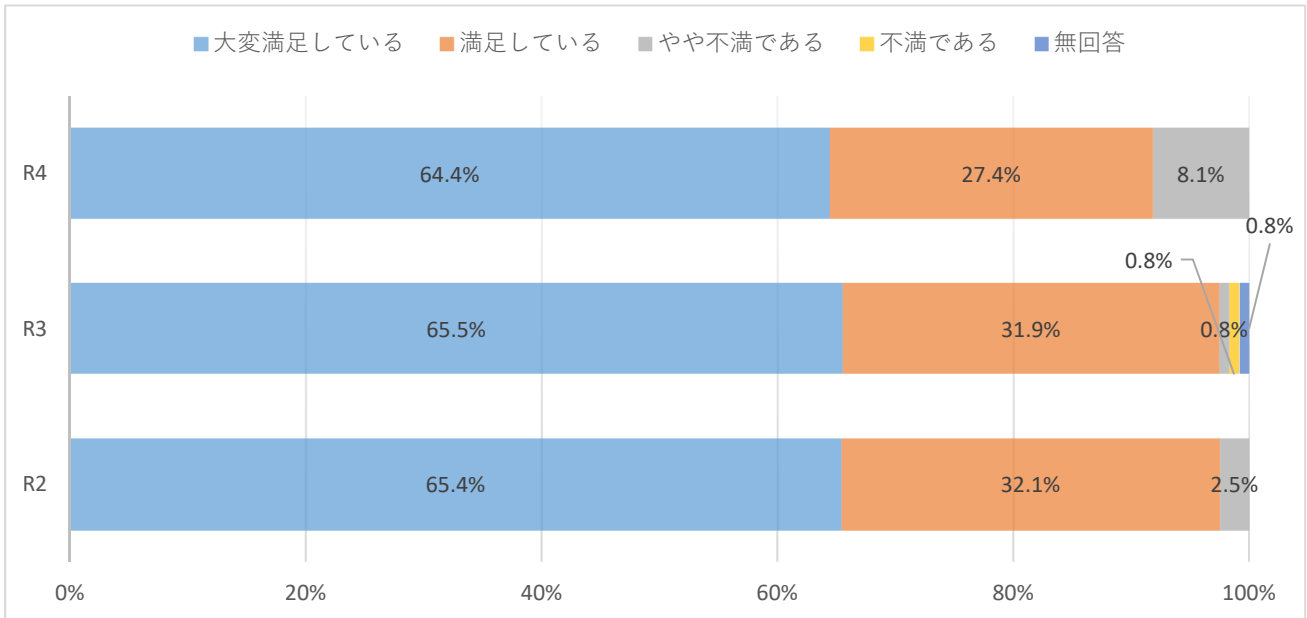
- ・令和5年7月、病児保育を実施している全施設（22箇所）で、調査期間中の利用者を対象に実施
- ・施設を通じて二次元コードを記載したアンケート依頼文を配布し、WEBサイトから回答を収集
- ・回収数 135／配布数 272（回収率 49.6％）

### 2 回答者の基本情報

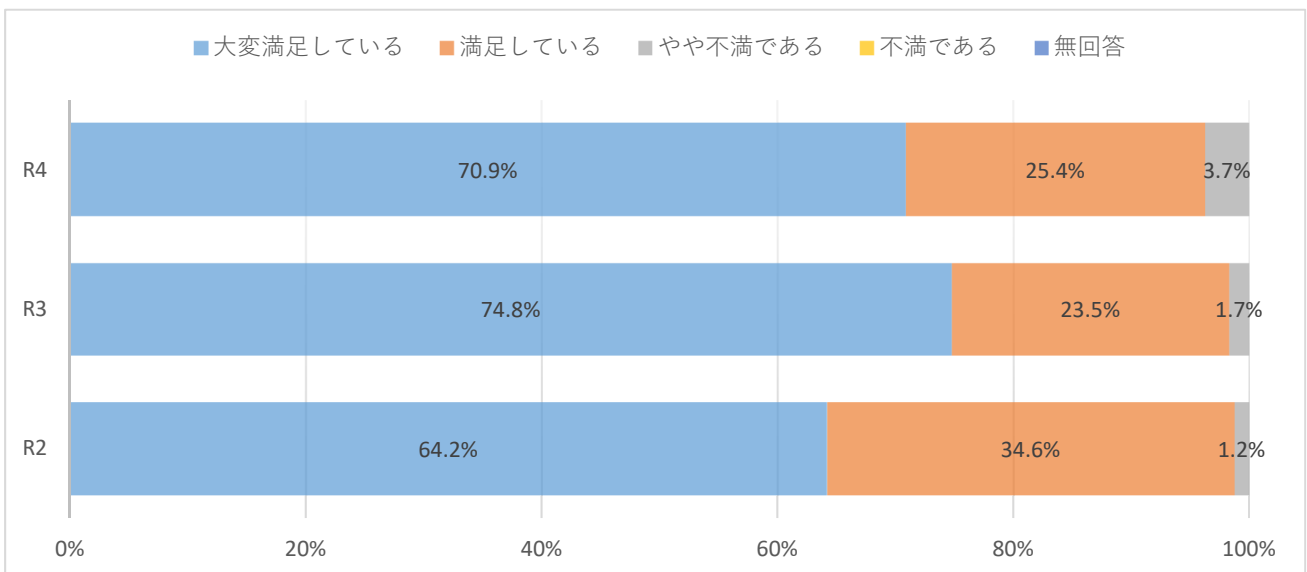
- ・利用者の就業状況は、父親は「フルタイム」が大半を占め、母親も「フルタイム」が大半であり、「パート」が2割弱となっている。

### 3 調査結果

#### （1）サービス内容

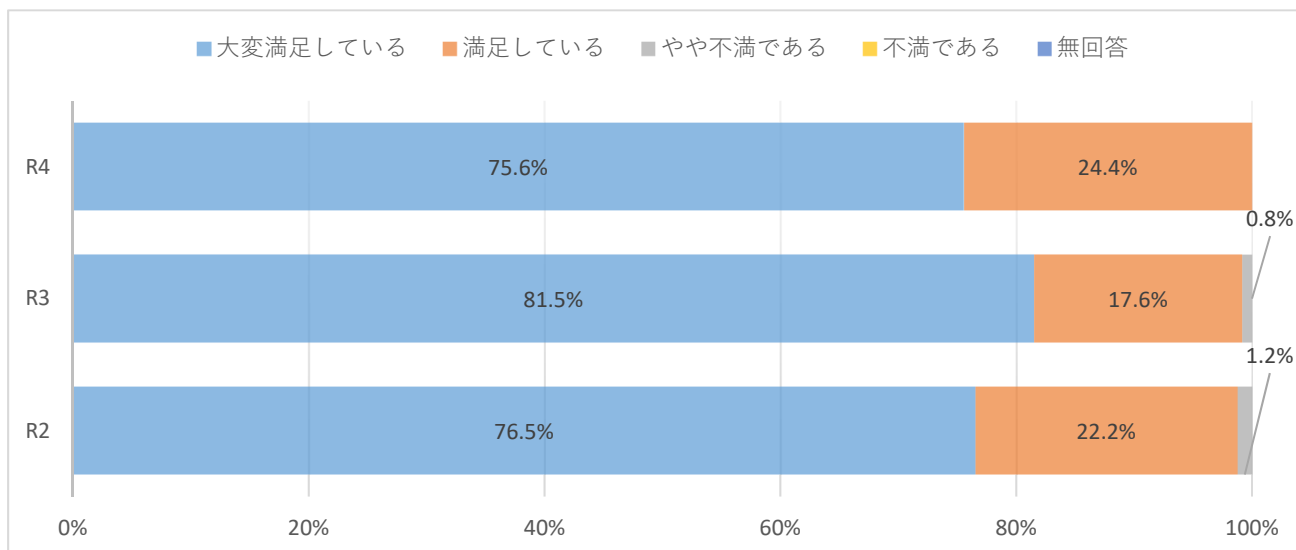


#### （2）施設

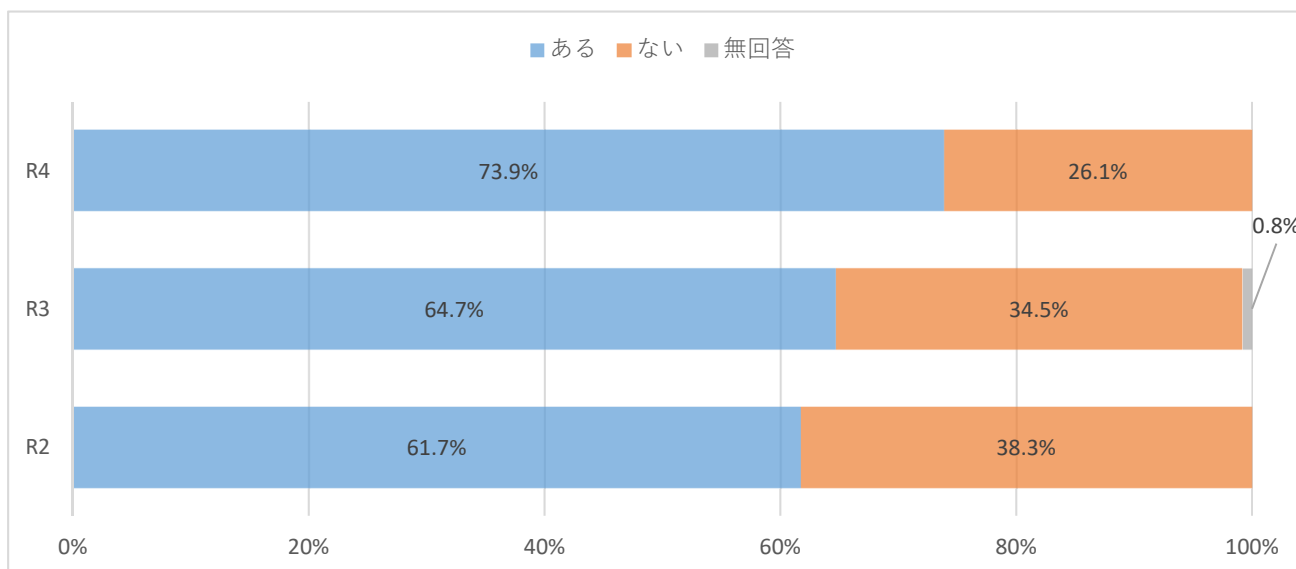




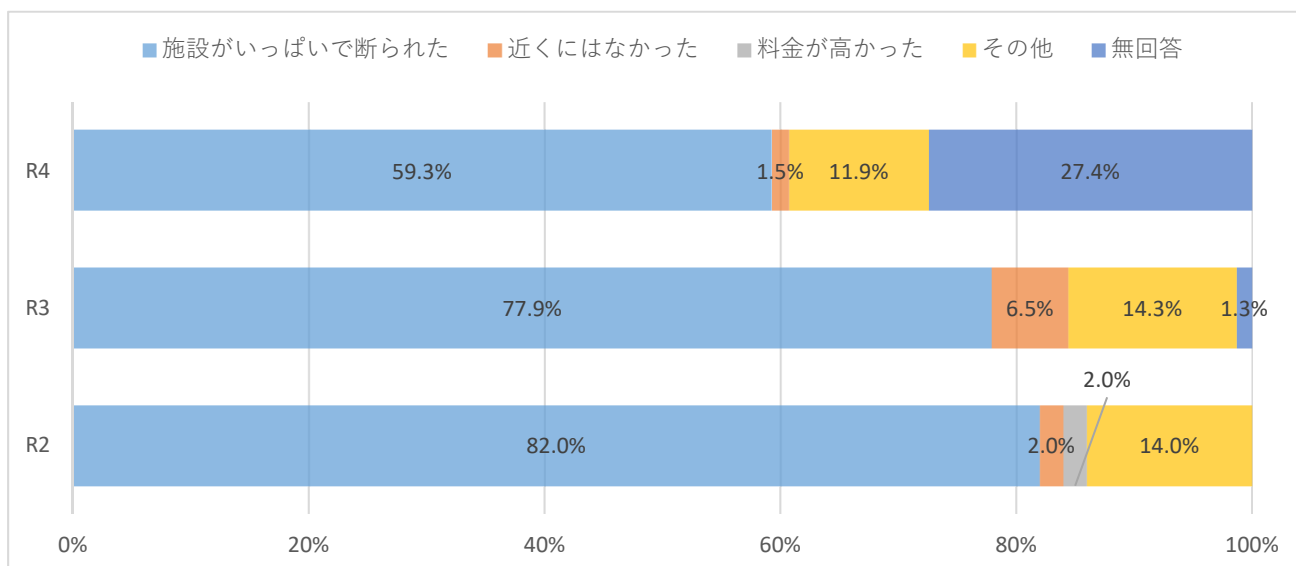
### (3) 職員の対応



### (4) 病児保育を利用できなくて困ったことはあるか



#### (4-2) 「ある」と回答した人のうち、利用できなくて困った理由



## ⑩ファミリー・サポート・センター

### 1 調査方法

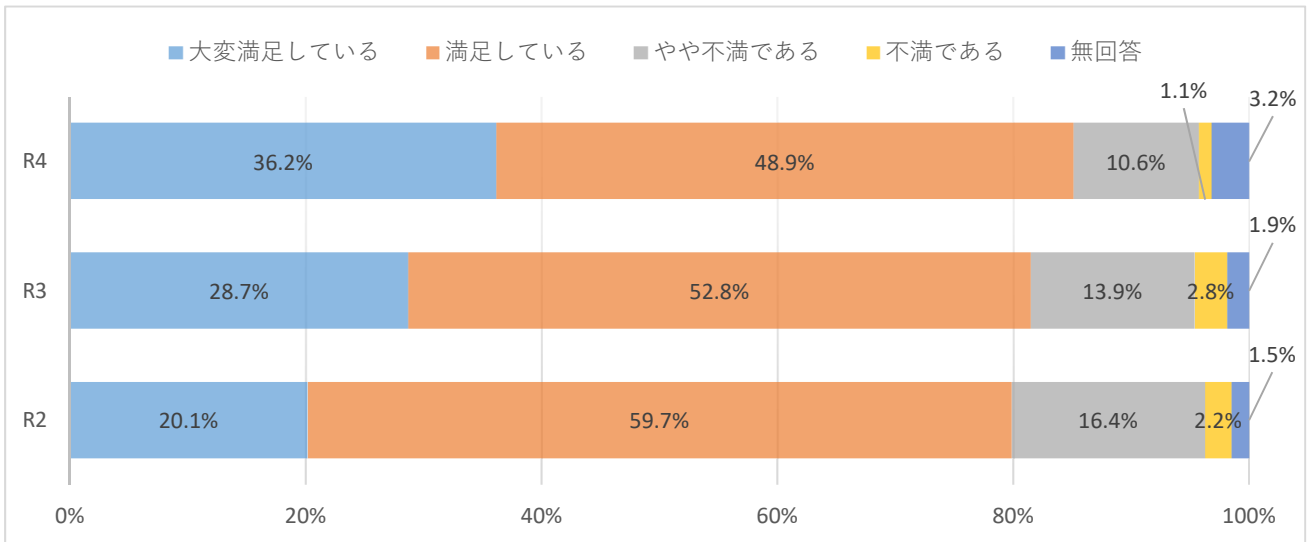
- ・令和5年7月、ファミリー・サポート・センター依頼会員(協力会員を兼ねる人を含む)から300名を無作為抽出し、施設を通じて調査期間中の利用者を対象に実施
- ・二次元コードを記載したアンケート依頼文を配布し、WEBサイトから回答を収集
- ・回収数94/配布数300(回収率31.3%)

### 2 回答者の基本情報

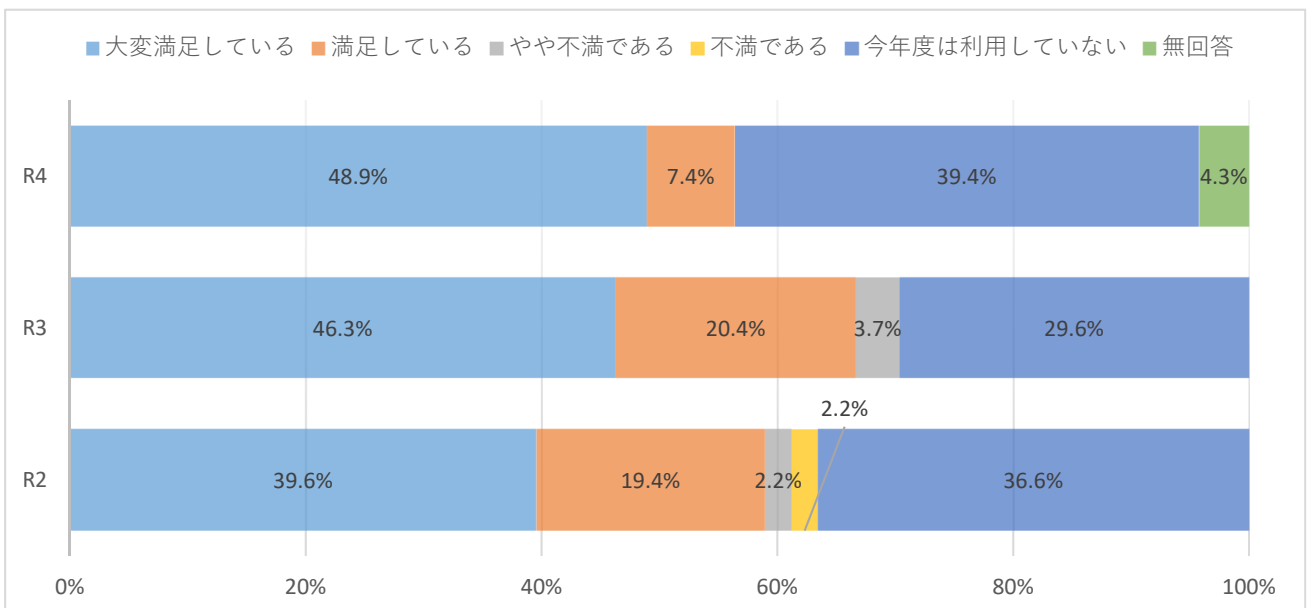
- ・就業状況は、父親は「フルタイム」が大半を占め、母親は「フルタイム」が6割強、「パート」が2割弱、「働いていない」が2割強となっている。

### 3 調査結果

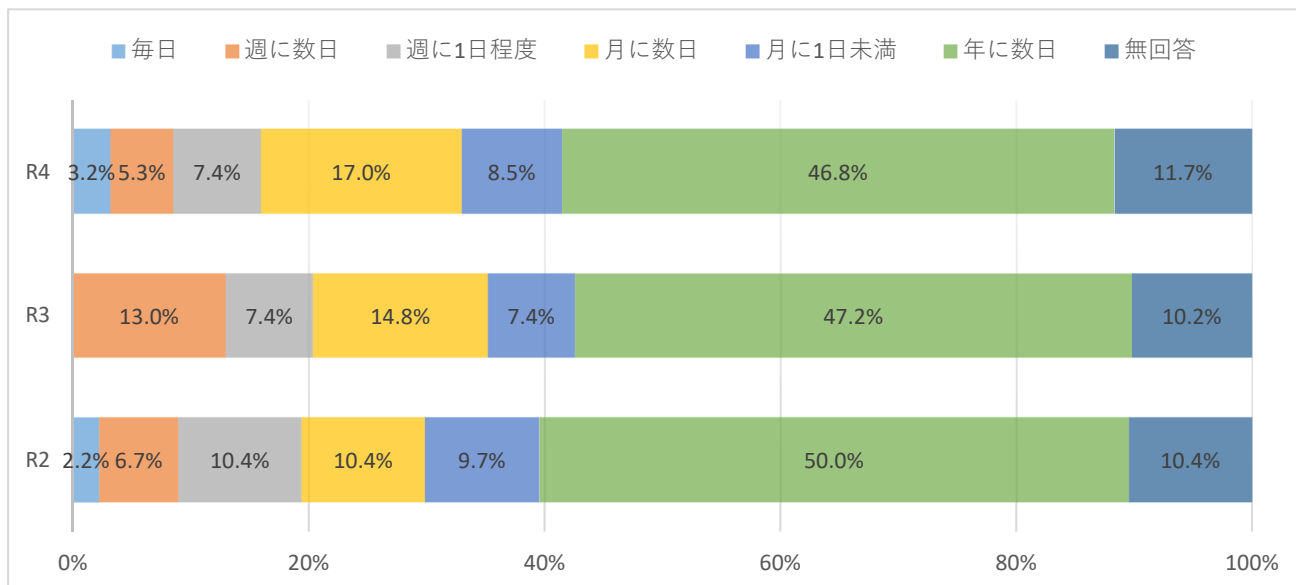
#### (1) サービス内容



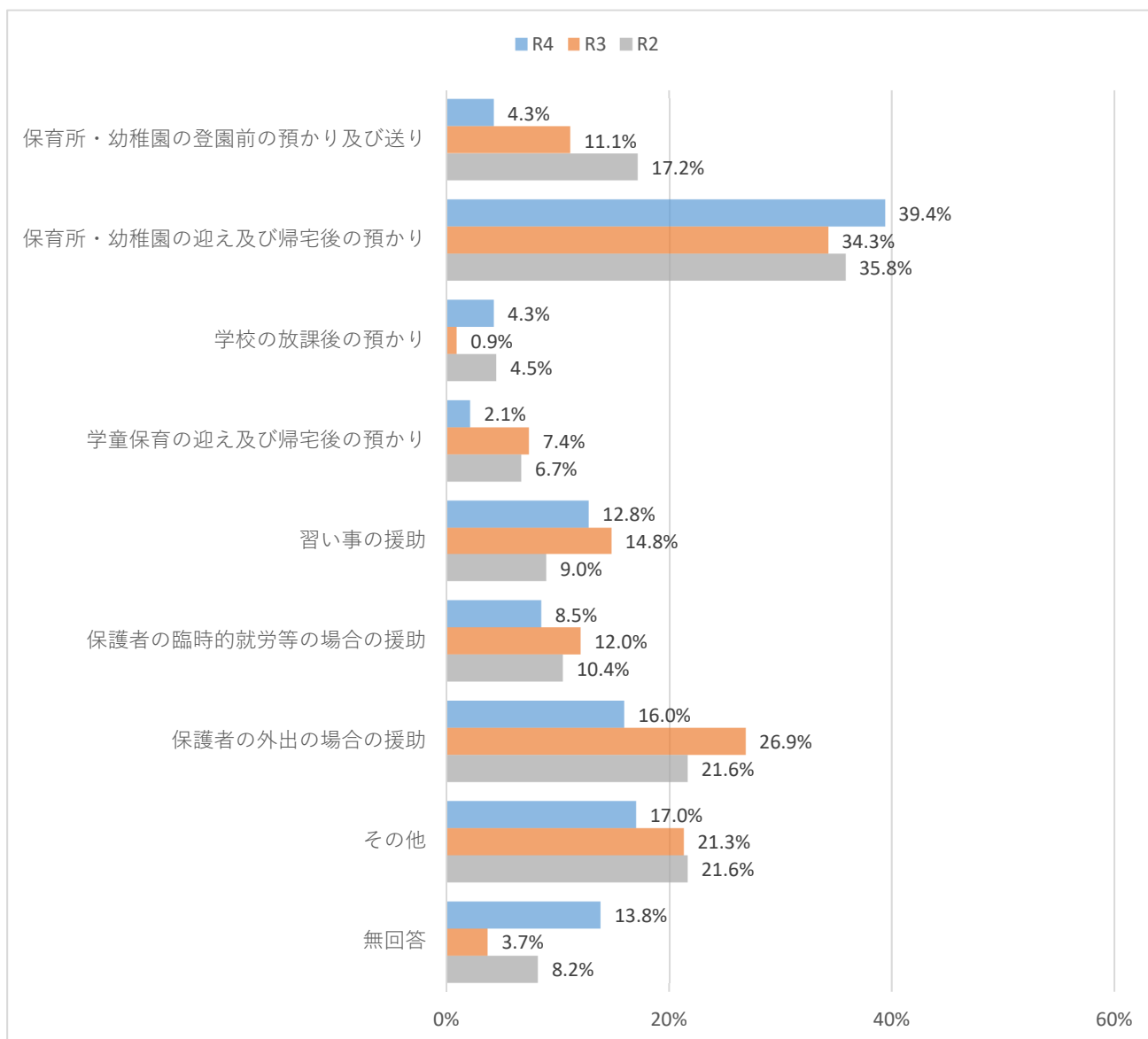
#### (2) サポートをお願いした協力会員の対応



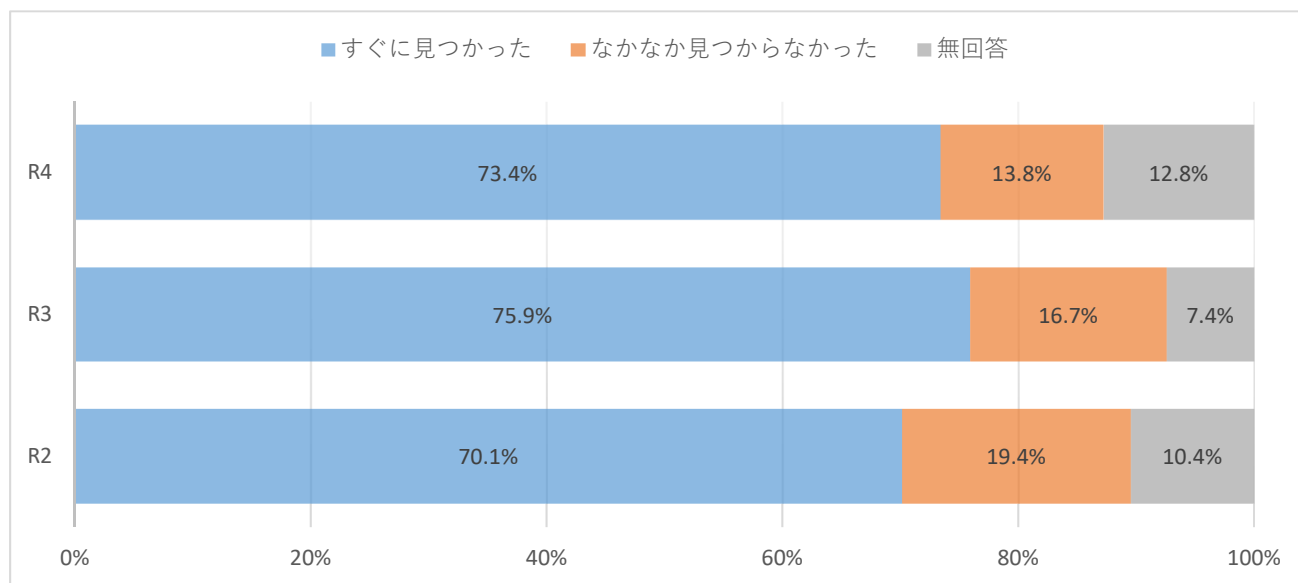
### (3) 利用の頻度



### (4) 協力会員に依頼した内容



(5) 当初、依頼に合致する協力会員が見つかったか



## ⑪小規模保育

### 1 調査方法

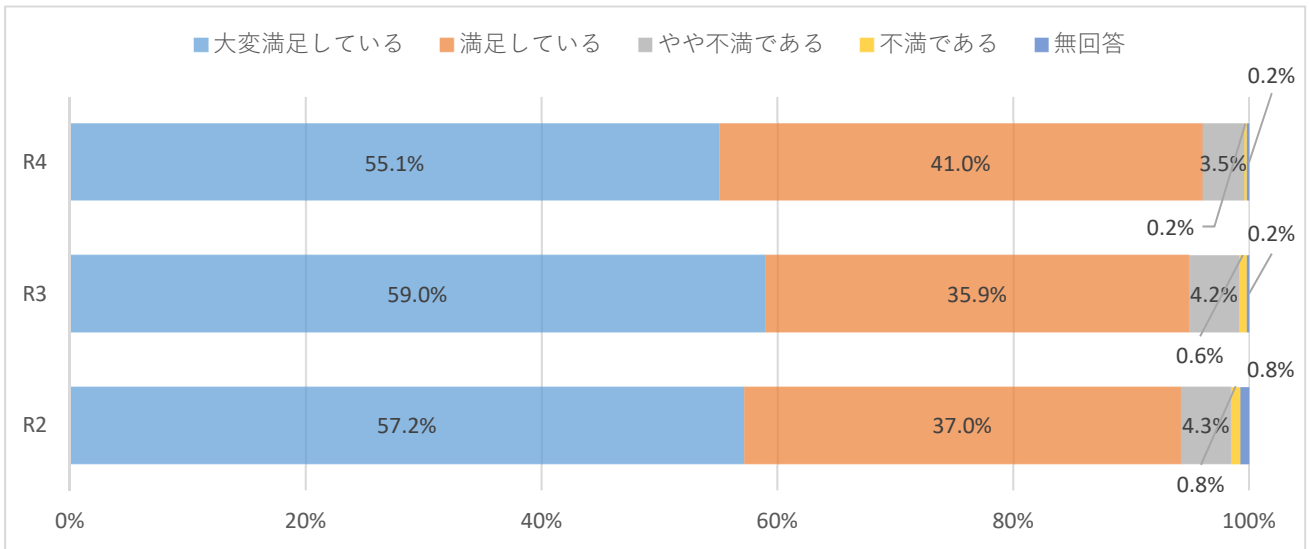
- ・令和5年7月、小規模保育を実施している施設（137箇所）で、調査期間中の利用者を対象に実施
- ・施設を通じて二次元コードを記載したアンケート依頼文を配布し、WEBサイトから回答を収集
- ・回収数 481／配布数 737（回収率 65.3%）

### 2 回答者の基本情報

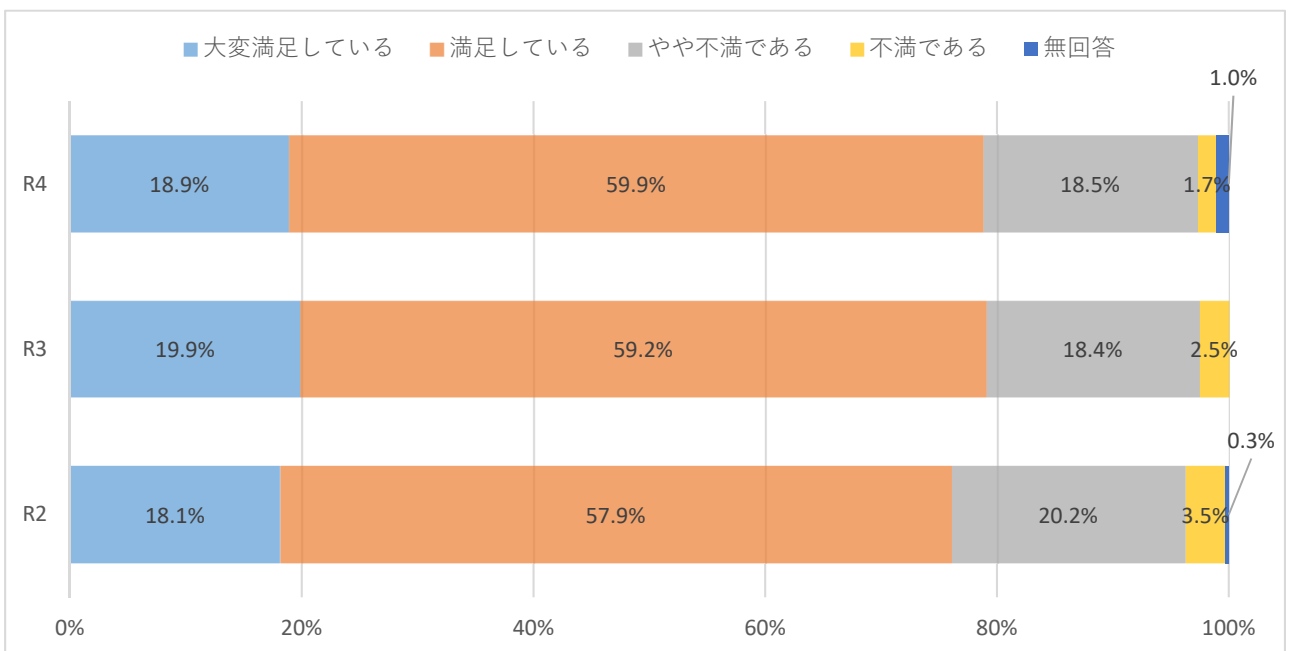
- ・就労状況について、父親は「フルタイム」が大半を占め、母親は「フルタイム」が6割弱、「パート」が4割弱となっている。

### 3 調査結果

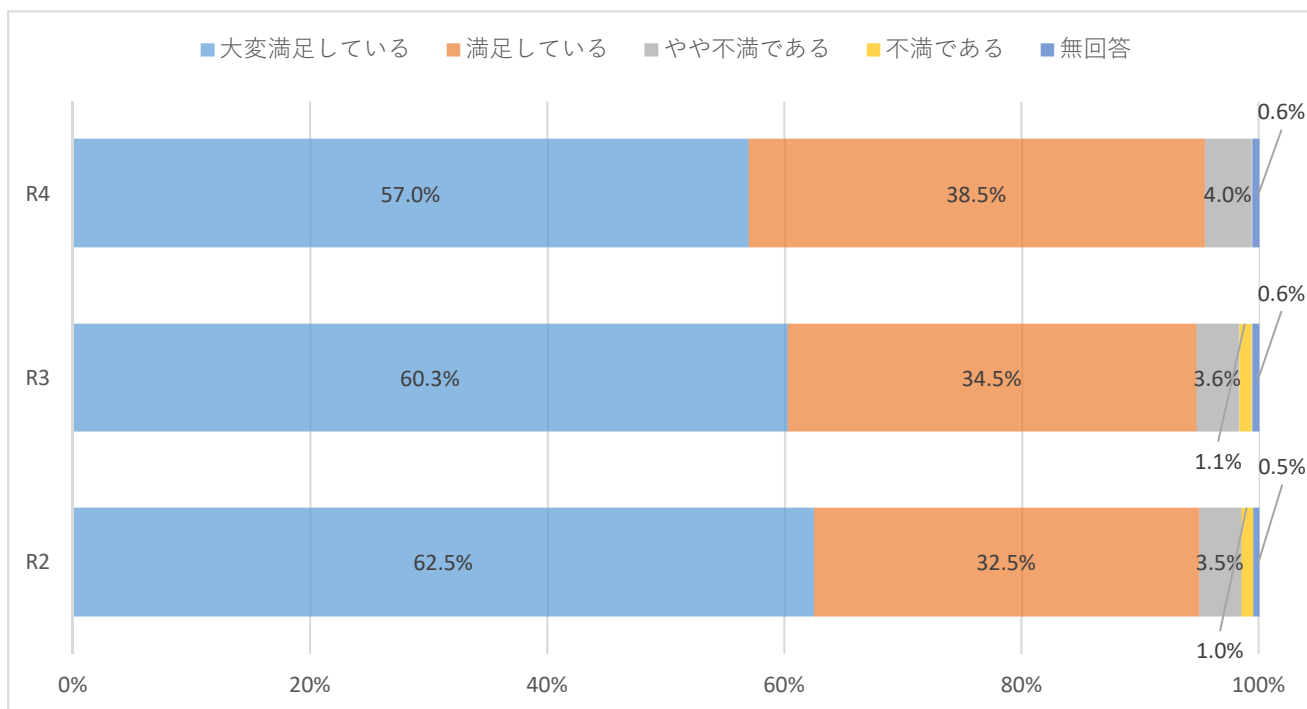
#### （1）保育内容全般



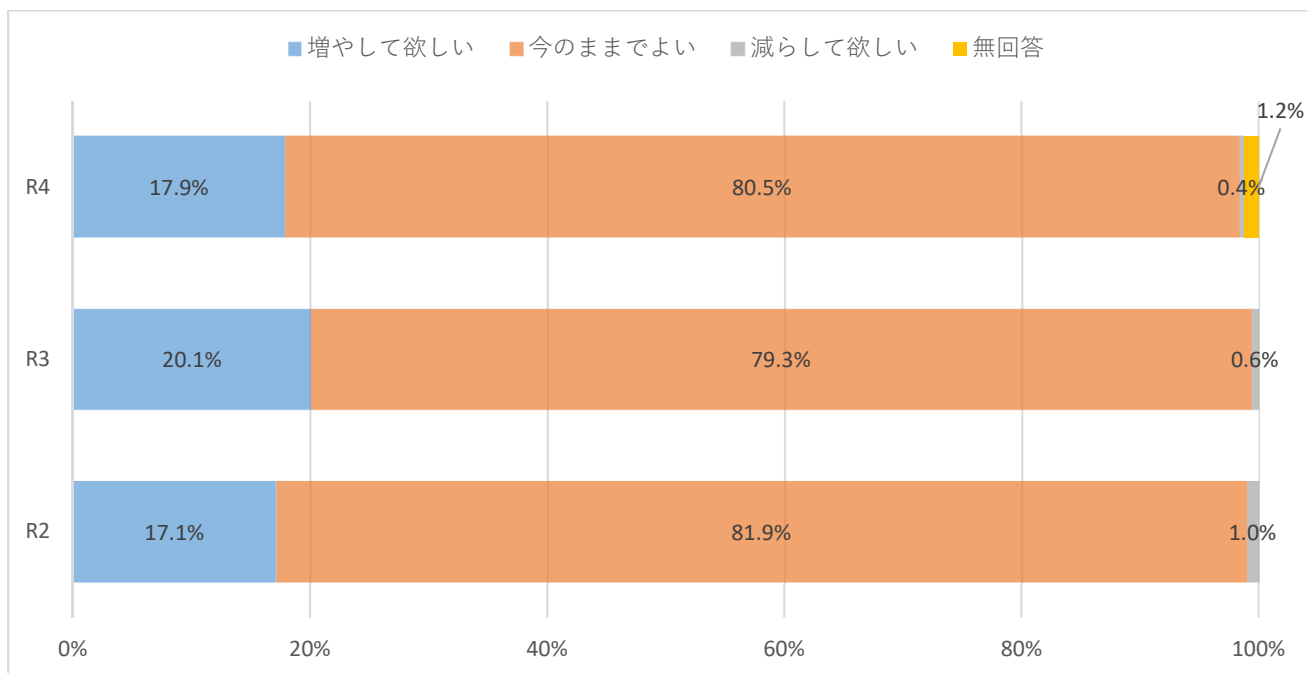
#### （2）建物や園庭などの施設



### (3) 職員の対応



### (4) 地域の親子との交流



## ⑫事業所内保育

### 1 調査方法

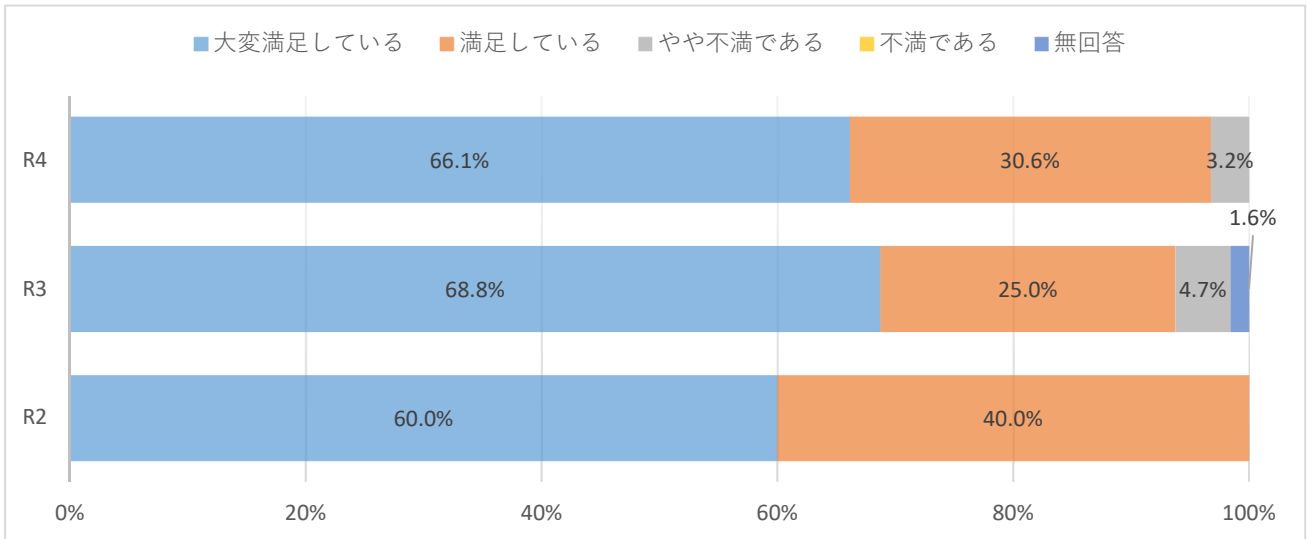
- ・令和5年7月、事業所内保育を実施している施設（21箇所）で、調査期間中の利用者を対象に実施
- ・施設を通じて二次元コードを記載したアンケート依頼文を配布し、WEBサイトから回答を収集
- ・回収数 62／配布数 116（回収率 53.4%）

### 2 回答者の基本情報

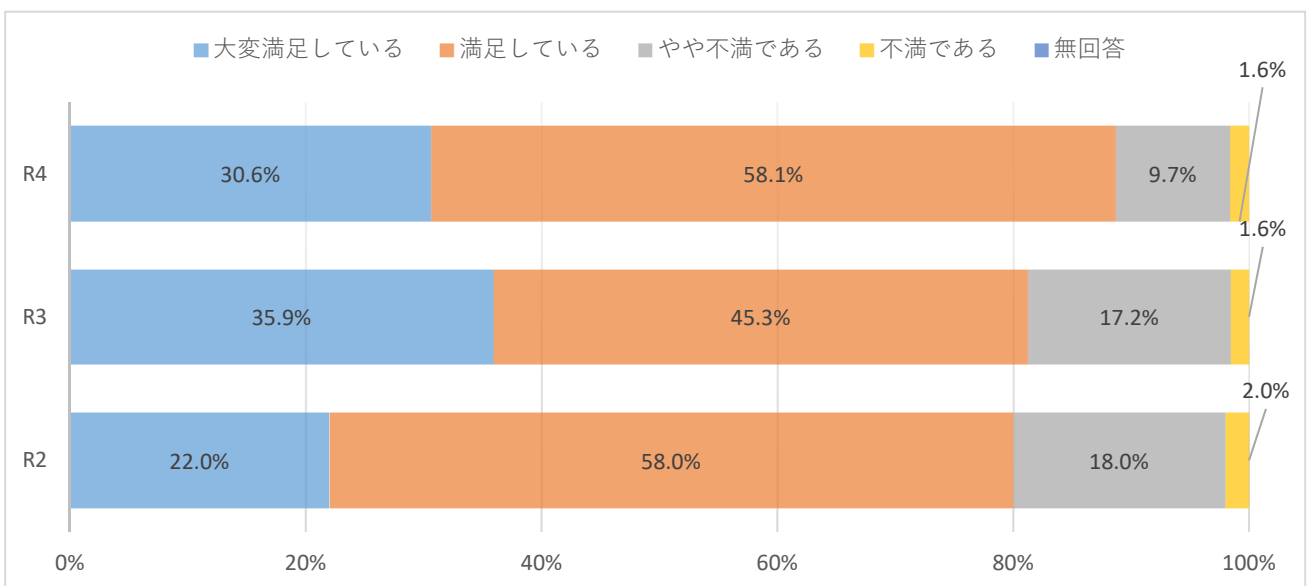
- ・就労状況について、父親は「フルタイム」が大半を占め、母親は「パート」が6割強、「フルタイム」が3割強となっている。

### 3 調査結果

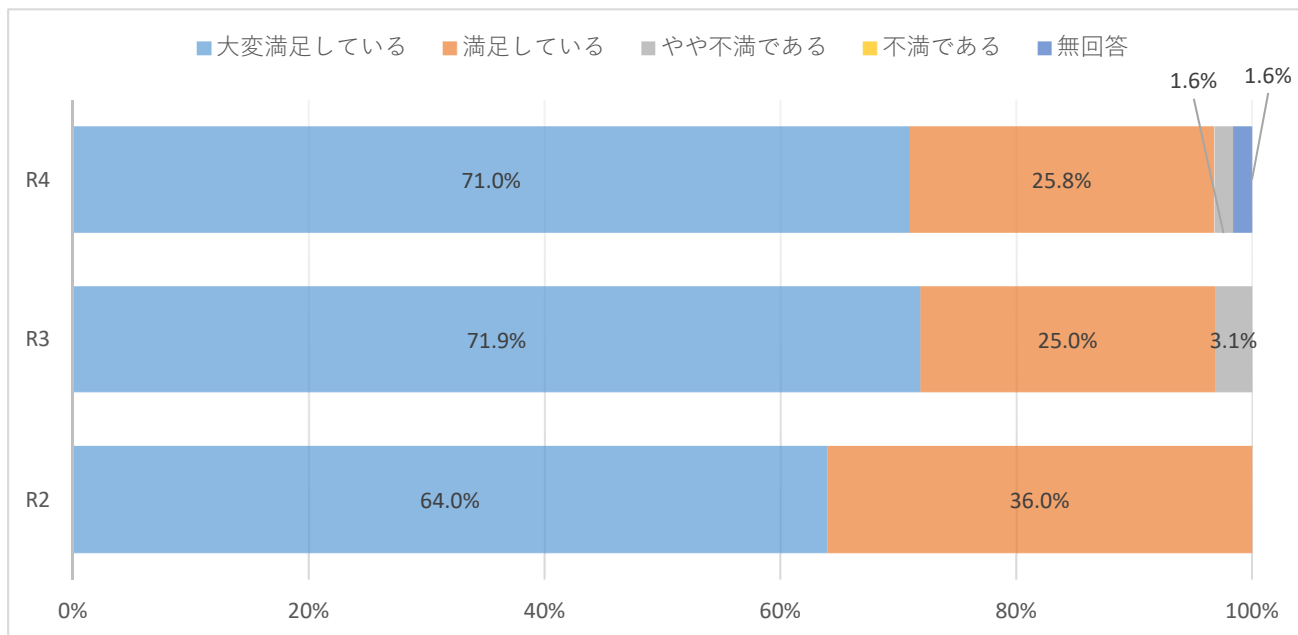
#### （1）保育内容全般



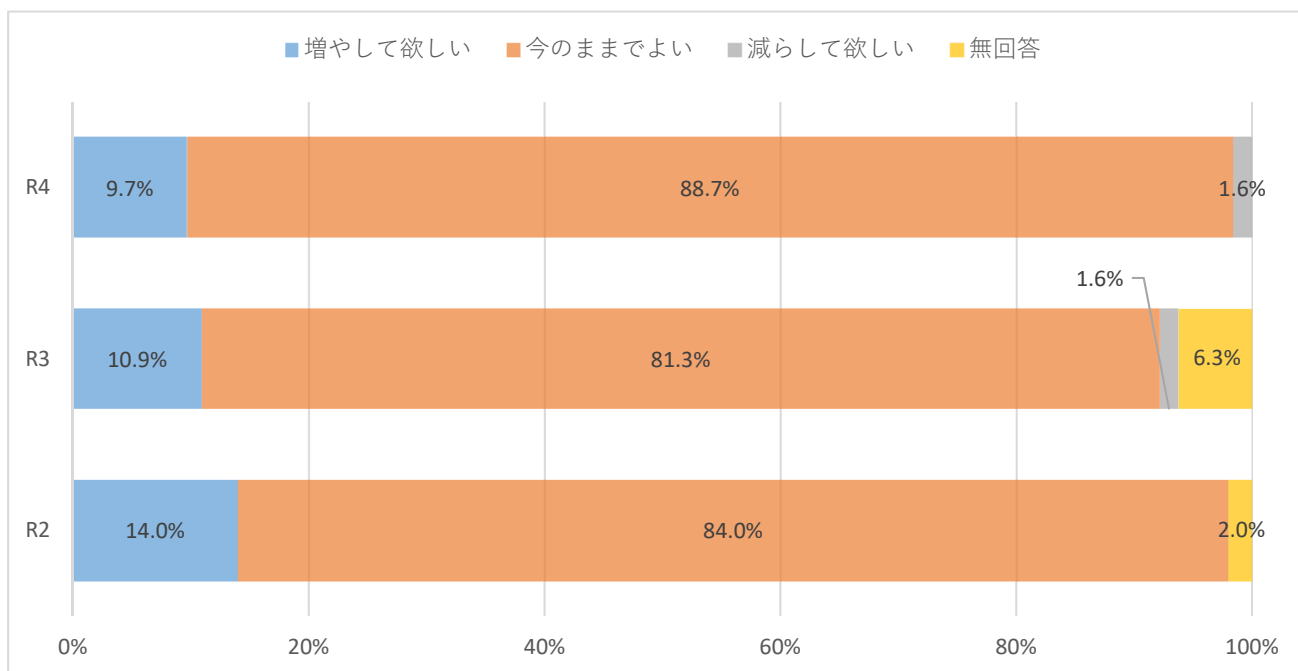
#### （2）建物や園庭などの施設



### (3) 職員の対応



### (4) 地域の親子との交流





## ⑬家庭的保育

### 1 調査概要

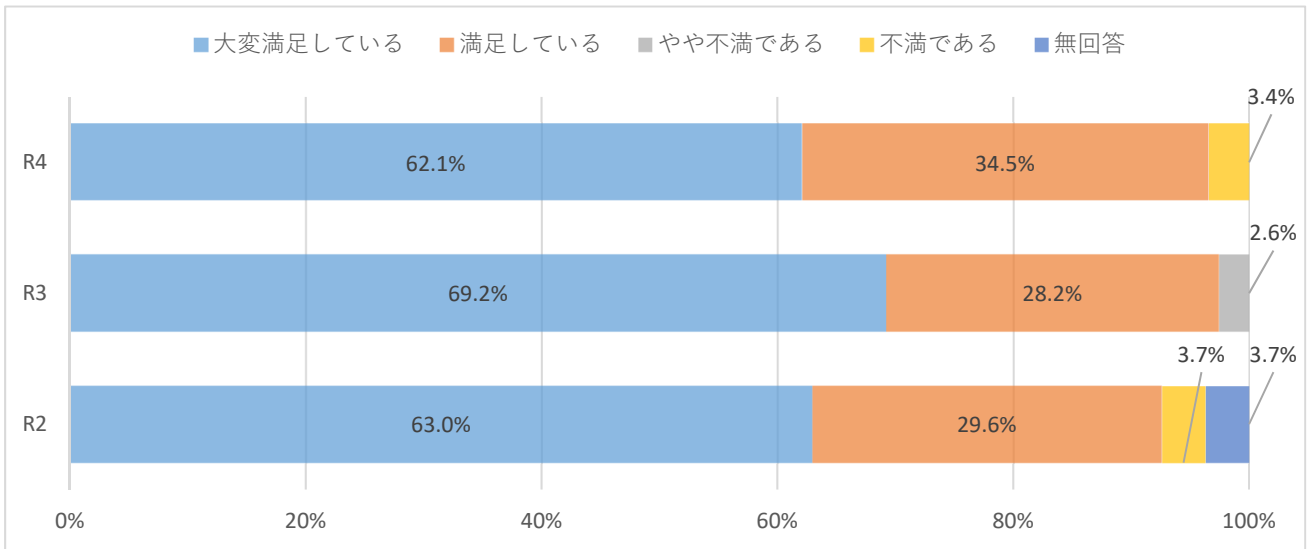
- ・令和5年7月、家庭的保育を実施している施設（22箇所）で、調査期間中の利用者を対象に実施
- ・二次元コードを記載したアンケート依頼文を配布し、WEBサイトから回答を収集
- ・回収数 29／配布数 71（回収率 40.8%）

### 2 回答者の基本情報

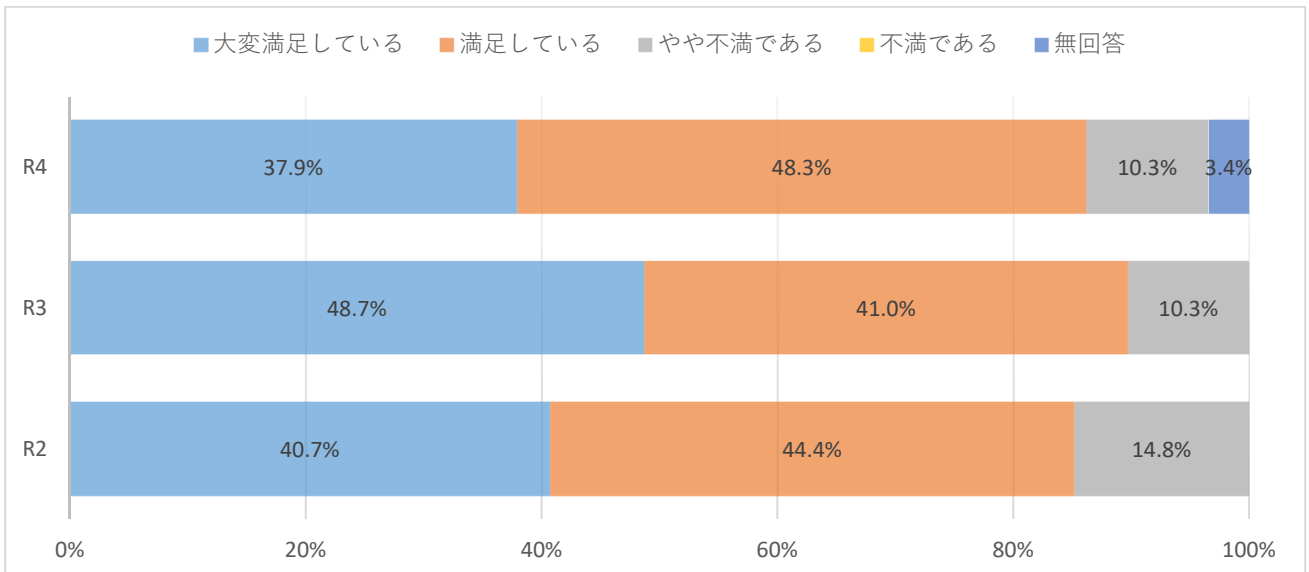
- ・就労状況について、父親は「フルタイム」が大半を占め、母親は「フルタイム」が4割弱、「パート」が4割弱となっている。

### 3 調査結果

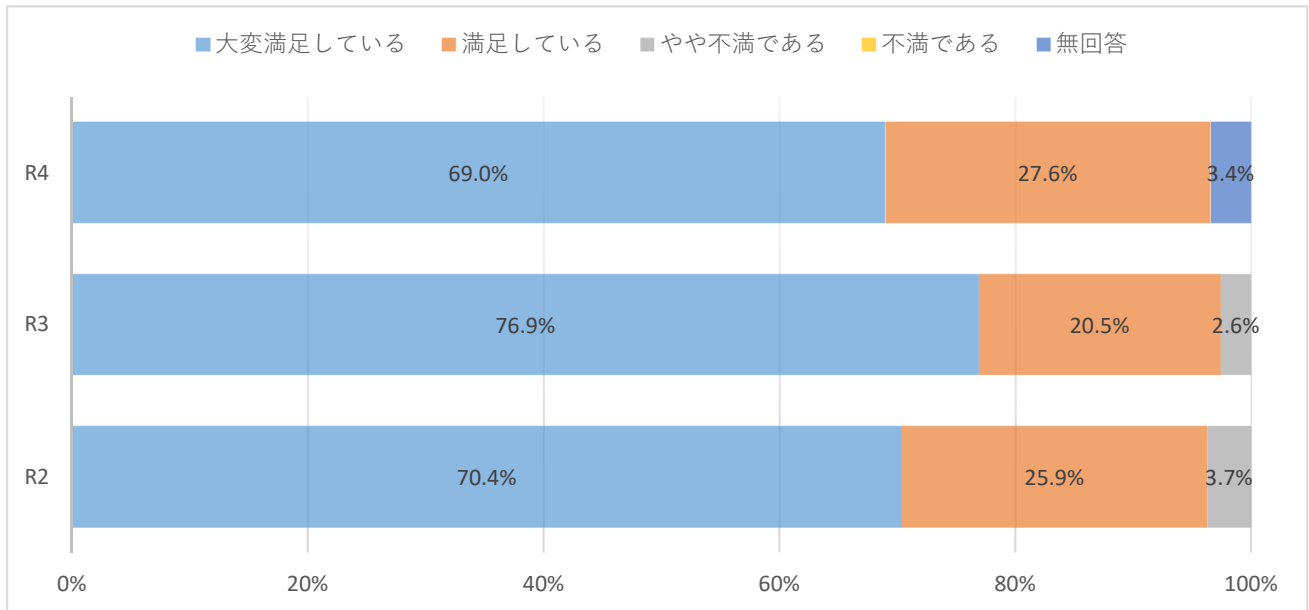
#### （1）保育内容全般



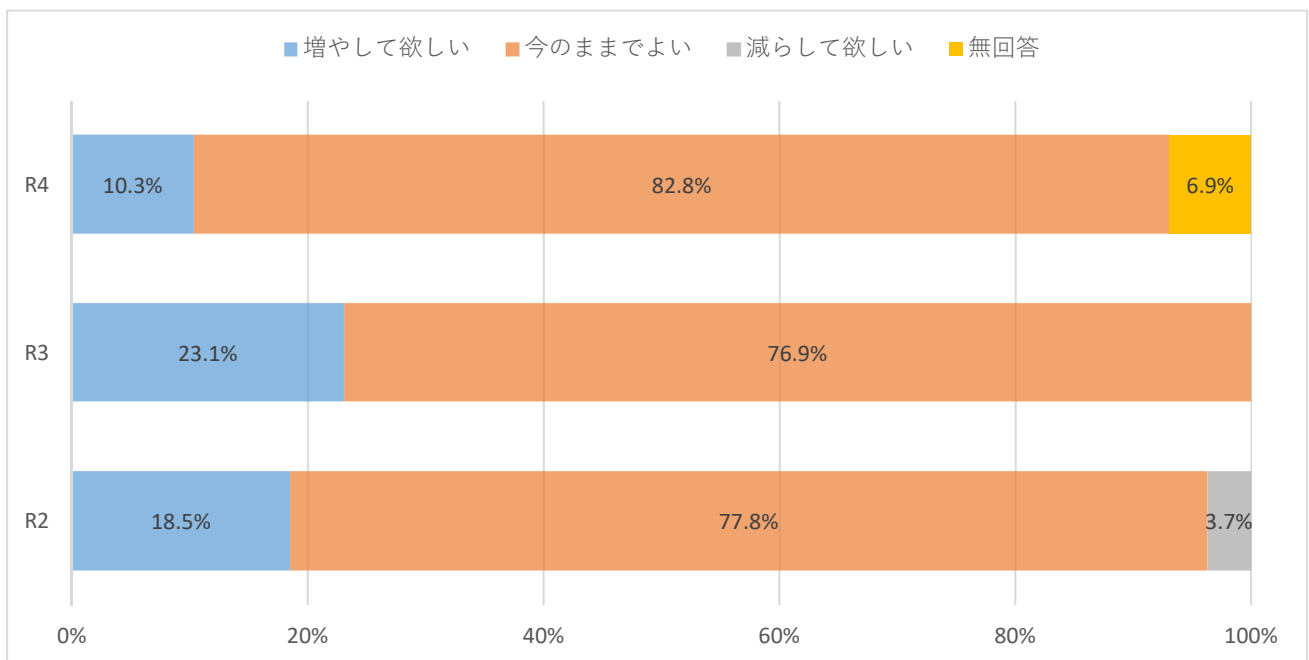
#### （2）建物や園庭などの施設



### (3) 職員の対応



### (4) 地域の親子との交流



## ⑭おやこふらっとひろば

### 1 調査概要

- ・令和5年7月、親子が気軽に立ち寄れる場所を提供している施設(9箇所)で、調査期間中の利用者を対象に実施
- ・二次元コードを記載したアンケート依頼文を配布し、WEBサイトから回答を収集
- ・回収数 144/配布数 246 (回収率 58.5%)

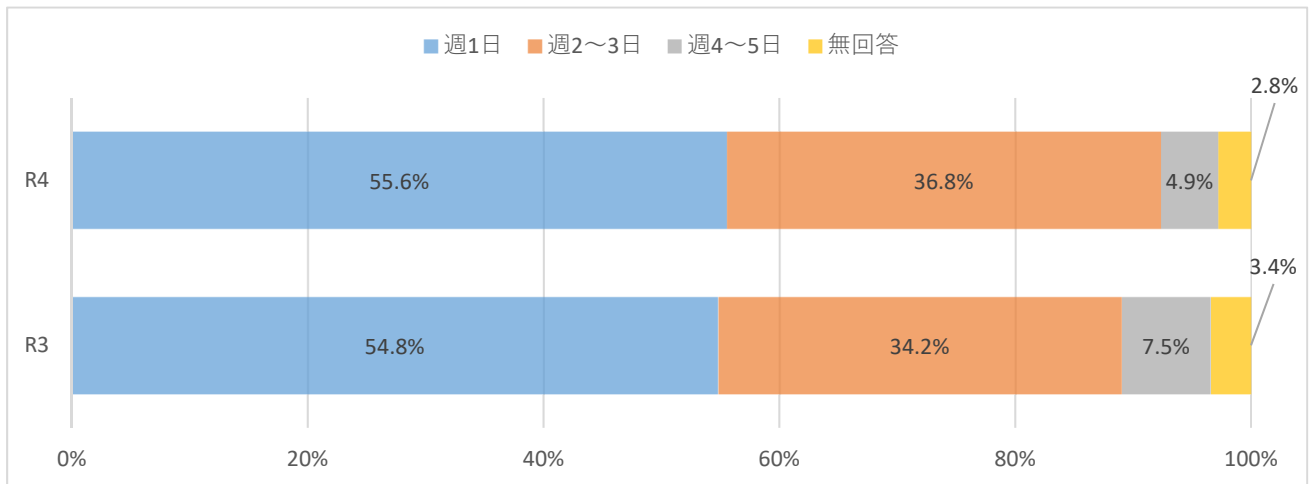
### 2 回答者の基本情報

- ・就労状況について、父親は「フルタイム」が大半を占め、母親は「働いていない」が6割強、「フルタイム」は3割弱となっている。

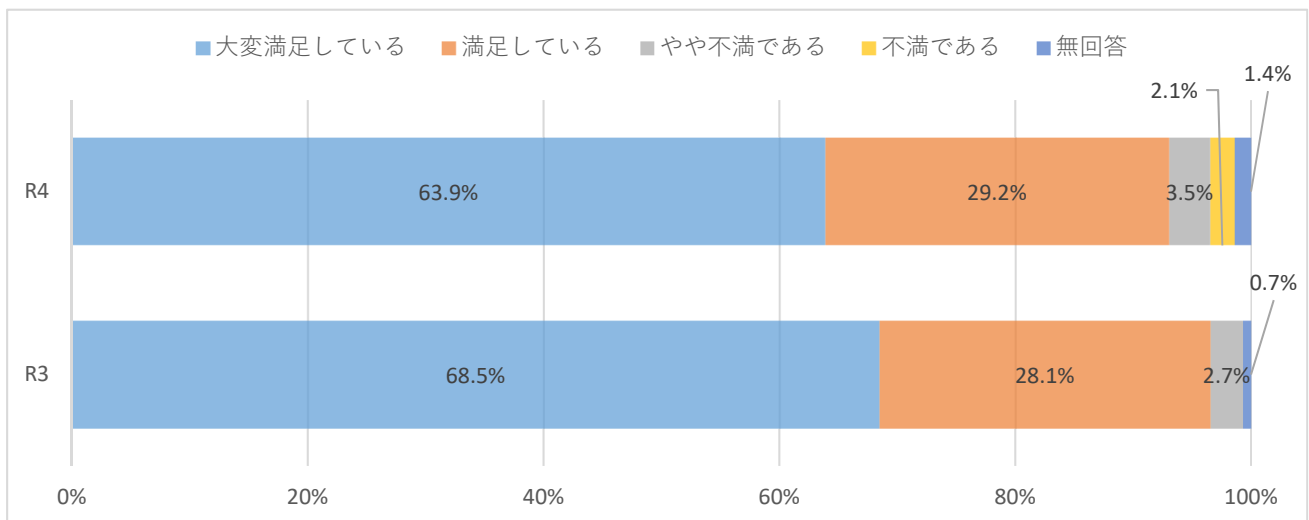
### 3 調査結果

※令和3年度の検証より当施設をアンケートの対象として追加したため、令和2年度以前は未実施

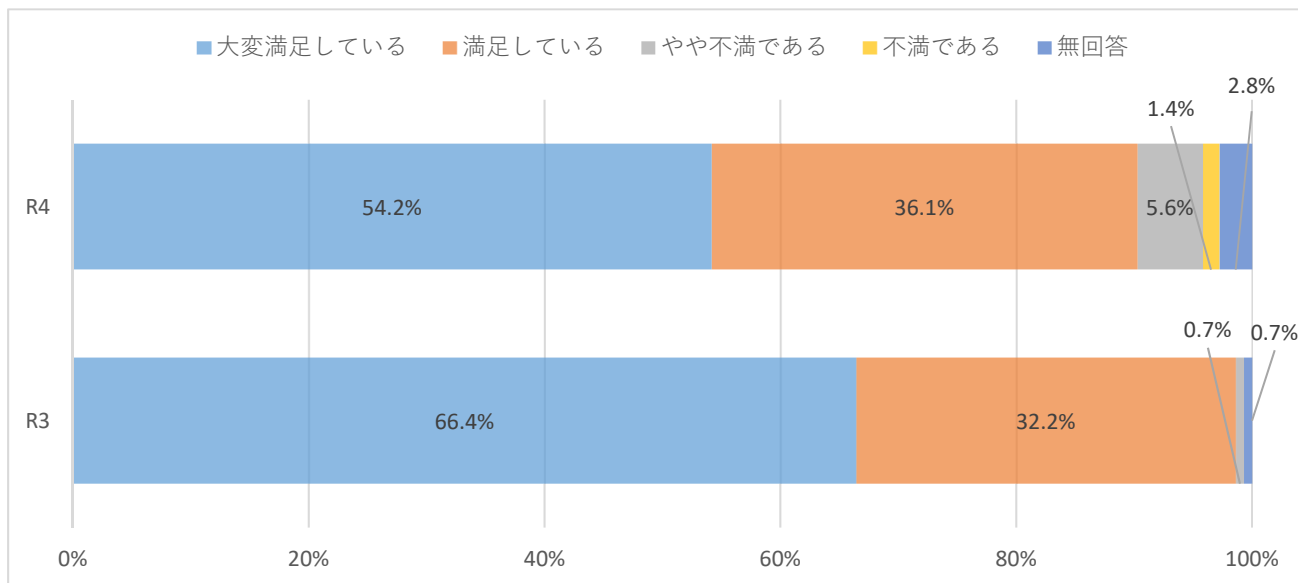
#### (1) 利用の頻度



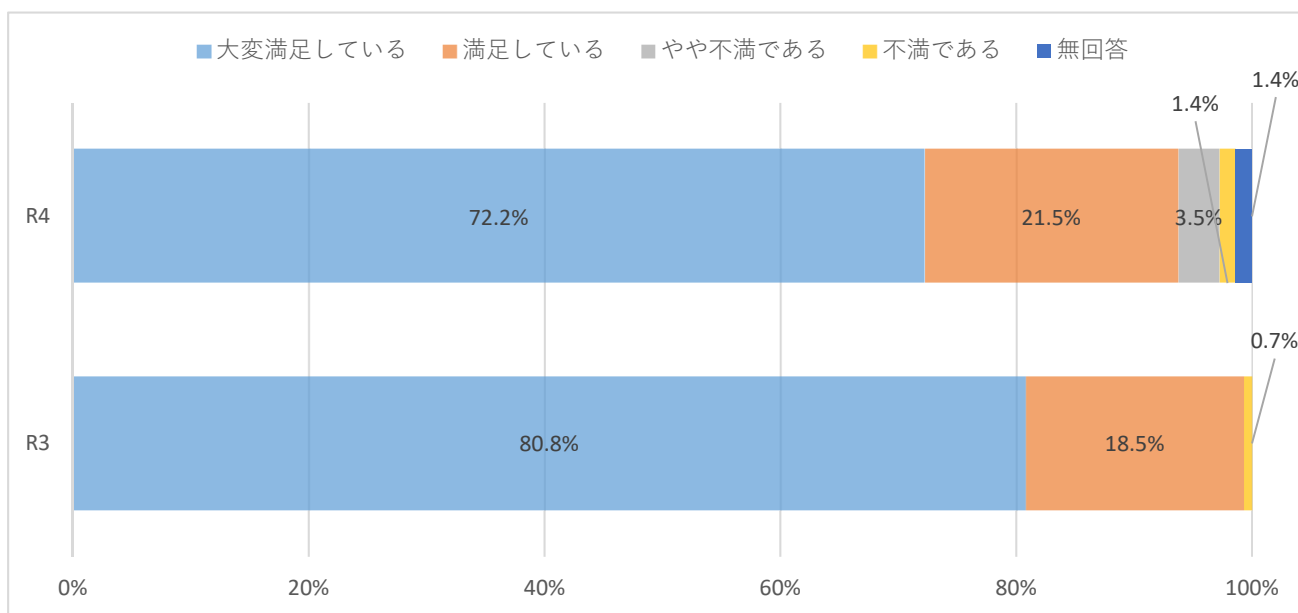
#### (2) サービス内容



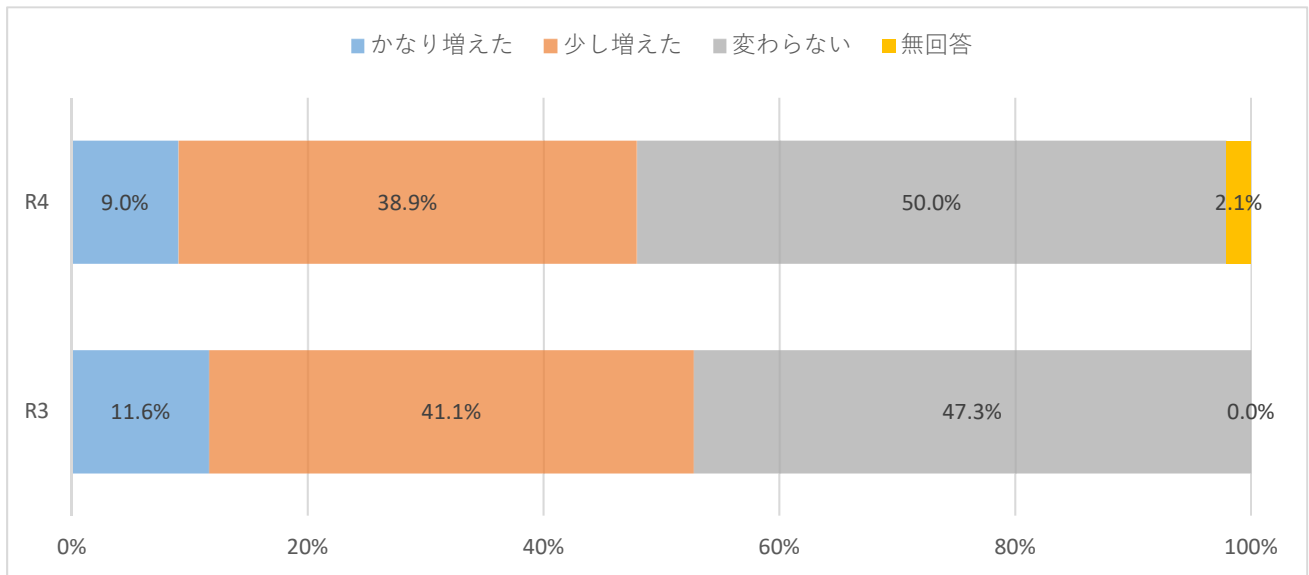
### (3) 施設



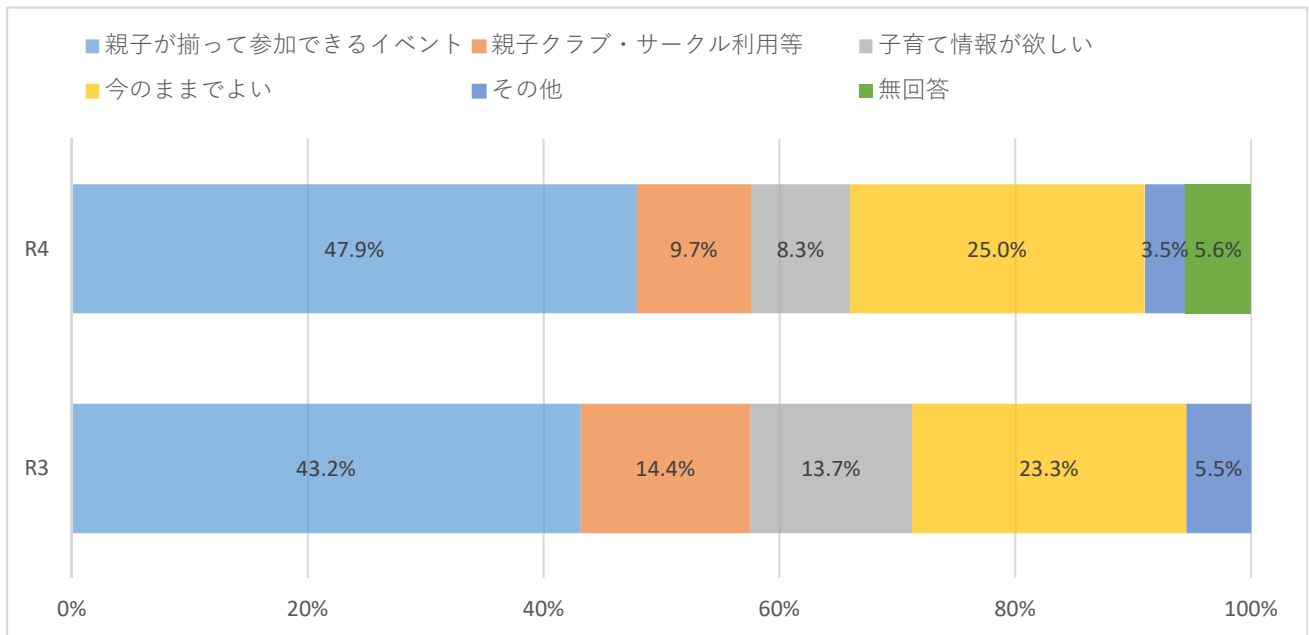
### (4) 職員の対応



(5) 利用により新しい知人が増えたか



(6) 「おやこふらっとひろば」で増やしてほしいサービス



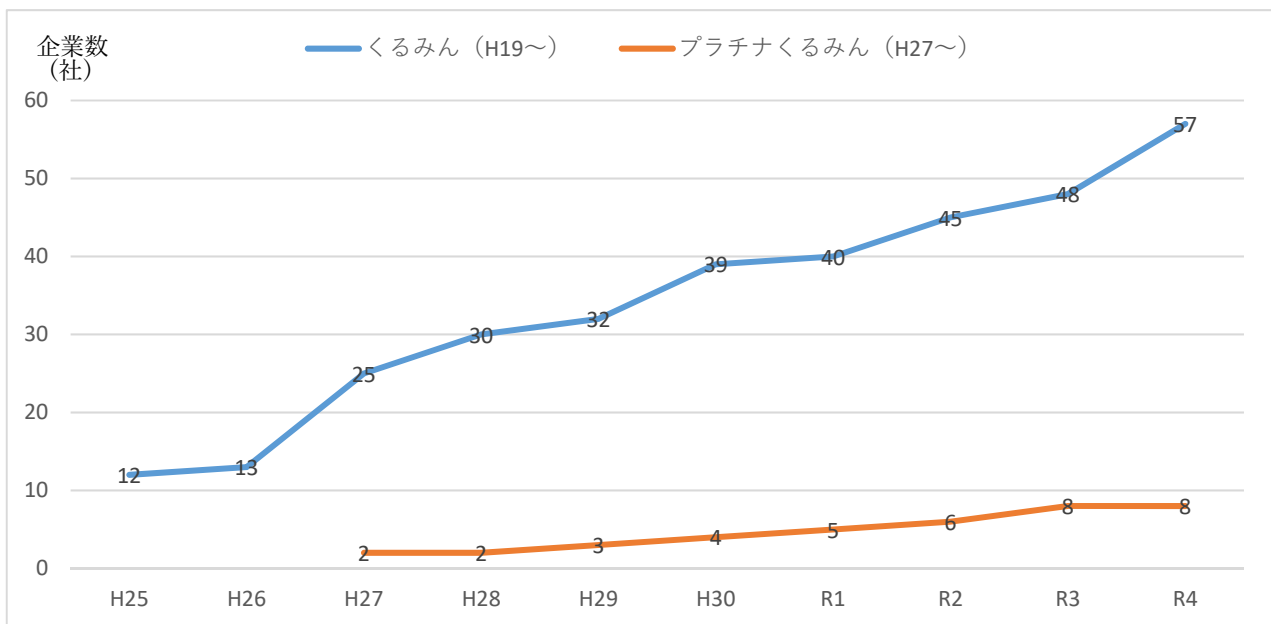
## (5) 「子育てしやすく働きやすい職場環境づくり」の状況

### 1 企業の認定制度

#### (1) 次世代育成支援対策推進法に基づく認定・特例認定制度（兵庫労働局）

認定制度名	開始年度	概要
くるみん	H19	行動計画を策定し、一定の育児休業等取得率や、所定労働時間の短縮措置または始業時刻変更等の措置を講じているなどの認定基準を満たす企業が、「子育てサポート企業」として厚生労働大臣の認定を受ける制度。
プラチナくるみん	H27	「くるみん認定」を受けた企業のうち、男性労働者の育児休業等取得率や子どもを出産した女性労働者が継続して在籍している割合など、より高い基準を満たし、仕事と子育ての両立支援を継続的に行っている企業が特例認定を受ける制度。
トライくるみん	R4	令和4年4月に「くるみん」の男性の育児休業等・育児目的休暇取得率の認定基準の引き上げに伴い、旧来の「くるみん」認定基準を満たす企業を対象に令和4年度から新たに創設された制度。
くるみんプラス	R4	くるみん等の認定基準を満たしたうえで、不妊治療と仕事を両立しやすい職場環境整備に取り組む企業が認定を受ける制度。

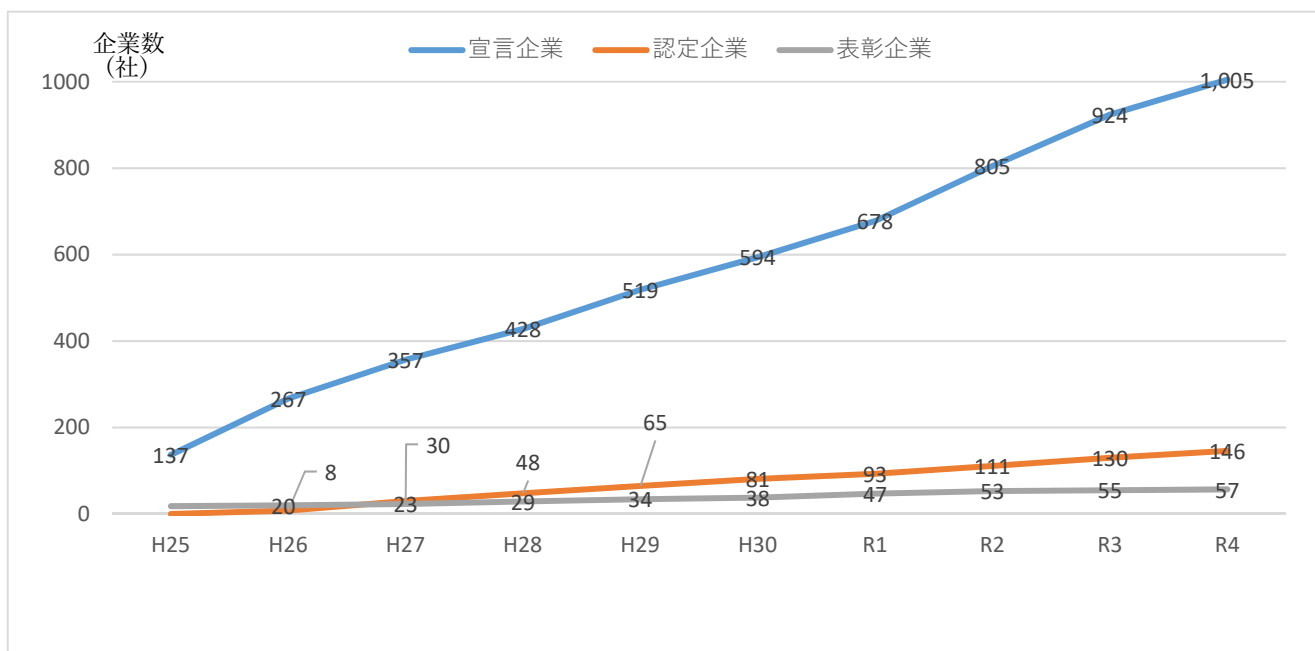
(参考) 市内企業における過去10年間の推移



## (2) ひょうご仕事と生活の調和推進企業認定制度（ひょうご仕事と生活センター）

認定制度名	開始年度	概要
宣言企業	H25	ワーク・ライフ・バランスに取り組み、推進することを、経営トップ自らが広く内外に意思表示した企業。
認定企業	H26	上記「宣言企業」のうち、仕事と育児の両立を支援する制度が整備されているか、年次有給休暇取得率の実績の状況等を踏まえた「ひょうご仕事と生活の調和推進企業自己診断」の総合評価が、センターが定める認定基準を満たし、センターから認定を受けた企業。
表彰企業	H21	多様な働き方の導入や、仕事と家庭生活の両立の促進など、「仕事と生活のバランス」の実現のために先進的な取組を実施している企業。

(参考) 市内企業における過去 10 年間の推移



## (3) ひょうご・こうべ女性活躍推進企業認定制度（兵庫県・神戸市）

職場における女性活躍の推進に向け、女性の登用・定着促進や多様な働き方の支援等に積極的に取り組む企業等を認定・公表する制度。

認定制度名	開始年度	概要
ミモザ企業	R4	女性活躍や多様な働き方に関する評価項目（20 項目）のうち、7 割（14 項目）以上達成している企業。令和 4 年度は市内企業 39 社を認定。
プラチナミモザ企業	R4	上記「ミモザ企業」のうち、上記評価項目を全項目達成し、かつ他社の手本になる女性活躍や先導的な取組を実施している企業。令和 4 年度は市内企業 1 社を認定。

## 2 企業への支援制度（助成金・専門家派遣等）

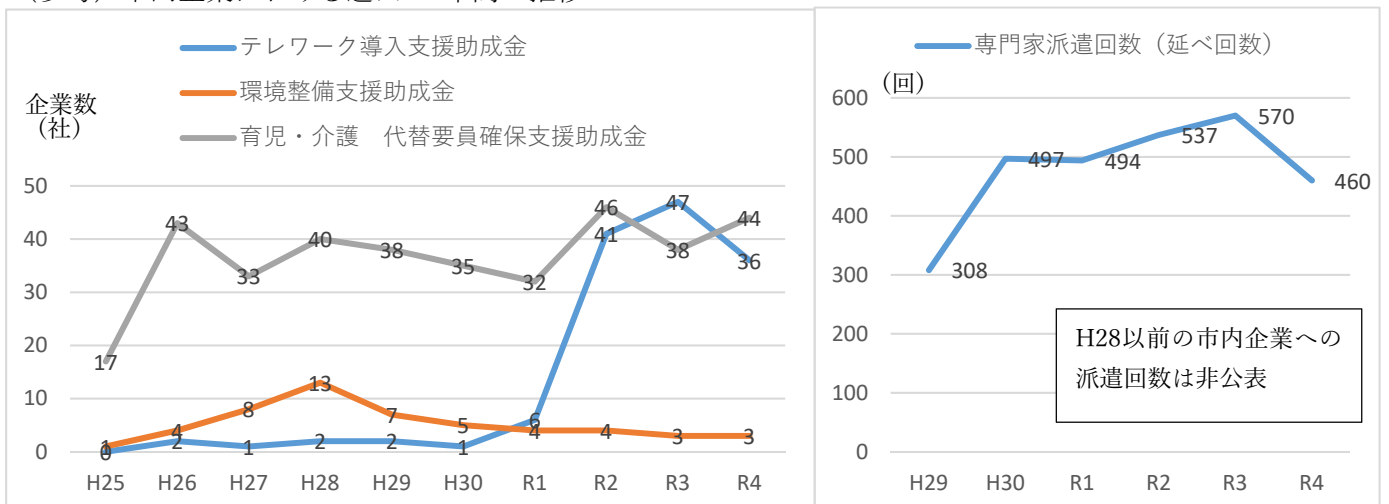
### （1）兵庫労働局

制度名称	開始年度	概要
両立支援等助成金	①出生時両立支援	H28 男性労働者が育児休業を取得しやすい職場風土づくりに取り組み、男性労働者に連続14日以上（中小企業は連続5日以上）の育児休業を取得させた事業主に対して助成。
	②育児休業等支援 （育休取得時・職場復帰時）	H25 「育休復帰支援プラン」を作成し、プランに沿って労働者に育児休業を取得、職場復帰させた中小企業事業主に対して助成。 法の規定を上回る、子の看護休暇制度または保育サービス費用補助制度を導入し、育児休業復帰後6か月以内にその制度の利用実績のあった中小企業事業主に対して助成。 育児休業取得者の代替要員を確保し、育児休業取得者を原職等に復帰させた中小企業事業主に対して助成。
	③育児休業等支援 （職場復帰後支援）	
	④育児休業等支援 （代替要員確保時）	

### （2）ひょうご仕事と生活センター

制度名称	開始年度	概要
テレワーク導入支援助成金	H25	働く人々の多様で柔軟な働き方を促進するために、中小企業の事業主が行うテレワーク環境の整備に要する費用に対して助成。
環境整備支援助成金	H25	女性・高齢者等の職域拡大や従業員のコミュニケーションを活性化させるために、職場環境整備に要する費用に対して助成。
育児・介護 代替要員確保支援助成金	H22	育児・介護休業の取得及び短時間勤務制度の利用を促進するとともに、休業者が職場復帰しやすい環境の整備に要する費用に対して助成。
専門家派遣	H21	企業が研修を実施する場合に専門家を講師として派遣。 また企業に対して、センターのスタッフや専門家を派遣し、「仕事と生活の両立」や「組織風土」等への実践的なアドバイス、継続的なフォローを実施。

（参考）市内企業における過去10年間の推移

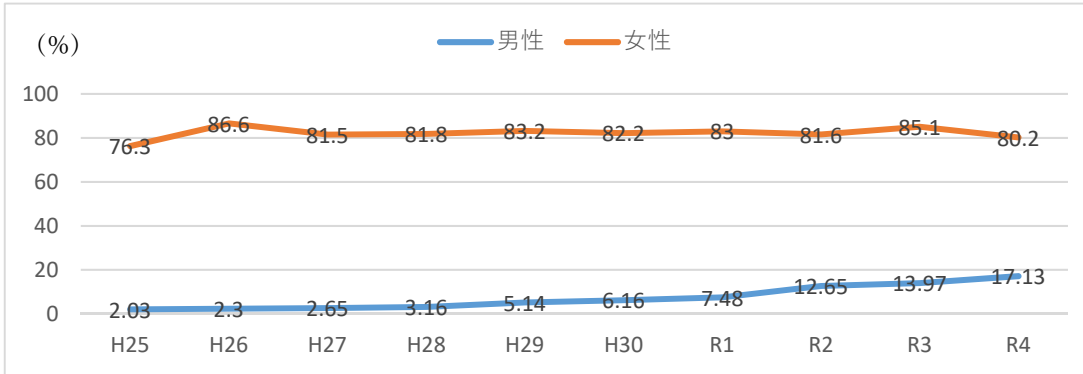


※(1)兵庫労働局の両立支援等助成金は件数非公表



### 3 育児休業取得率等

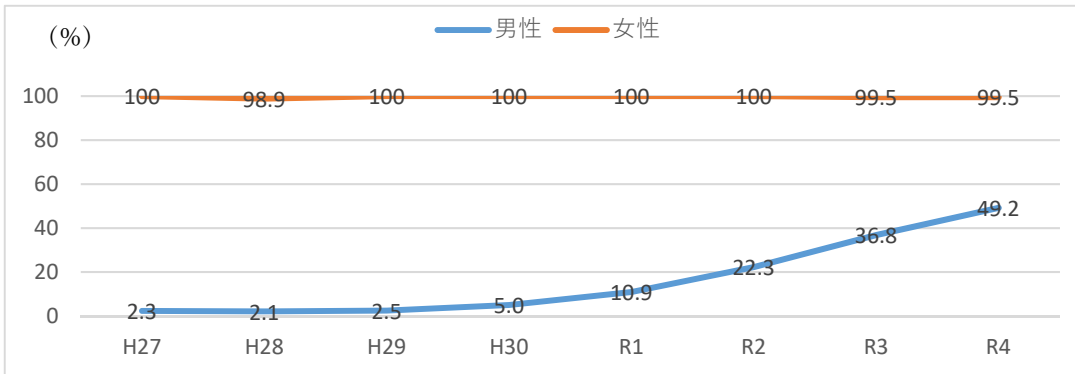
#### (1) 全国の企業と事業所における育休取得者の割合（雇用均等基本調査）



(参考) 令和4年度の数値算出方法

- ・令和2年10月1日から令和3年9月30日までの1年間に在職中に出産した女性  
または、同期間に配偶者が出産した男性のうち、
- ・令和4年10月1日までに育児休業を開始した者（育児休業の申出をしている者を含む。）の割合

#### (2) 神戸市職員における育児休業取得率

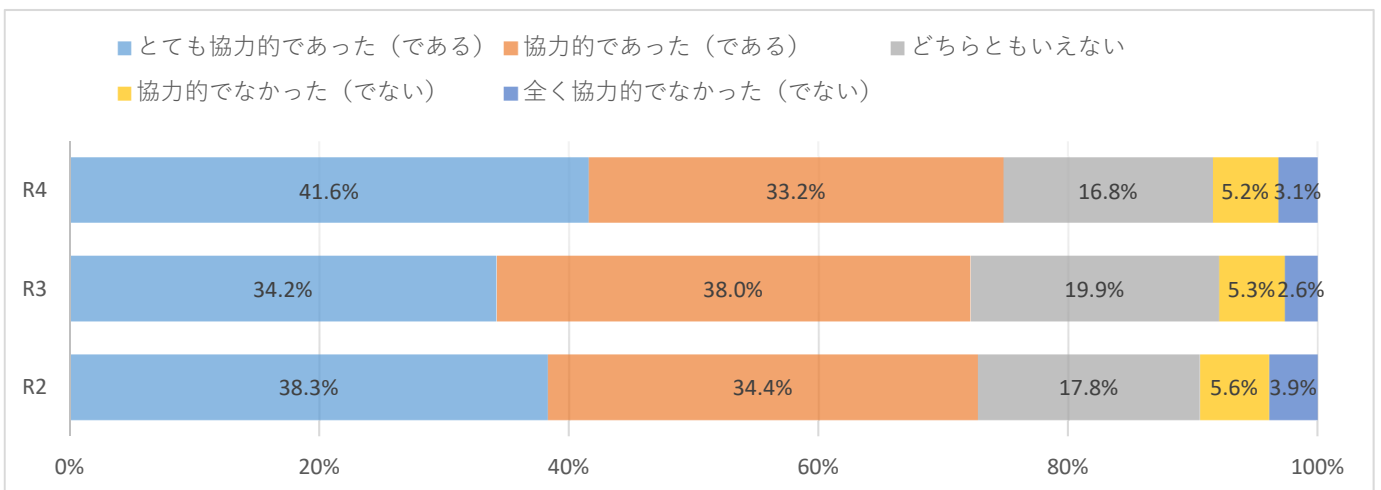


(参考) 令和4年度の数値算出方法

- ・令和4年2月3日から令和5年2月2日までに出産した女性  
または、令和4年4月1日から令和5年3月31日までに配偶者が出産した男性のうち、
- ・令和4年4月1日～令和5年3月31日中に育児休業を開始した職員の割合

#### (3) 育児休業等の利用に関する職場の状況（市民（保護者）調査より引用）

育児休暇制度・短時間勤務制度の利用について、職場は協力的か。（R4年度 n=266）



### 3 地域子ども・子育て支援事業の量の見込みと確保方策について

本市事業名		指標 (単位)	令和4年度		令和5年度		
			計画値	実績値	計画値	実績値	
延長保育事業	量の見込み	実人数 (人)	3,735	3,197	3,704		
	確保方策		3,735	3,197	3,704		
幼稚園預かり保育事業	量の見込み	延べ人数 (人日)	889,824	790,928	866,537		
	確保方策		889,824	790,928	866,537		
一時保育事業	量の見込み	延べ人数 (人日)	72,525	46,894	70,982		
	確保方策		72,525	46,894	70,982		
病児保育事業	量の見込み	延べ人数 (人日)	20,928	10,286	20,754		
	確保方策		25,680	33,120	25,680		
保育サービスコーディネーター	量の見込み	箇所数 (箇所)	12(16人)	12(15人)	12(16人)		
	確保方策		12(16人)	12(15人)	12(16人)		
子育てリフレッシュステイ事業	量の見込み	延べ人数 (人)	ショートステイ	1,696	1,524	1,516	
			デイサービス	1,792	1,420	1,632	
	確保方策		ショートステイ	1,696	1,524	1,516	
			デイサービス	1,792	1,420	1,632	
地域子育て支援センター事業・大学と連携した子育て支援事業・児童館における親子館事業	量の見込み	延べ人数 (人日)	50,851	-	50,020		
	確保方策	箇所数 (箇所)	12/9/120	11/10/122	12/9/120		
※確保方策は、左から地域子育て支援センター事業／大学と連携した子育て支援事業／児童館における親子館事業の順							
ファミリー・サポート・センター事業	量の見込み	週あたり延べ人数 (人)	542	218	536		
	確保方策		383	218	451		
新生児訪問指導事業	量の見込み	実人数 (人)	9,960	8,981	9,782		
	確保方策	実施体制 (人)	160	292	160		
保健師による相談・指導	量の見込み	延べ回数 (回)	2,112	1,885	2,139		
	確保方策	実施体制 (人)	58	148	58		
産前産後ホームヘルプサービス事業	量の見込み	延べ回数 (回)	2,784	1,836	3,062		
	確保方策	実施体制 (事業所)	17	12	17		

本市事業名		指標 (単位)	令和4年度		令和5年度	
			計画値	実績値	計画値	実績値
養育支援ヘルパー派遣事業	量の見込み	延べ回数 (回)	188	271	201	
	確保方策	実施体制 (事業所)	17	12	17	
妊婦健康診査事業	量の見込み	妊娠届出数 (人)	10,998	9,531	10,801	
		受診回数 (回)	138,575	117,371	136,093	
	確保方策	実施場所 実施体制	産科婦人科医療機関・助産所			
放課後児童クラブ	量の見込み	小学1年生	5,543	5,105	5,654	
		小学2年生	4,577	4,644	4,646	
		小学3年生	3,597	3,526	3,644	
		小学4年生	2,086	2,154	2,137	
		小学5年生	793	928	802	
		小学6年生	581	395	583	
		合計	17,177	16,752	17,466	
	確保方策		17,177	16,752	17,466	

## 4. 令和4年度 主な事業進捗状況

### 1. 仕事と子育ての両立支援

保育ニーズに対応した受入れ枠の確保として、保育所等の新設や小規模保育事業所等の整備、幼稚園から認定こども園への移行等により約 560 人分の保育定員を拡大したことに伴い、引き続き待機児童ゼロを達成した。また、保育人材の確保・定着支援として、令和4年の保育ニーズのピークに向けて、新卒保育士等に対する就職奨励一時金および採用3～7年目の職員に対する定着一時金の給付、採用1～7年目までの保育士等の宿舍の借り上げ費用に対する補助等を行った。

さらに、多様な保育ニーズに対応するため、医療的ケア児の受入れ体制を10施設から17施設へ拡充したほか、病児保育では利用者の利便性向上を図るため予約システム導入を推進、学童保育では宿題の見守り等の学習支援を全施設で実施した。

### 2. 妊娠・出産・子育て期の支援

妊娠や出産への不安の軽減を図り、必要な支援につなげるため、妊娠・出産に不安を抱えている妊婦や、多胎妊婦・若年妊婦・特定妊婦等、支援が必要な妊婦を対象に、保健師による専門的相談に加え、新たに助産師を派遣した。

また、コロナ禍で医療機関における両親学級等が中止や少人数制になるなど、受講の機会が減少していることから、妊娠中の生活や出産の経過、産後の変化への対応や育児等を学ぶとともに、参加者同士が交流できる両親教室をオンラインにより実施した。

### 3. 特に支援が必要な子どもたち・家庭への支援

児童虐待に係る相談・通報への対応強化として、こども家庭センターに児童福祉司・児童心理司合計19名及び一時保護所職員5名を増員するとともに、引き続き現職警察官及び常勤の弁護士を配置した。

ひとり親家庭への支援については、高校生の通学定期券補助やオンラインによる就業相談などを引き続き実施した。

また、新型コロナウイルス感染症の影響により、生活が厳しく支援につながない子育て世帯等を対象に、食品等の提供を通じて地域・行政等につなげる取り組みを行う団体に運営費を補助したほか、経済的な事情等により、学習機会を十分に得られていない中学生を対象に、無償で学習支援を行う団体の運営を支援した。

#### 4. 地域における子育て支援・青少年の健全育成

老朽化したこべっこランド・こども家庭センターを再整備し、令和5年2月から供用を開始した。子育て中の親と子が孤立しないよう、気軽に集える「おやこふらっとひろば」を新たに中央区役所で開設した。

また、すずらんだい児童館内の青少年の活動拠点機能を令和5年3月にユースステーション北と位置づけ運営した。

#### 5. 幼児期の教育・保育の質の向上・小学校教育との連携

市内の公立・私立の保育所（園）、認定こども園等の職員の合同研修を実施するとともに、神戸大学と神戸市で共同研究を行う乳幼児保育研究部会において、市内の公立・私立の保育所（園）、認定こども園、幼稚園等が参加し、保育の様子の共有、意見交換を行う公開保育等による実践研究を実施した。

また、幼児期と小学校以降の学びをつなぐため、保育所（園）・幼稚園・認定こども園と小学校で、幼児期の終わりまでに育ってほしい姿について共有し、相互に保育・授業の様子を観覧したり、ともに指導法を考え合うなどして研究をすすめた。

#### 6. 子育てしやすい社会環境づくりと啓発

神戸市子育て応援サイト「ママフレ」の運営や、SNSによる親目線の市内の魅力的な子育て情報の拡散のほか、新しいロゴマーク「こどもっとKOB E」で統一的なブランディングを図り、切れ目のない子育て支援や充実を図っている子育て環境を市内外に発信した。

また、子育て世帯にやさしい環境づくりとして、子育てにやさしい駅前駐輪場の整備として、市営駐輪場においてチャイルドシート付自転車等を使用する方が駐輪しやすいよう、幅の広い区画（ママフレエリア）の整備を1か所で行った。